



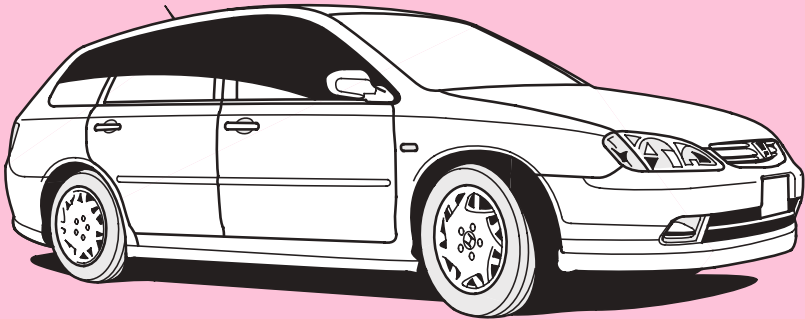
取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

Avancier

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は *Avancier* の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



<ul style="list-style-type: none">● 運転はルールを守り、マナーよく。・ シートベルトを着用しましょう。・ 法定速度を守りましょう。・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。・ 駐停車は、ルールに従いましょう。・ 迷惑運転はやめましょう。・ 自然環境保護に気をくばりましょう。	<ul style="list-style-type: none">● 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、 いつもお車に保管してください。
<ul style="list-style-type: none">● 保証や点検整備に関することはメンテナ ンスノートに記載しておりますので、ご 使用前に必ずお読みください。	<ul style="list-style-type: none">● お車をゆずられるときは、つぎに所有さ れるかのためにこの取扱説明書および メンテナンスノートを車につけておいて ください。● ご不明な点は、担当セールスマンにおた ずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承
ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル
階層ごとにデザインを
変えています

ヘッダー
ページの内容を
示しています

**ページ
インデックス**
(→4ページ)

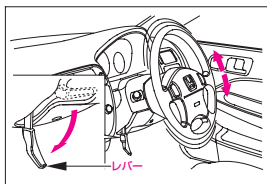
7. 車との上手なつきあい方 積雪・寒冷時の取り扱い

ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。

レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

●走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

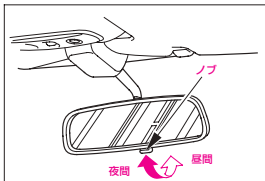
🏠 知識

●走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

●格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

44

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

に分けて記載しています。

安全に関する表示

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次に対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6~12)



名称から探すとき



さくいん
(P.312~321)

目次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

- | | | |
|-------------------|-----------------------|----|
| 1. お出かけまえに 14 | 2. お子さまに思いやりを 16 | 13 |
| 3. 正しい知識で最適運転 20 | 4. オートマチック車の注意ポイント 22 | |
| 5. 駐車や停車はしっかりと 26 | 6. こんなことにも注意をしよう 28 | |

1. 車を運転する前に

- ・各部の開閉 36
- ・シートの調節 48
- ・ハンドル・バックミラーの調節 56
- ・シートベルト 58

35



2. 車を運転するときに

- ・メーター 70
- ・表示灯 74
- ・警告灯 78
- ・スイッチの使いかた 86
- ・運転のしかた 96

69



3. 安全装備

- ・SRSエアバッグシステム 142
- ・サイドエアバッグシステム 150
- ・シートベルトプリテンショナー 160
- ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 162
- ・四輪駆動機構(4WD) 164
- ・その他の安全装備 165

141



4. ドライブを快適にする装備

- ・マルチインフォメーションディスプレイ 168
- ・エアコン 184
- ・オーディオ 194
- ・室内装備品 218

167



5. 万が一のとき

- ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 236
- ・故障したとき 238
- ・事故が起きたとき 240
- ・けん引 242
- ・パンクしたとき 246
- ・オーバーヒートしたとき 256
- ・電気系統が異常のとき 260

235



6. 車の手入れ

- ・点検・整備について 278
- ・日常の手入れ 280
- ・車にあった部品の使用 288

277



7. 車との上手なつきあいかた

- ・積雪・寒冷時の取り扱い 290
- ・こんなときは 300

289



・サービスデータ

304

・さくいん

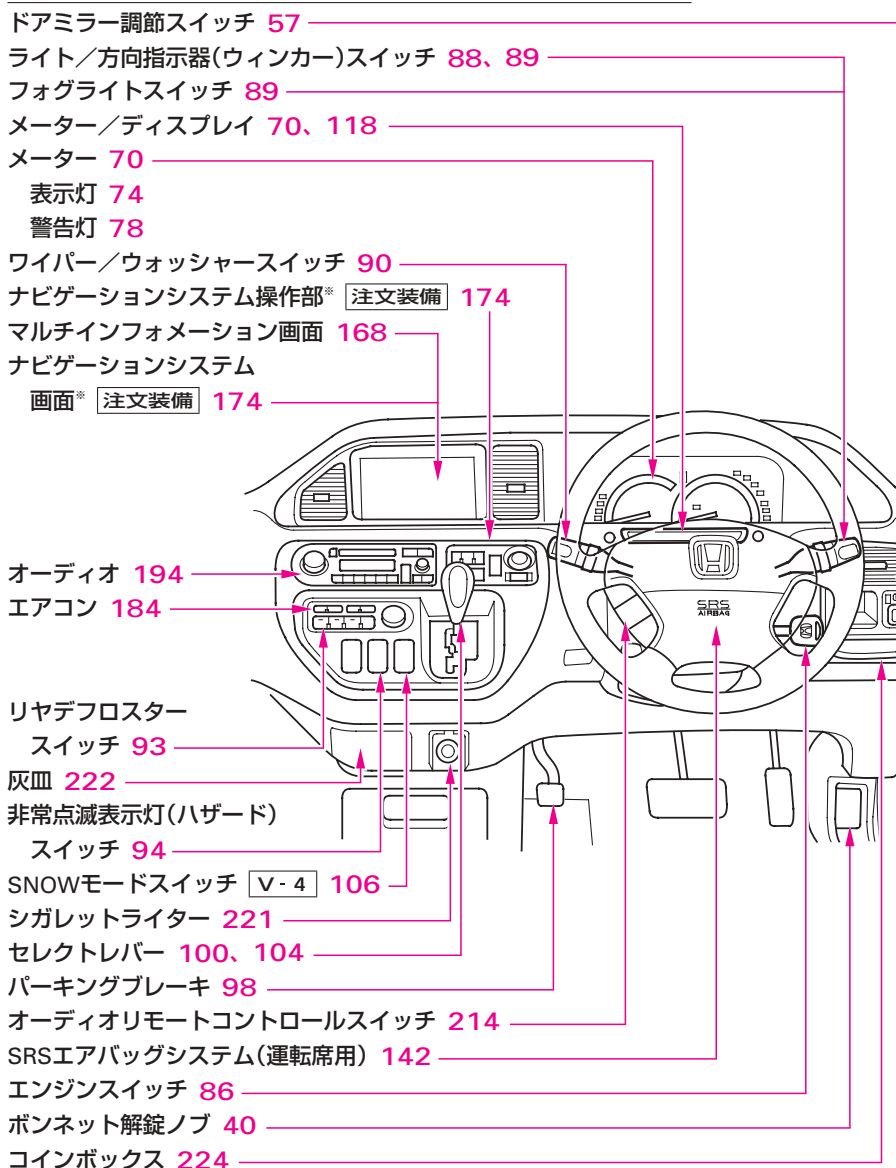
312

・こんなことでお困りのとき

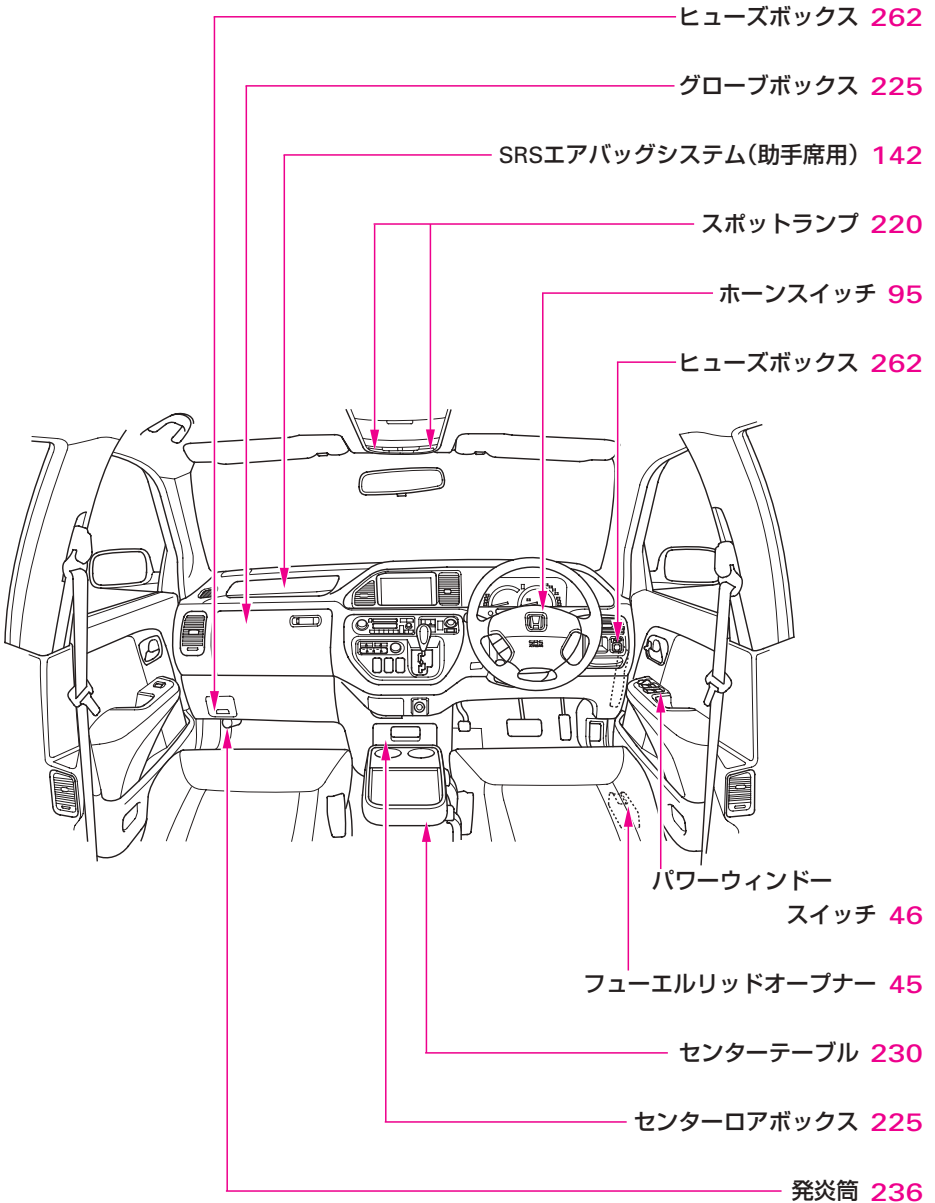
巻末

ビジュアル目次

インテリジェントハイウェイクルーズコントロール(IHCC)非装備車



※：ナビゲーションシステム装備車については、
別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。



ビジュアル目次

インテリジェントハイウェイクルーズコントロール(IHCC)装備車

“DISTANCE”スイッチ 130

“CRUISE”スイッチ 126

ライト/方向指示器(ウィンカー)スイッチ 88、89

フォグライトスイッチ 89

メーター/ディスプレイ 70、118

メーター 70

表示灯 74

警告灯 78

ワイパー/ウォッシャースイッチ 90

ナビゲーションシステム操作部* 注文装備 174

マルチインフォメーション画面 168

ナビゲーションシステム

画面* 注文装備 174

オーディオ 194

エアコン 184

リヤデフロスター

スイッチ 93

灰皿 222

非常点滅表示灯

(ハザード)スイッチ 94

シガレットライター 221

セレクトレバー 100、104

パーキングブレーキ 98

オーディオリモートコントロールスイッチ 214

SRSエアバッグシステム(運転席用) 142

クルーズコントロールリモートスイッチ 126

エンジンスイッチ 86

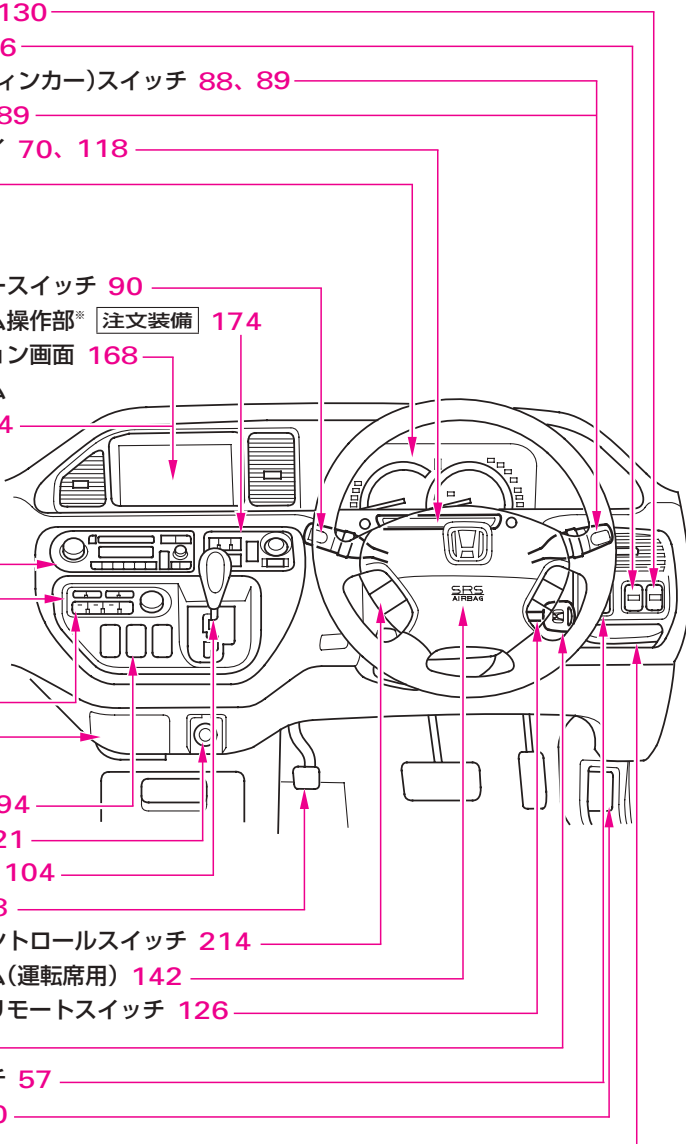
ドアミラー調節スイッチ 57

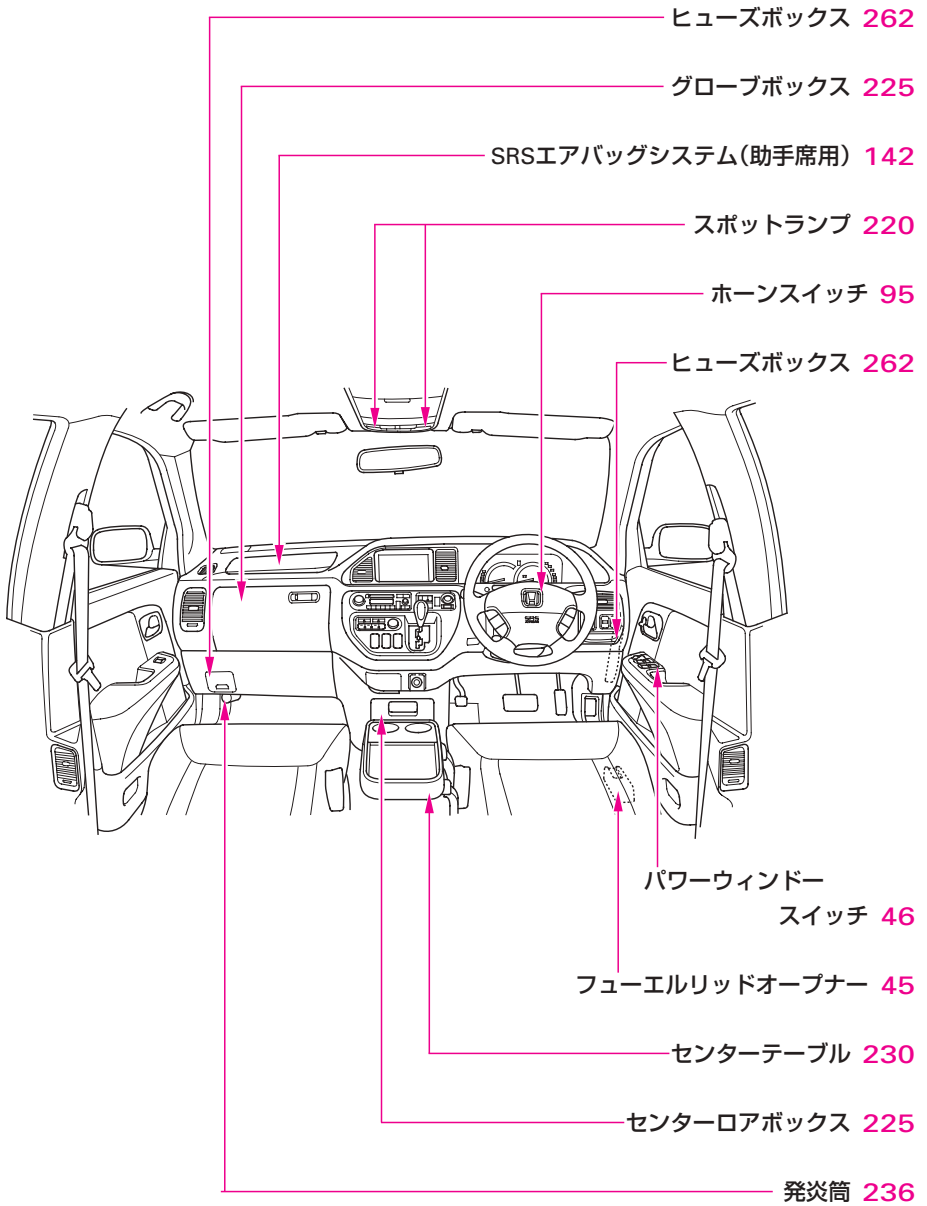
ボンネット解錠ノブ 40

コインボックス 224

※：ナビゲーションシステム装備車については、

別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。





ビジュアル目次

インテグレートドモニターシステム装備車

CDチェンジャー **タイプ別装備** 215

アクセサリソケット 230

テールゲート照明灯 219

AC 100V電源ソケット 228

AV外部入力端子 229

リアアームレスト 224

カップホルダー 231

シートベルト(チャイルドシート固定機構付き) 66

グラブレール 227

リアシートテーブル **注文装備** 227

後席室内灯 219

インテグレートドモニターシステム*

前席室内灯 218

シートベルト 58

ルーフコンソールボックス 226

サンバイザー 223

サングラスホルダー 224

ルームミラー 56

チルトステアリング

レバー 56

ナビゲーション

システム本体* **注文装備**

サイドエアバッグ

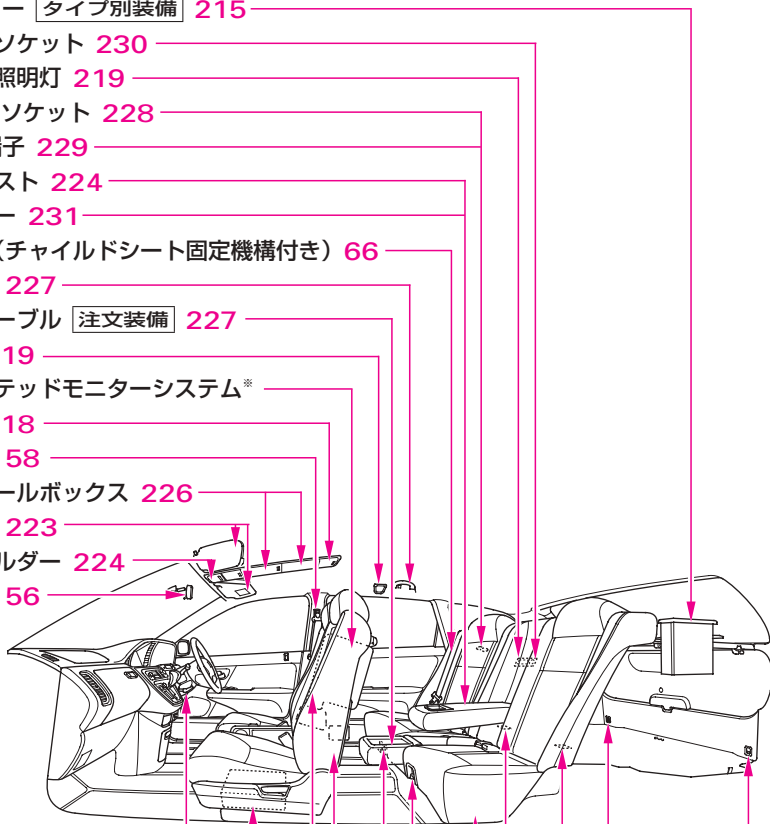
システム **注文装備** 150

灰皿 222

リアシートアジャストレバー **注文装備** 54

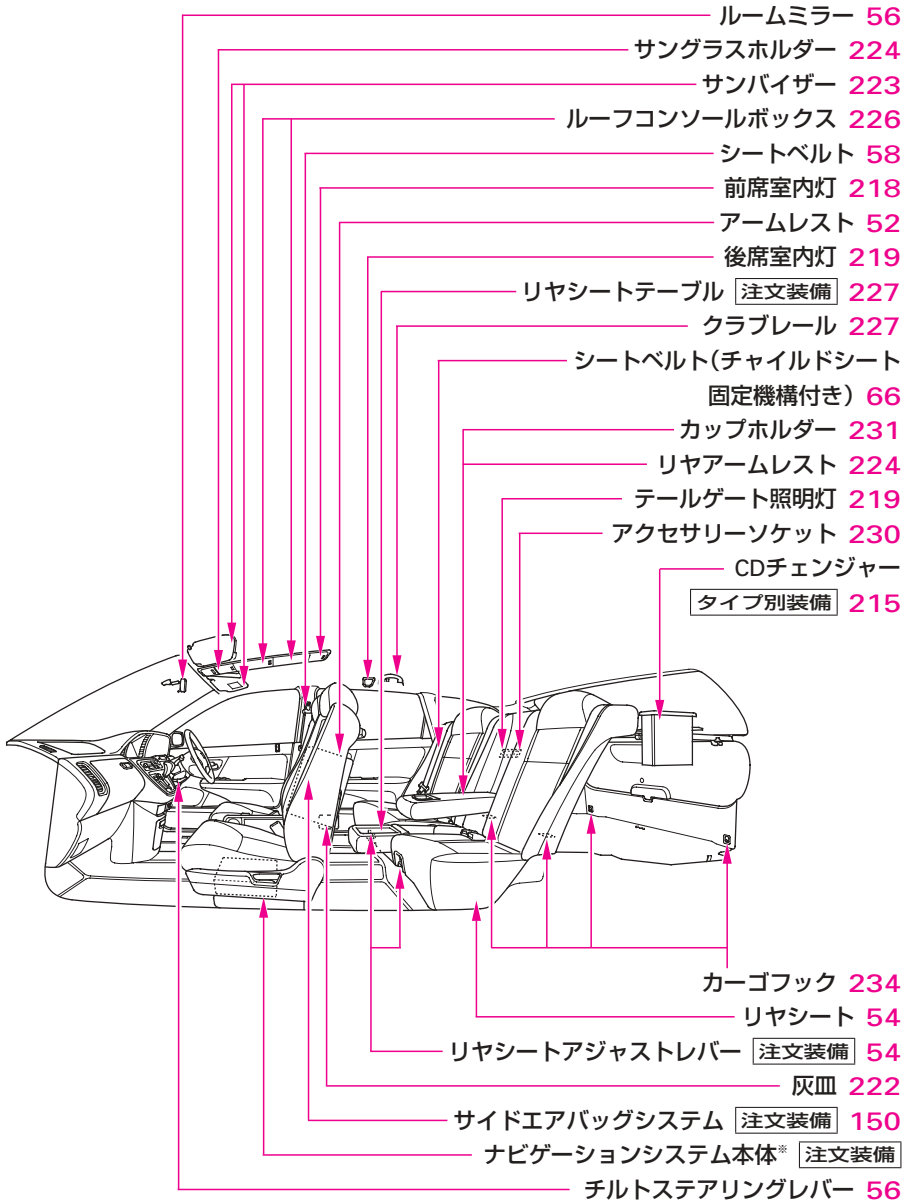
リアシート 54

カーゴフック 234



※：インテグレートドモニターシステム及びナビゲーションシステム装備車については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

インテグレートドモニターシステム非装備車



※：ナビゲーションシステム装備車については、別冊ナビゲーションシステムの取扱説明書をご覧ください。

ビジュアル目次

2WD車

ハイマウントストップランプ 165

リヤワイパー 92

センターアンテナ 196

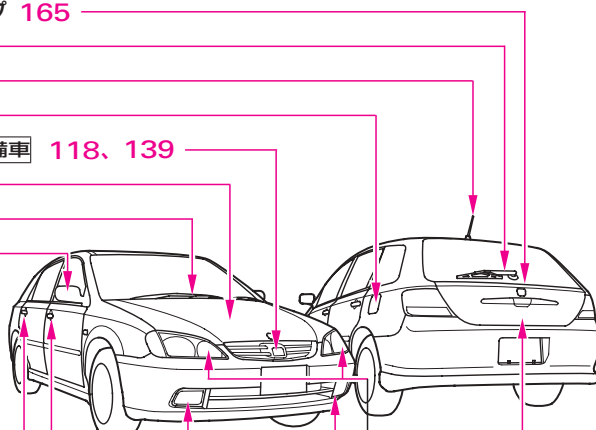
燃料補給口 44

レーザー光センサー IHCC装備車 118、139

ボンネット 40

ワイパー 90

ドアミラー 57



ドアの施錠・開錠 36

フォグライト 89、268

ヘッドライト 88、267

テールゲート 42

4WD車

ハイマウントストップランプ 165

リヤワイパー 92

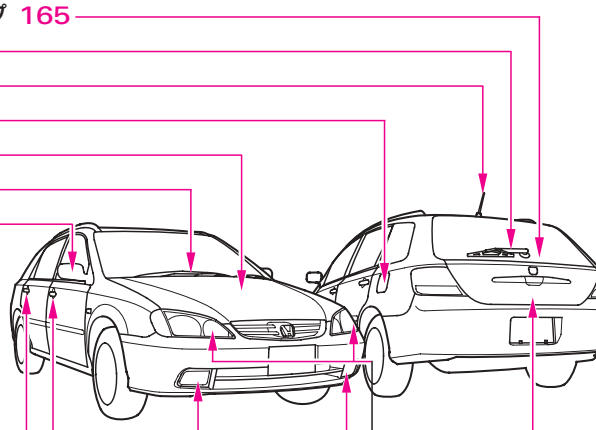
センターアンテナ 196

燃料補給口 44

ボンネット 40

ワイパー 90

ドアミラー 57



ドアの施錠・解錠 36

フォグライト 89、268

ヘッドライト 88、267

テールゲート 42

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに…………… 14
- お子さまに思いやりを…………… 16
- 正しい知識で最適運転…………… 20
- オートマチック車の注意ポイント… 22
- 駐車や停車はしっかりと…………… 26
- こんなことにも注意をしよう…………… 28

1 お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。 <メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、ホンダクリオ店で点検を受けてください。(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感したら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。 <58ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



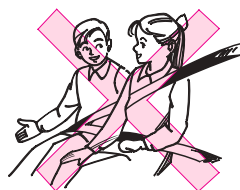
- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。

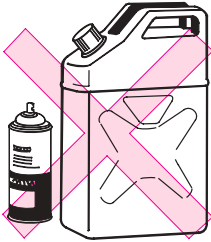


- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



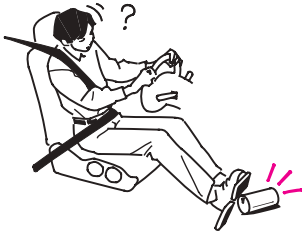
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



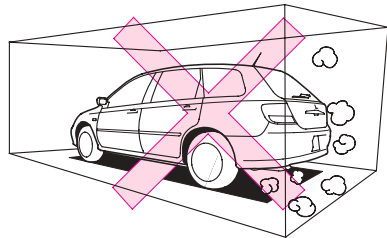
- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらホンダクリオ店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

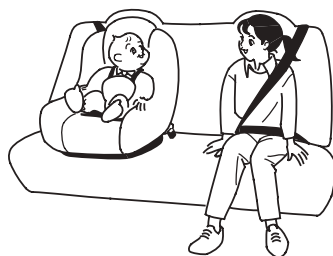
お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・ 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・ インstrumentパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・ サイドエアバッグ装備車では、フロントドアに寄りかかった状態での乗車は、サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・ お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

- チャイルドブローフをお使いください。<39ページ参照>

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート※をお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



- ※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

- ・シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
- ・チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- ・シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- ・Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダクリオ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	~10	~75	~12か月
幼児用(チャイルド)シート	7~18	65~100	4か月~4才
学童用(ジュニア)シート	15~32	100~135	4才~10才

安全ドライブのための必読6ポイント

- チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →60ページ

チャイルドシート固定機構付き

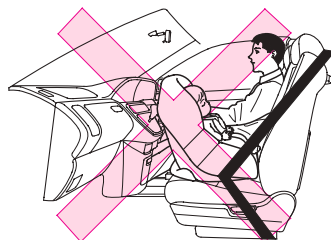
シートベルト →66ページ

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。

- ・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。

- ・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



- チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

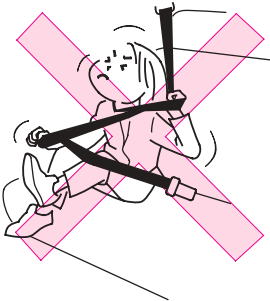
お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
<46ページ参照>
- 走行中、一時停止のときなど、窓から手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万ーベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



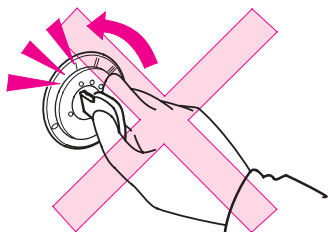
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。







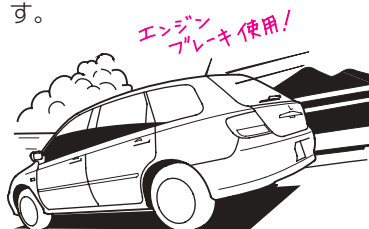
正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、またはを使って、エンジンブレーキを併用してください。に入れてスイッチを使うとさらに強いブレーキ力が得られます。

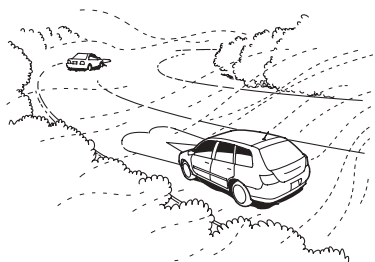


エンジンブレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

霧が出たときは。

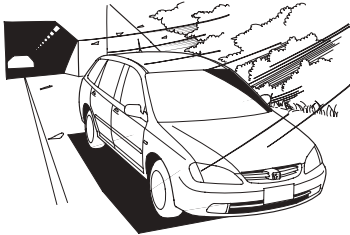
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げ、進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

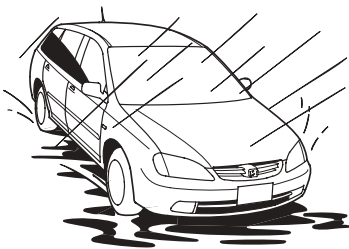
- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロブレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロブレーニング現象とは

→300ページ



水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
<78ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

4

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<108ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

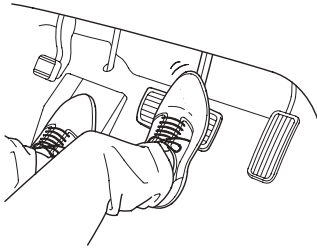
- PまたはDで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

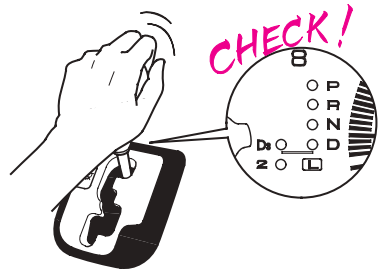
- ペダルの踏みまちがいのないように、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンをかけるとき。**

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定される回でエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



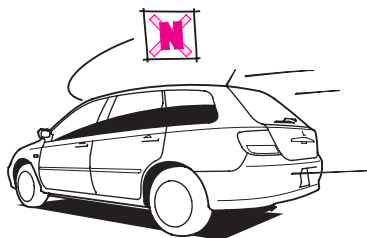
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをDにしな
ないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思
わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアク
セルペダルを踏み込んだとき、キッ
クダウンにより、急にエンジン回転
が上がり、思ったより速度が出てし
まうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作して
ください。

また、すべりやすい路面やカーブで
は、急激なアクセルペダル操作は避
けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使
いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブ
レーキが過熱して、ブレーキのきき
が悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →20ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダル
をしっかりと踏み、必要に応じてパ
ーキングブレーキをかけましょう。

- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
万一、セレクトレバーがD以外
のとき、思わぬ急発進のもとになりま
す。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレー
キをかけてセレクトレバーをDに入
れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがD以外に
入っていると、クリーブ現象で車が
動き出したり、乗り込むときに、誤
ってアクセルペダルを踏み込んで急
発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

坂道などで、前進(回、回、回)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(回)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

- 後退したあとは、すぐ回から回にもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、回に入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、回に入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、回からのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
- ・セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- 回以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

回以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

- 回に入るとチャイムが鳴ります。

- ・セレクトレバーが回のとときにチャイムが鳴り、回に入っていることを運転者に知らせます。
- ・車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。

- 万一、回や回からセレクトレバーが操作できないときは：

- ・カバーを外し、

→111ページ

- ・キーまたはドライバーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・キーまたはドライバーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



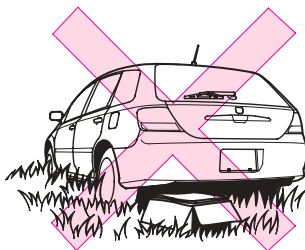
シフトロック
解除穴

5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

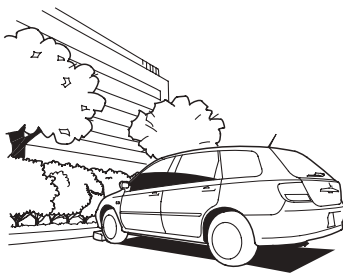
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。

無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

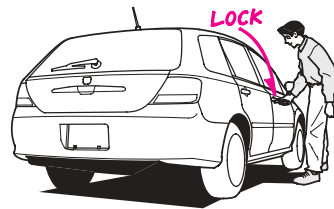
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

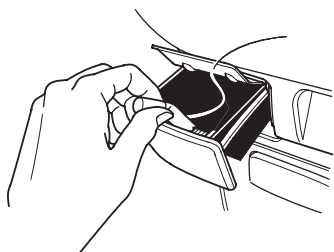
- パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
- さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

安全ドライブのための必読6ポイント

こんなことにも
注意をしよう

タバコの吸いがらは火を消して。

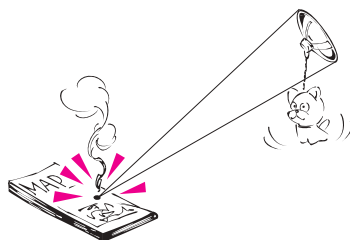
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

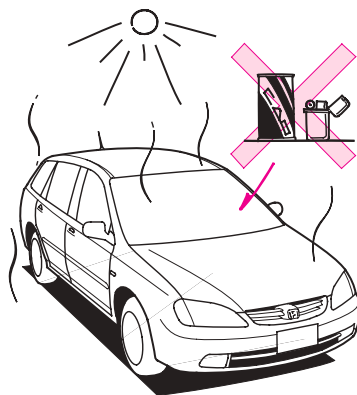
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。

視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱい回した状態をつげない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつけないでください。

パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。

・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、AVANCIER専用用品をご使用ください。

専用用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

ホンダクリオ店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダクリオ店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

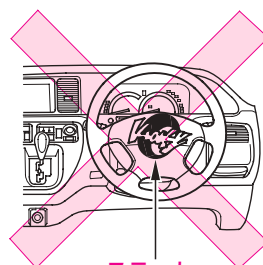
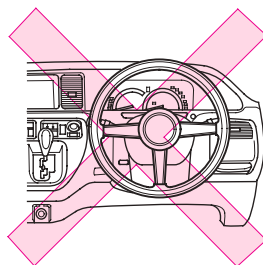
●運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

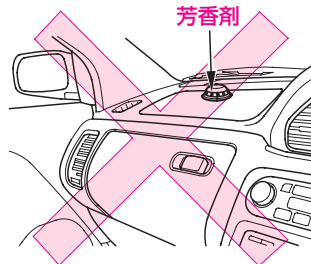
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物がとぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、ホンダクリオ店にご相談ください。

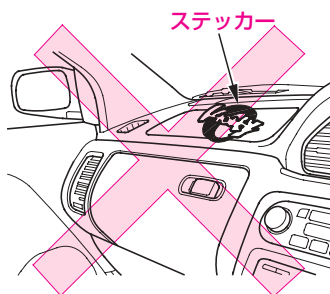
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤



ステッカー

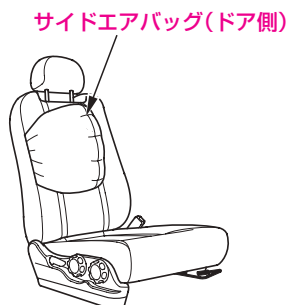
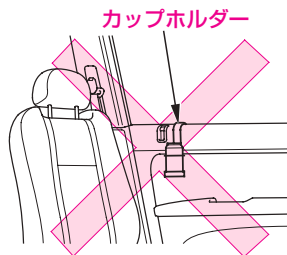
- 運転席および助手席用サイドエアバッグシステム装備車は、フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けたりしないでください。

フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。

フロントシートにこの車専用のホンダ純正用品(シートカバーなど)以外を取り付けしないでください。

また、新車時についているビニールのシートカバーは、必ず外してください。

- ・サイドエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、ホンダクリオ店にご相談ください。
 - ①フロントシートまわりの修理
 - ②センターコンソール付近の修理
 - ③カーステレオ等用品の取り付け
 - ④センターピラーまわりの修理

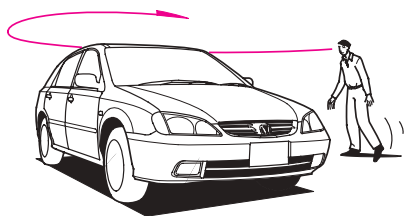


安全ドライブのための必読6ポイント

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

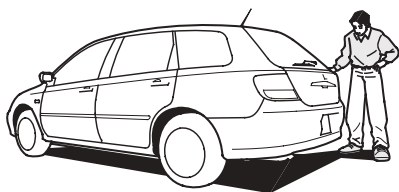
車の周りには運転席から見えなところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

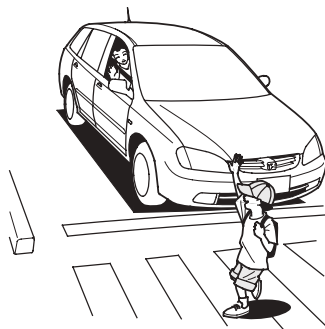


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。

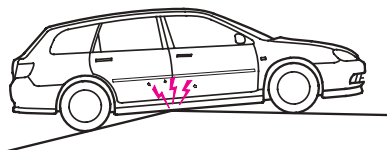
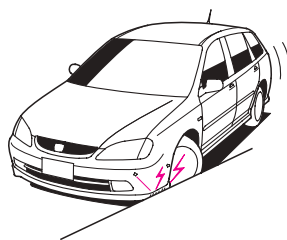
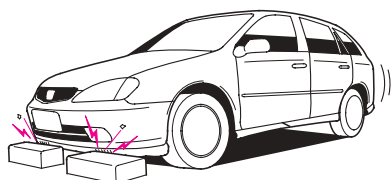


車止めなどに注意して。

Nouvelle Vague

●次のような場合には、アンダースポイラーを損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- ・車止めのある場所への駐車
- ・路肩に沿っての駐車
- ・平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- ・路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・凹凸やわだちのある道路の走行
- ・くぼみ(穴)のある個所の通過





車を運転する前に

●各部の開閉

キー	38
ドアの施錠・解錠	38
ボンネット	40
テールゲート	42
燃料補給口	44
パワーウィンドー	46

●シートの調節

正しい運転姿勢	48
フロントシート	50
リヤシート	54

●ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング	56
ルームミラー	56
ドアミラー	57

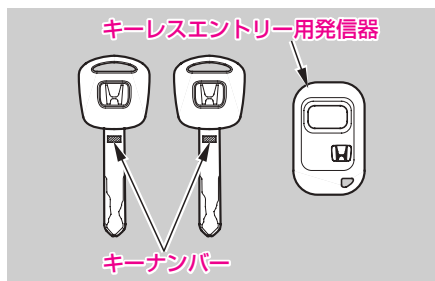
●シートベルト

シートベルト	58
着用のしかた	64
チャイルドシート固定機構付き シートベルト	66

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアの施錠・解錠に使えます。



キーレスエントリー用発信器はドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →38ページ

キーレステールゲートオープナー

→42ページ

🎓 知識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダクリオ店へご連絡いただければ、購入することができます。キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダクリオ店へご連絡ください。

ドアの施錠・解錠

⚠️ 注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

🎓 知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、前席室内灯が点灯・消灯します。

前席室内灯 →218ページ



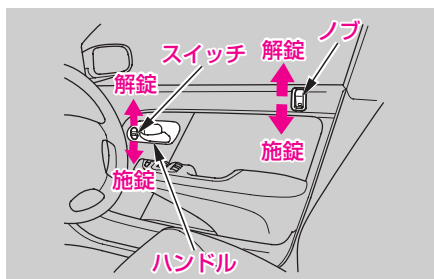
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。
運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。
運転席ドア部のスイッチを操作すればすべてのドアやテールゲートの施錠(解錠)ができ、ノブの操作では施錠のみ連動します。



運転席ドアは内側のハンドルを引くと解錠されます。

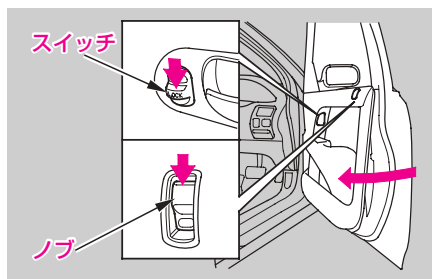
●キーを使わないで施錠する場合

知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠すると、他のすべてのドアとテールゲートも同時に施錠されます。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

その他のドア

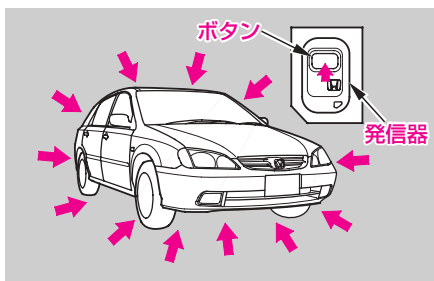
ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

●キーレスエントリー

ドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。



発信器のボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



🎓 知識

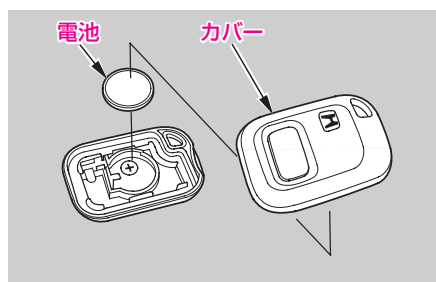
- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドア、テールゲートが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。



発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR1616

カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。



🎓 知識

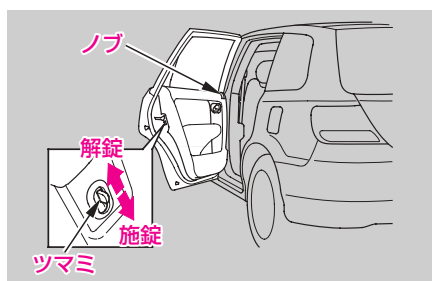
- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

●チャイルドロック

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。



ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

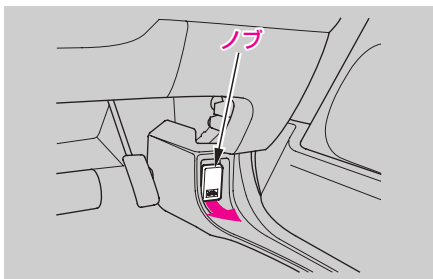
🎓 知識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

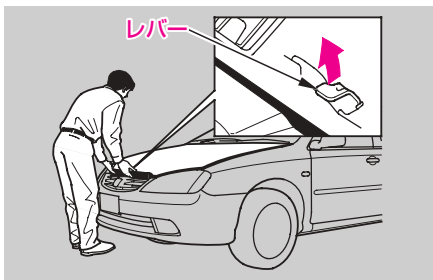
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



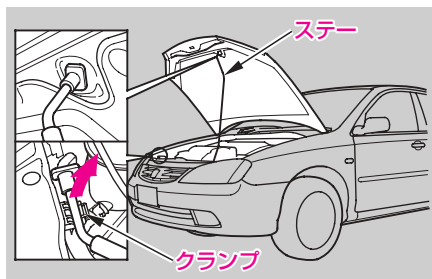
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



📖 知識

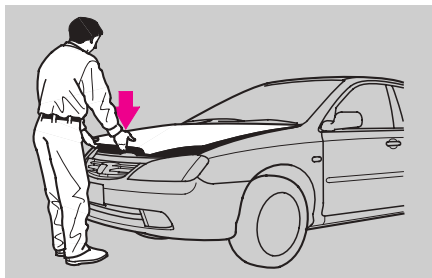
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

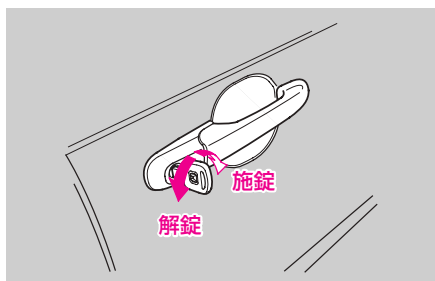
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

テールゲート

●施錠・解錠

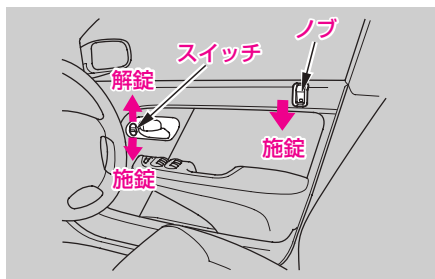
車外から行う場合

運転席ドアにキーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。



車内から行う場合

運転席ドア部のスイッチを操作するとすべてのドアとテールゲートの施錠(解錠)ができ、ノブの操作では施錠のみ連動します。

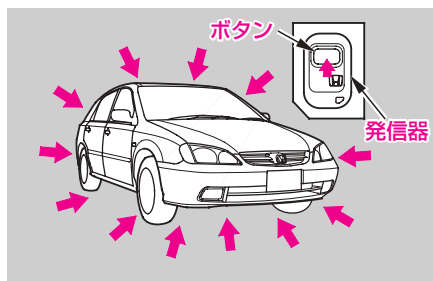


キーレステールゲートオープナー

キーレスエントリー用発信器を使ってテールゲートの施錠・解錠ができます。



発信器のボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。

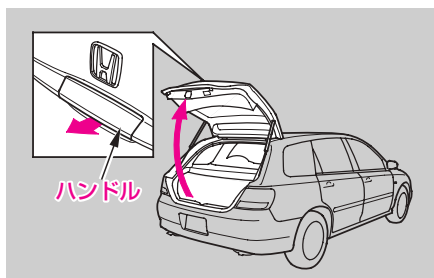


キーレスエントリー →38ページ

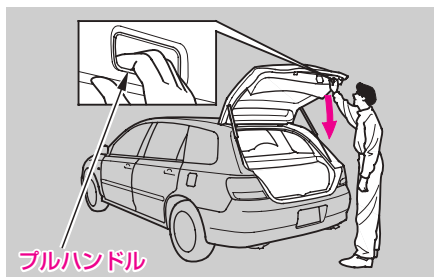


●開閉

テールゲートを解錠してから、ハンドルを引き静かに引き上げて開けます。



閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。



⚠注意

- テールゲートを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後ろに立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。

🎓知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

指定燃料：無鉛レギュラーガソリン
(無鉛ハイオクも使用可能)

タンク容量：

L、V、 Nouvelle Vague	65 ℓ
L - 4	60 ℓ
V - 4	61 ℓ

⚠ 警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。
- 燃料補給作業は静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

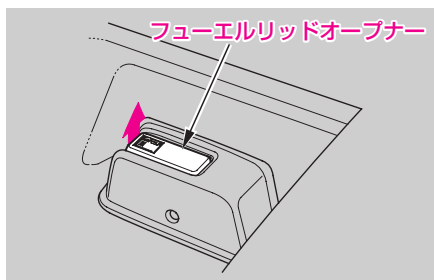
アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
 - ・ 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
 - ・ 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
 - ・ 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

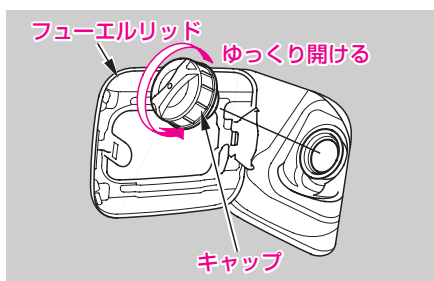


●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③キャップをゆっくり回して開けます。



⚠注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

🎓知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
- 燃料補給は自動停止後に追加補給しないでください。気温などの変化によりあふれることがあります。

●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。

開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

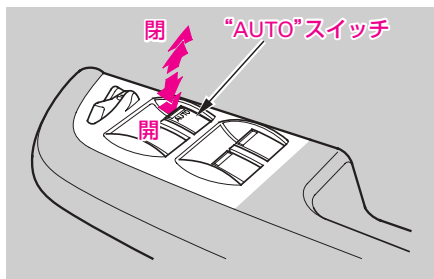
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●運転席以外のウィンドーの開閉

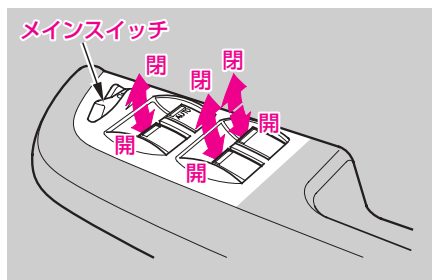
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

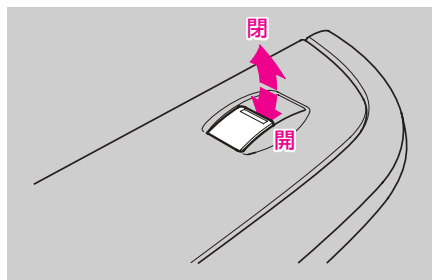
開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・その他のドアスイッチ



運転席以外のウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、運転席以外のウィンドーは作動しません。



⚠️ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠️ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。
- 後席(左、右)のウィンドーは、全開しません。

● はさみ込み防止機構(運転席のみ)

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物ののはさみ込みを検知するとのはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠️ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

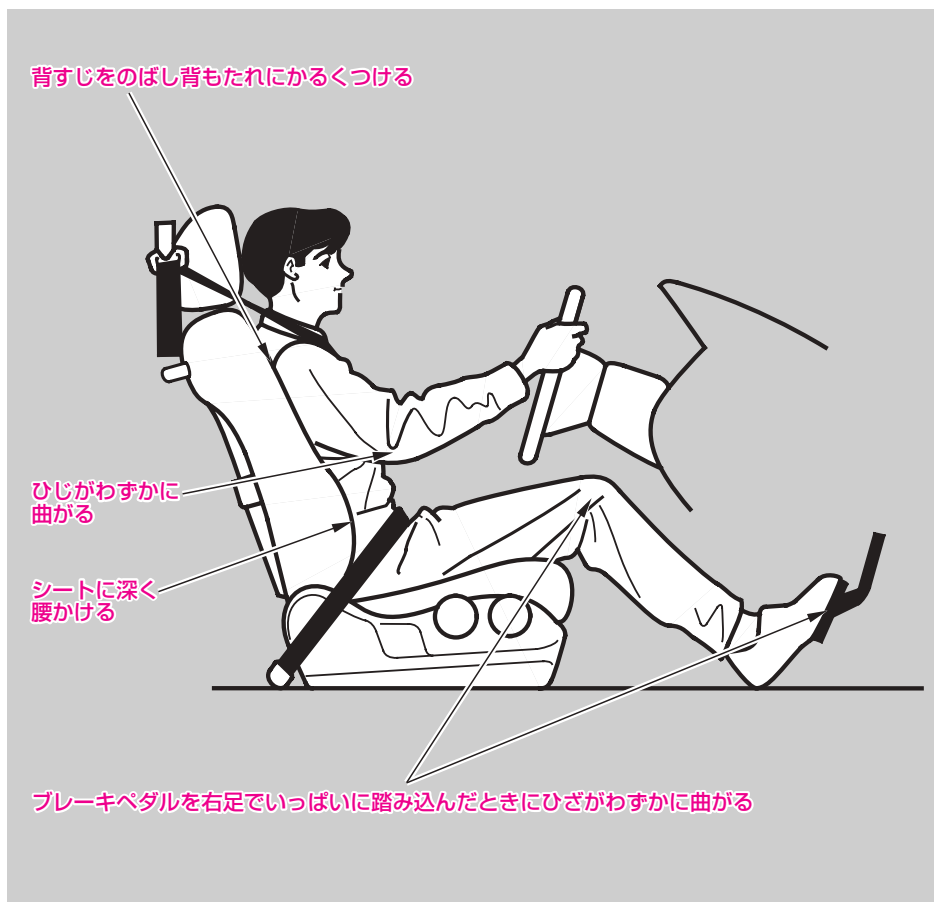
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを締め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

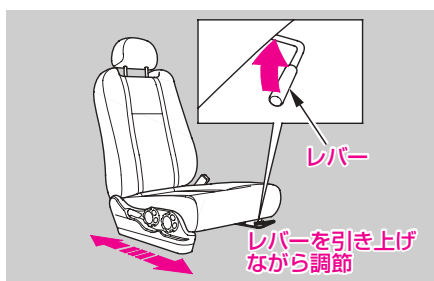
- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシート

●前後位置の調節

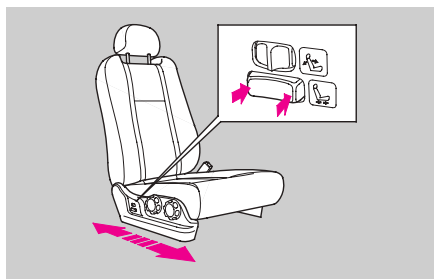
マニュアルシート

運転席：タイプ別装備
助手席：標準装備



パワーシート

運転席：タイプ別装備



●背もたれの調節

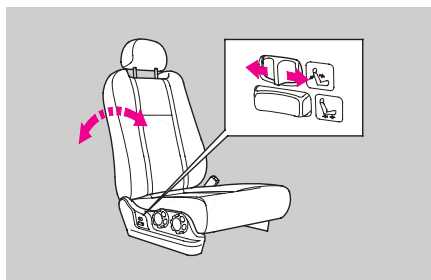
マニュアルシート

運転席：タイプ別装備
助手席：標準装備



パワーシート

運転席：タイプ別装備



知識

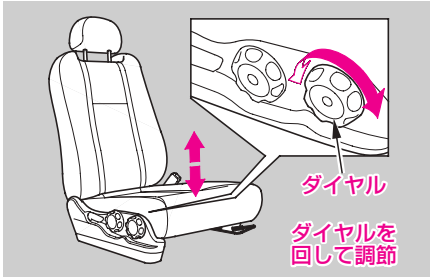
- **インテグレートドモニターシステム装備車**
モニターの破損防止のため運転席シートの背もたれの角度調節範囲を制限しています。



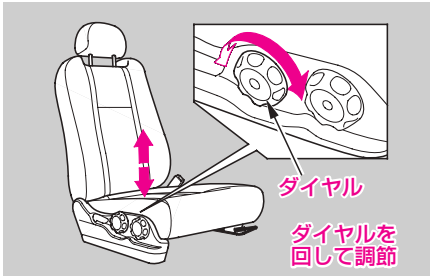
●高さの調節(運転席のみ)

前側と後側それぞれ独立して行えます。

前側



後側



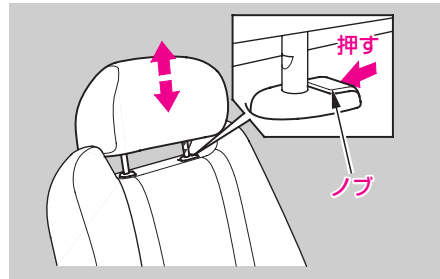
●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

高くするときには、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときにはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



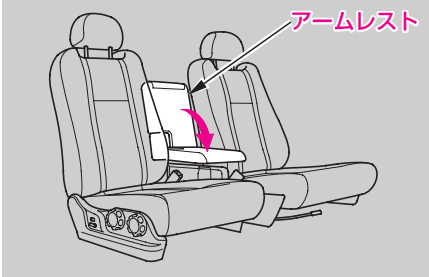
⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

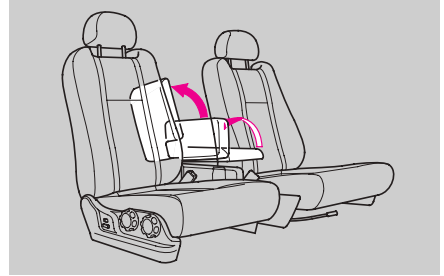
●アームレスト

インテグレートドモニターシステム非装備車

前に倒して使います。



ウォークスルーをするときは、運転席側へ引き起こします。





注意

- シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。

アドバイス

- アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

知識

- センターテーブルを使用しているときは、アームレストを前に倒さないでください。

センターテーブル →230ページ

リヤシート

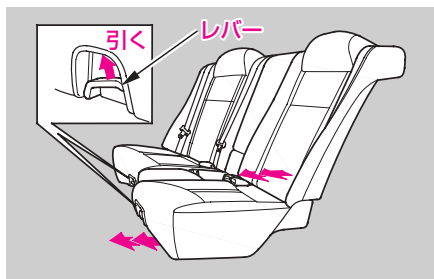
●前後位置と背もたれの調節

注文装備

リヤシートの前後位置と背もたれの角度を同時に調節することができます。調節は片側ずつ別々にできます。

シート下のレバーを引きながら、座面を前後に動かします。

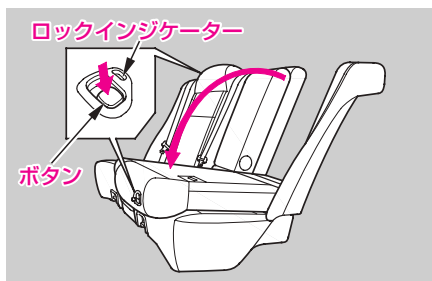
背もたれはシートの前後位置により角度が変化します。



●背もたれの倒しかた

背もたれは、片側ずつ独立して前に倒すことができます。

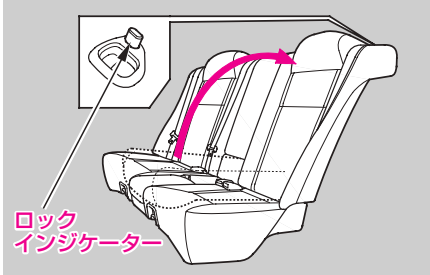
ボタンを押して、ロックを外します。(ロックインジケーターが出てきます。)その後、背もたれを前に倒します。





●起こしかた

後ろへ押しつけて固定します。



ロックインジケータが出ていないことを確認してください。出ている場合は、再度後ろへ押しつけて固定してください。

⚠注意

- 倒した背もたれの上やカーゴルーム内には人を乗せて走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- 背もたれを確実に固定してください。固定されていないとシートベルトが本来の機能をはたせず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

📖知識

- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれではさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- ロックインジケータが出ているときは、背もたれが固定されていません。

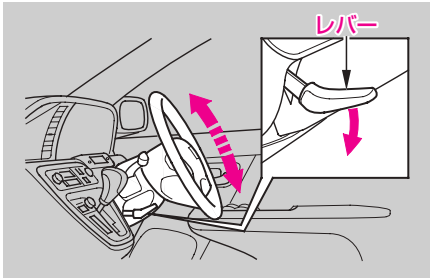
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

🎓 知識

- 操作時にホーンが鳴ることがありますが異常ではありません。

ルームミラー

🎓 知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。



ドアミラー

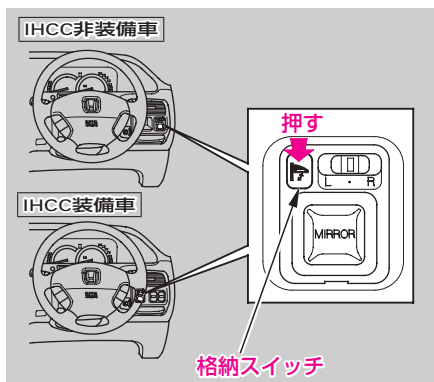
知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

●格納のしかた

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。

格納スイッチを押すとミラーがたたまれます。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。

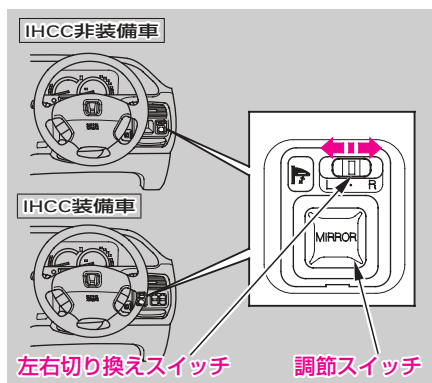


直接手で格納することもできます。

●角度調節のしかた

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。

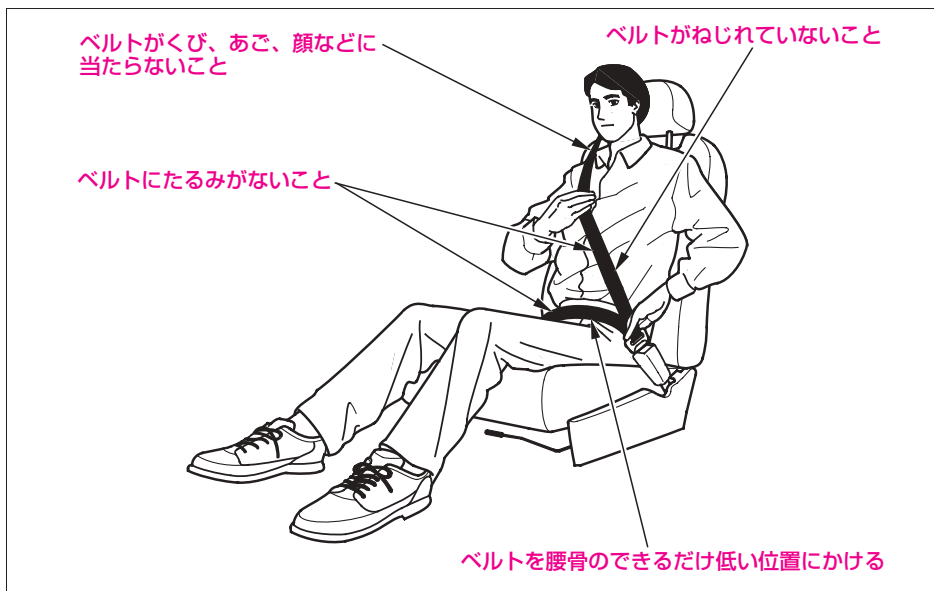


直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



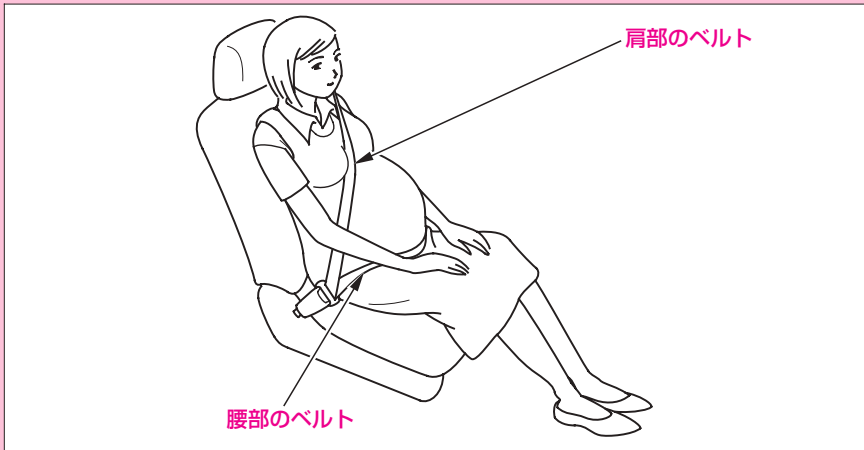
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠️ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるとして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるとしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト →66ページ



●三点式シートベルト

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

テンションリデューサー(前席のみ)

ベルト着用時の圧迫感を軽減する装置です。エンジンスイッチが“II”でシートベルトを着用したときに、はたらきます。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

→66ページ

知識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。
このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた →67ページ

シートベルトプリテンショナー (前席のみ)

→160ページ

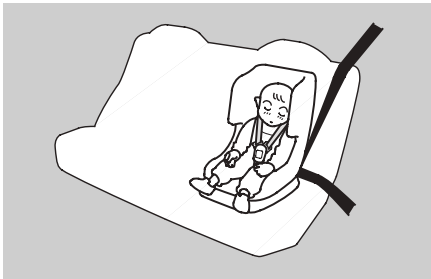
●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

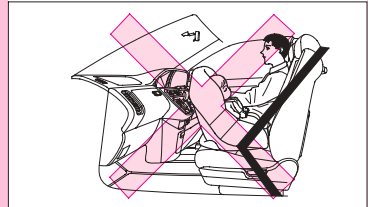
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。また、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダクリオ店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド) シート	7～18	65～100	4か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。
前席シートベルトは、前席に乗員がいなくても、SRSエアバッグが作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。
また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。
- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないてください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

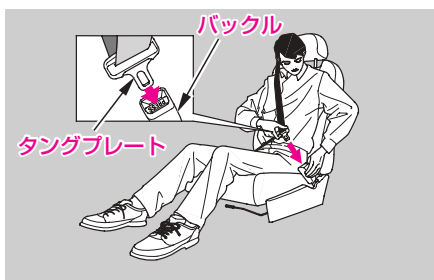
①正しい運転姿勢でシートにすわります。

(→48ページ)

②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させます。



⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

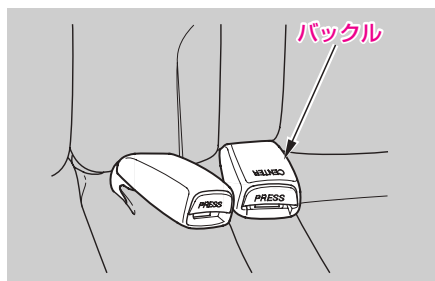
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。





後席中央

タンクプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。バックルに“CENTER”(センター)の表示があります。

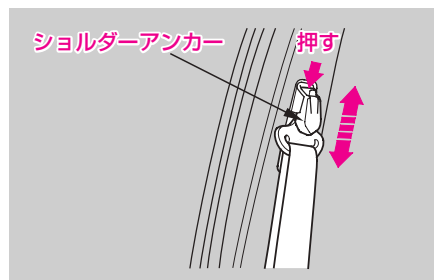


ショルダーアンカーの高さ調節

(前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。

通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。



⚠ 注意

- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

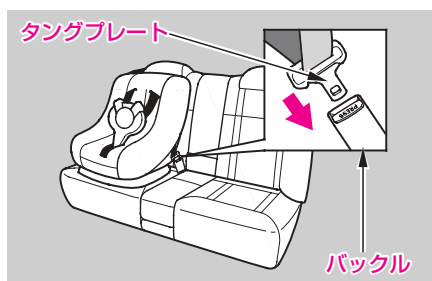
後席のシートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートなどを固定するのに便利です。取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

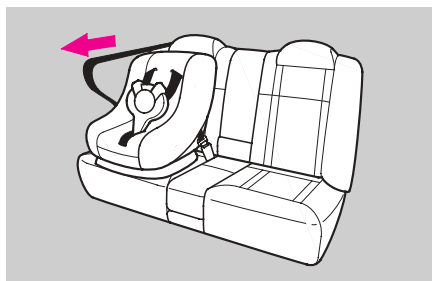
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。
- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせます。“カチカチ”と音がしますが、これはチャイルドシート固定機構の作動音です。このとき、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

⚠️ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

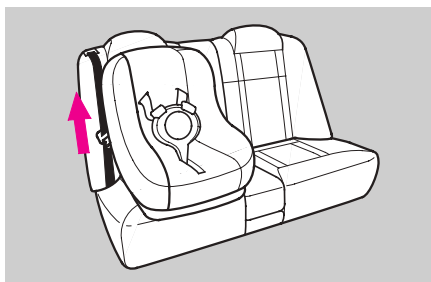


⚠️ 注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



2

車を運転するときに

●メーター ……………70

イルミネーション
コントロール……………73

●表示灯……………74

●警告灯……………78

セーフティインジケーター…………85
警告灯の電球切れの点検…………85

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ……………86

ライトスイッチ……………88

方向指示器(ウィンカー)

スイッチ……………89

フォグライトスイッチ……………89

ワイパー/ウォッシャー

スイッチ……………90

リヤデフロスタースイッチ…………93

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ……………94

ホーンスイッチ……………95

●運転のしかた

エンジンのかけかた……………96

パーキングブレーキ……………98

セレクトレバー

の操作……………100・104

オートマチック車の運転の

しかた……………108

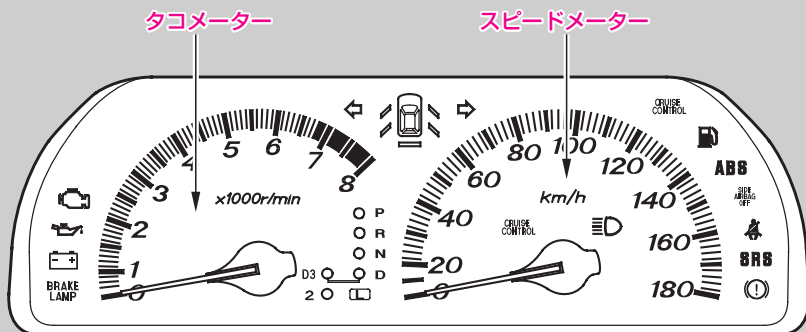
インテリジェントハイウェイ

クルーズコントロール

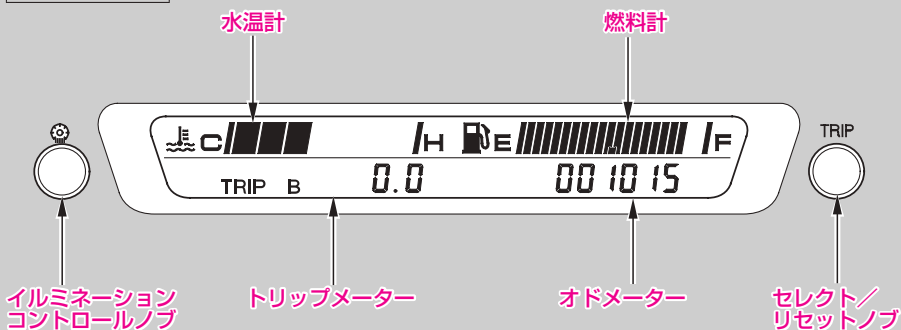
(IHCC)……………118

メーター

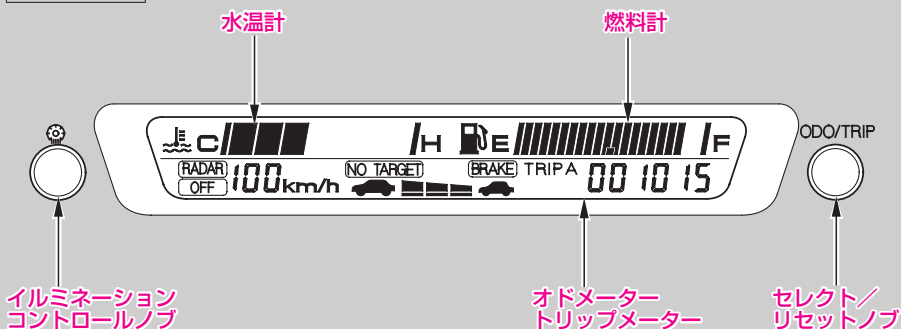
イラストは代表例を掲載しています。



IHCC非装備車



IHCC装備車





スピードメーター

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、走行速度をkm/hで示します。

オドメーター

IHCC非装備車

エンジンスイッチを“II”にすると表示し、走行した累計をkmで示します。

IHCC装備車

エンジンスイッチを“II”にすると、“TRIP△”、“TRIP□”または“オドメーター”が表示され、区間距離をkmで示します。

表示はセレクト／リセットノブを短く押すごとに「…“TRIP△”→“TRIP□”→“オドメーター”→“TRIP△”…」の順に切り換わります。

トリップメーター

IHCC非装備車

エンジンスイッチを“II”にすると、“TRIP△”または“TRIP□”が表示され、区間距離をkmで示します。

表示はセレクト／リセットノブを短く押すごとに「…“TRIP△”→“TRIP□”→“TRIP△”…」の順に切り換わります。

例えば、

“TRIP△”で出発からの距離

を測りながら、

“TRIP□”で給油してからの距離

を測るといったようなことができます。

リセットはセレクト／リセットノブを約1秒押し続けます。

この場合、表示されている方だけ(例え

ば“TRIP△”が表示されていれば“TRIP△”だけがリセットされます。

IHCC装備車

エンジンスイッチを“II”にすると、“TRIP△”、“TRIP□”または“オドメーター”が表示され、区間距離をkmで示します。

表示はセレクト／リセットノブを短く押すごとに「…“TRIP△”→“TRIP□”→“オドメーター”→“TRIP△”…」の順に切り換わります。

例えば、

“TRIP△”で出発からの距離

を測りながら、

“TRIP□”で給油してからの距離

を測るといったようなことができます。

リセットは“TRIP△”または“TRIP□”を表示させてからセレクト／リセットノブを約1秒押し続けます。

この場合、表示されている方だけ(例えば“TRIP△”が表示されていれば“TRIP△”だけがリセットされます。

タコメーター

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、1分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数 (rpm)
L、 Nouvelle Vague、 L-4	6,300
V、V-4	6,800

- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

燃料計

エンジンスイッチを“II”にすると表示し、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →44ページ



水温計

エンジンスイッチを“II”にすると表示し、エンジン冷却水の温度を示します。“H”表示が点滅していないときは正常です。

アドバイス

- 次のような表示になった場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。
- オーバーヒートしたとき

→256ページ

オーバーヒート時の表示

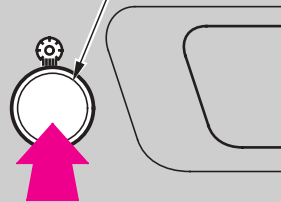


イルミネーションコントロール

エンジンスイッチが“II”のとき、メーター照明の明るさが調節できます。

明るさは、イルミネーションコントロールノブを押すごとに変わります。

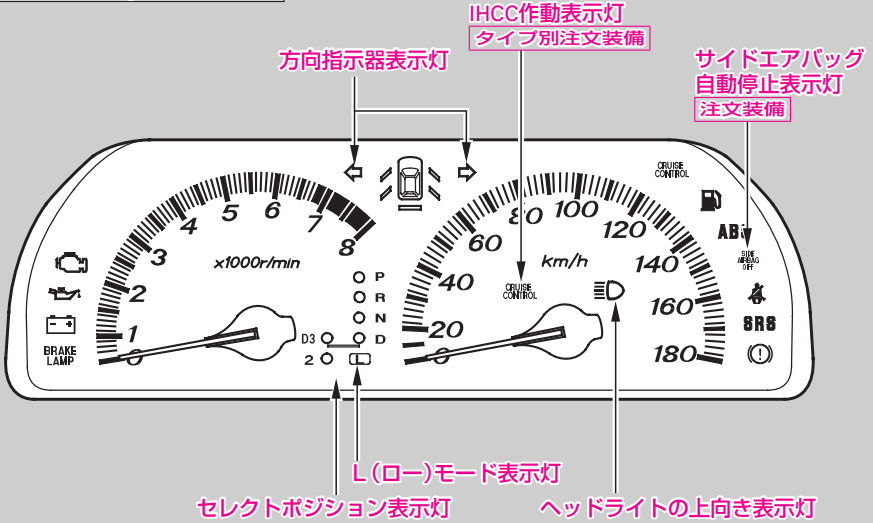
イルミネーションコントロールノブ



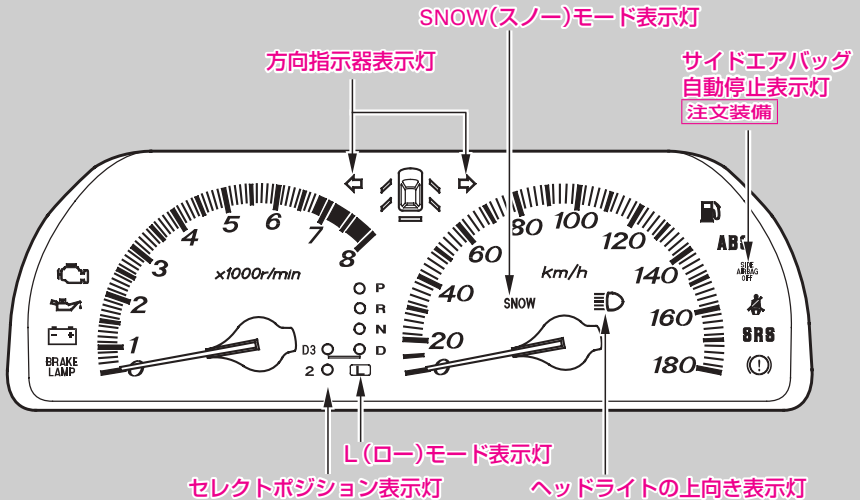
表示灯

イラストは代表例を掲載しています。

L、Nouvelle Vague、L-4、V



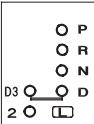






V-4





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ				
	L	Nouvelle Vague	L - 4	V	V - 4
 方向指示器表示灯	○	○	○	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○	○	○	○
 セレクトポジション 表示灯	○	○	○	○	○
 IHCC作動表示灯(グリーン)				△	
 サイドエアバッグ自動停止 表示灯	△	△	△	△	△
 L (ロー)モード表示灯	○	○	○	○	○
 SNOW(スノー)モード 表示灯					○

○：標準装備

△：注文装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→269、271ページ

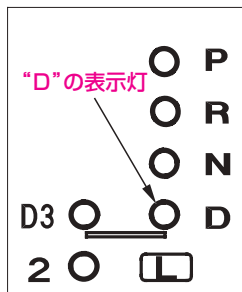
電球(バルブ)のワット数

→307ページ



ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

トランスミッションが異常のときには、“D”の表示灯が点滅します。

トランスミッション警告灯 →82ページ



L (ロー)モード表示灯

Lモードのときに点灯します。

L (ロー)モード →102、106ページ



SNOW(スノー)モード表示灯

V-4

SNOWモードのときに点灯します。

SNOW(スノー)モード →106ページ



IHCC作動表示灯(グリーン)

タイプ別注文装備

自動定速走行しているときに点灯します。

インテリジェントハイウェイ

クルーズコントロール →136ページ



サイドエアバッグ自動停止表示灯

注文装備

乗員姿勢検知システムにより、助手席用サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。



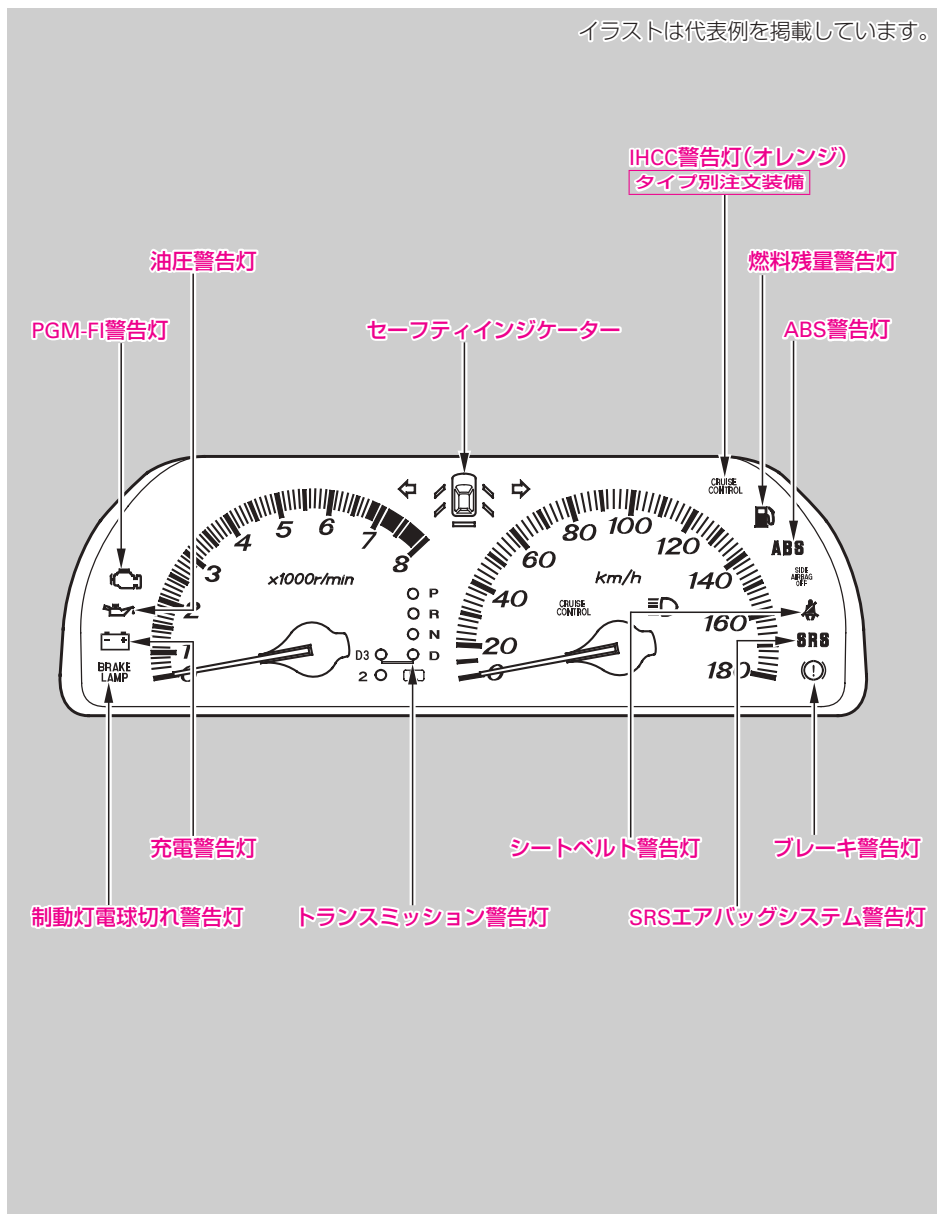
点灯したときは

上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。

サイドエアバッグシステム →157ページ








警告灯

イラストは代表例を掲載しています。





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	L	Nouvelle Vague	L - 4	V	V - 4
 油圧警告灯	○	○	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○	○	○
 トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)	○	○	○	○	○
 シートベルト警告灯	○	○	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○	○	○
 SRSエアバッグシステム警告灯	○	○	○	○	○
 アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯	○	○	○	○	○
 IHCC警告灯(オレンジ)				△	
 制動灯電球切れ警告灯	○	○	○	○	○
 セーフティインジケーター	○	○	○	○	○

○：標準装備

△：注文装備



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダクリオ店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。また、ABSが異常のときにもABS警告灯と同時に点灯します。



点灯したときは

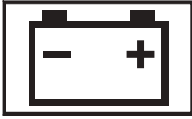
走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダクリオ店へご連絡ください。ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダクリオ店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、ABS警告灯と同時に点灯したときは、ABSの異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →163ページ



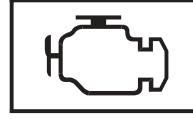
充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

V, V-4

触媒装置が異常のときは点滅します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

点滅したときは

V, V-4

- ① 走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分間以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。
- ② エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのホンダクリオ店まで走行し点検を受けてください。

アドバイス

エンジン各気筒の失火状態を検知し、警告灯を点滅させる機能を持っています。警告灯が点滅した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

トランスミッションが異常のときに点滅します。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が11ℓ (L、Nouvelle Vague、V)、10ℓ (L-4、V-4)前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →44ページ



BRAKE LAMP

制動灯電球切れ警告灯

制動灯の電球切れのときに点灯します。



点灯したときはホンダクリオ店で点検を受けてください。

電球(バルブ)の交換 →271ページ

CRUISE CONTROL

IHCC警告灯(オレンジ)

タイプ別注文装備

システムが異常のときに点灯します。

→136ページ

SRS

SRSエアバッグシステム警告灯 (サイドエアバッグシステム警告灯 〔注武装備〕、シートベルトプリテン ション警告灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

- SRSエアバッグシステム →149ページ
- サイドエアバッグシステム →159ページ
- シートベルトプリテンション
→161ページ

ABS

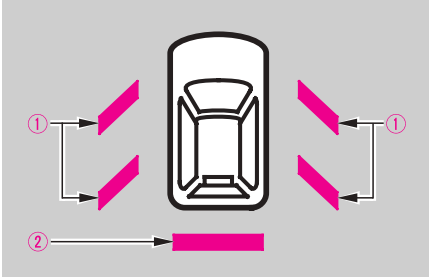
アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→163ページ



セーフティインジケーター



① ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。

② テールゲート開閉警告灯

テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。



テールゲートを完全に閉めてください。

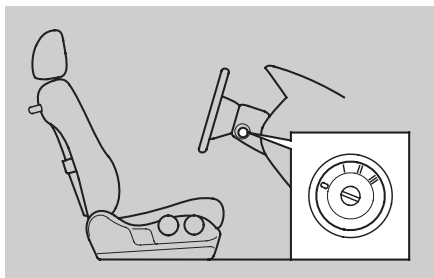
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダクリオ店にご連絡ください。

- **油圧警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **ブレーキ警告灯**
(パーキングブレーキを完全に解除すると消灯)
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
- **充電警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **トランスミッション警告灯**
(数秒後消灯)
- **PGM-FI警告灯**
(数秒後消灯)
- **SRSエアバッグシステム警告灯**
(約 6 秒後消灯)
- **アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯**
(数秒後消灯)
- **制動灯電球切れ警告灯**
(数秒後消灯)
- **IHCC警告灯**
(数秒後消灯)
- **セーフティインジケーター内の警告灯**
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

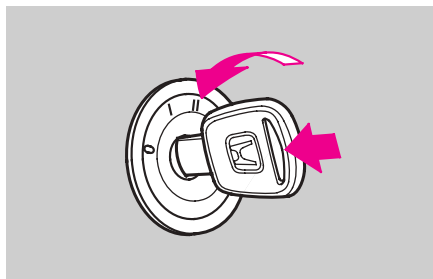
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- セレクトレバーを回に入れます。
- “I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



知識

- エンジンを止めた状態で“II”のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

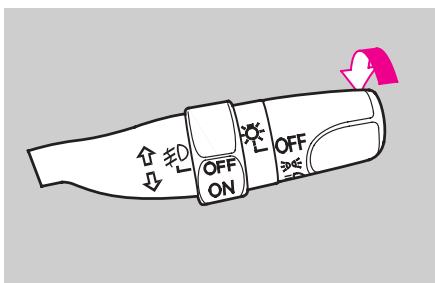
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	消灯
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

🎓 知識

- エンジンを止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせてくれます。

●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

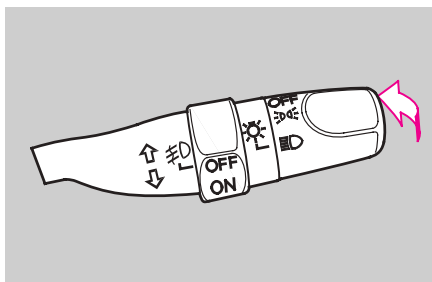
レバーを前方へ押しと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

→76ページ

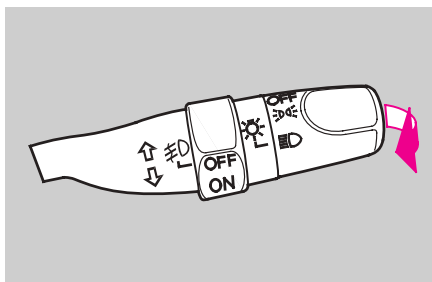


🎓 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

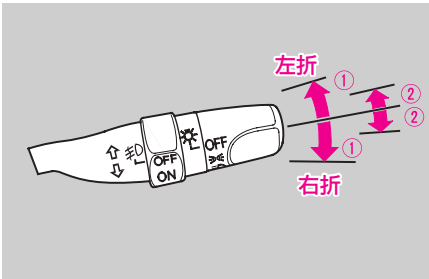
レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。





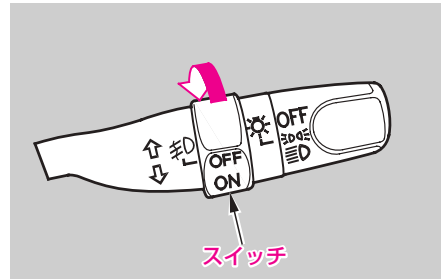
方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが「II」のとき使えます。
ふだんは①の位置で使います。
この位置ではハンドルの切り角が小さい
ときには戻らない場合もあります。戻ら
ないときは手で戻してください。
車線変更などでは②の位置に軽く手で押
さえながら使います。



フォグライトスイッチ

ライトスイッチが「OFF」以外のときスイ
ッチを「ON」にするとフォグライトが点
灯します。



ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →192ページ

🎓 知識

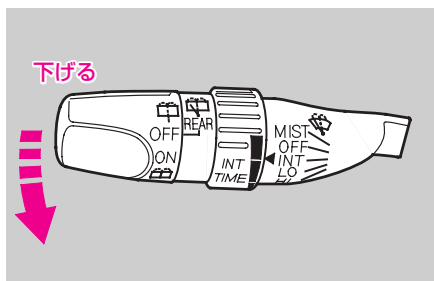
- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。



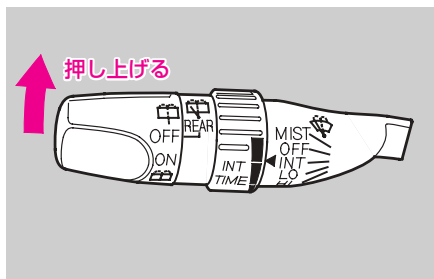
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



OFF …………… 停止
 INT(間欠) …………… 雨量の少ないとき
 LO(低速) …………… 普通雨量のとき
 HI(高速) …………… 雨量の多いとき



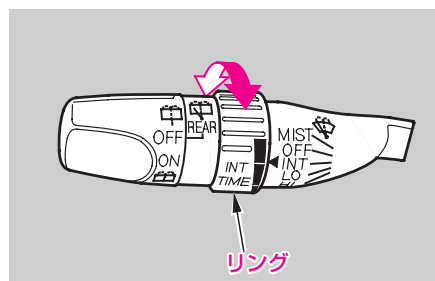
MIST ……………
 レバーを押し上げている間、低速で作動します。
 霧や小雨のときなどに使うと便利です。

間欠時間の調節

ワイパーの間欠作動の間隔を調節できます。



間隔のセットはリングを回して行います。

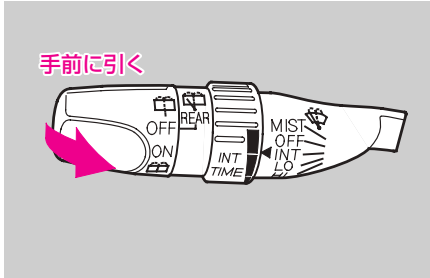


🎓 知識

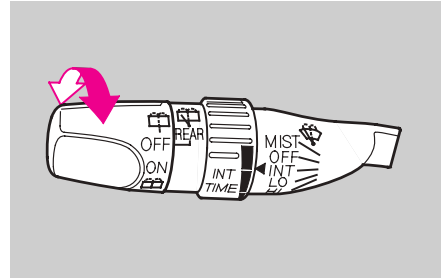
- 間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約4秒短くなります。また、発進時にワイパーが1回作動します。
- リングを間欠時間の短い方へいっぱい回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。


ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



●リヤガラス



- OFF 停止
- ON ワイパーが作動します。
-  スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

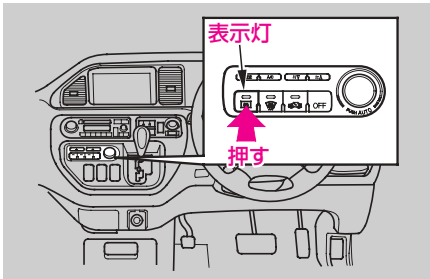


リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。



エンジンスイッチが「II」のときスイッチを押すと「ON」になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと「OFF」になり、作動表示灯は消灯します。



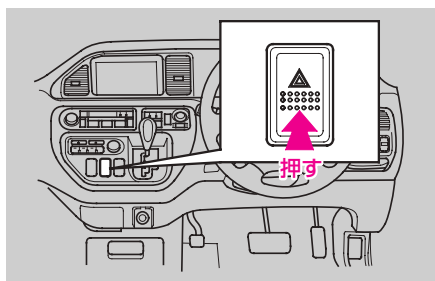
知識

- この装置は消費電力が大きいため、曇りが取れたら「OFF」にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するとき使います。



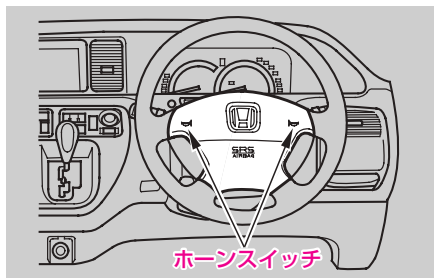
知識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。



ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



ホーンスイッチ

運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

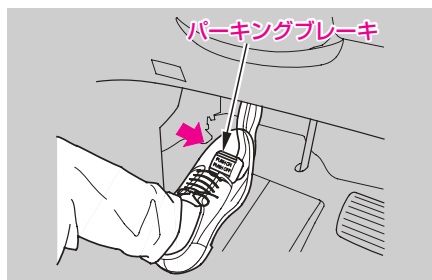
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダクリオ店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

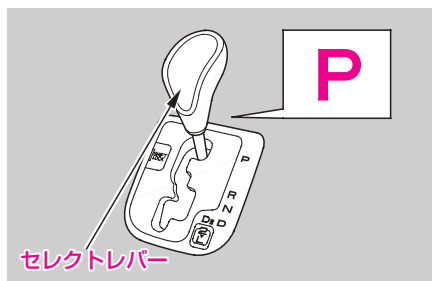
パーキングブレーキの操作 →98ページ



- ② セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作

→100、104ページ





- ③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“1”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

左足でパーキングブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



後輪ブレーキがききます。

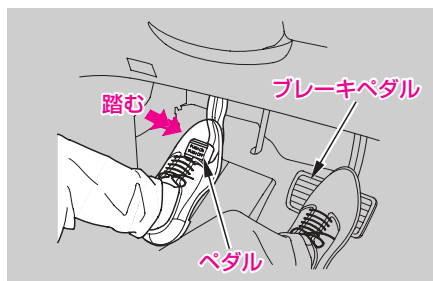
知識

- パーキングブレーキをかけたあとに再度かけなおしたいときは、一度解除してからもう一度踏み込んでください。
- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →297ページ

解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。





注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

セレクトレバーの操作

L、Nouvelle Vague、L-4

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーが回に入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のため回で行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

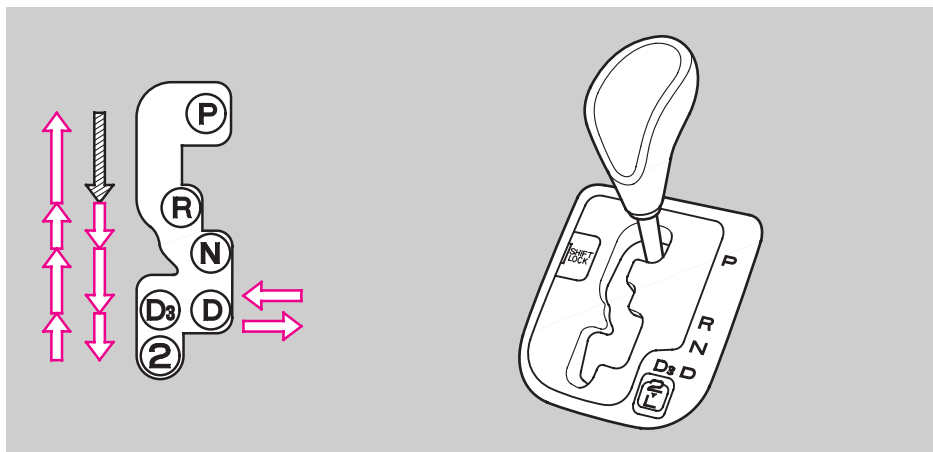
2

セカンド

エンジンプレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままに変速されません。L [ロー]モードにセットすると、1速のままに変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーをゲートにそって操作します。




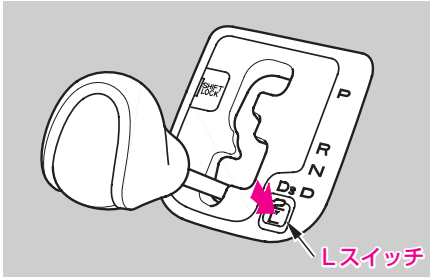
そのままゲートにそって操作します。


知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、レバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。

● L(ロー)モード

セレクトレバーが、のときに、Lスイッチを押してLモードにセットすると、1速に変速後、1速に固定されます。



Lモードがセットされると、メーター内にある表示灯が点灯します。スイッチをもう一度押すか、セレクトレバーを以外に入れるとLモードは解除され、表示灯は消灯します。

Lモード表示灯 →77ページ

🎓 知識

- スイッチを押しても車速が約50 km/h以下にならないと2速から1速に変速されません。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲	変速範囲
D	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
Ds	0～165km/h	1 ↔ 2 ↔ 3 速
2	0～113km/h	2 速固定
L (ロー)モード	0～64km/h	1 速固定

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
- シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

🎓知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

V、V-4

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャ임が鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から5速まで自動的に変速されます。
V-4タイプはSNOW[スノー]モードにセットすると、
2速から5速まで自動的に変速されます。)

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。
V-4タイプはSNOW[スノー]モードにセットすると、
2速から3速まで自動的に変速されます。)

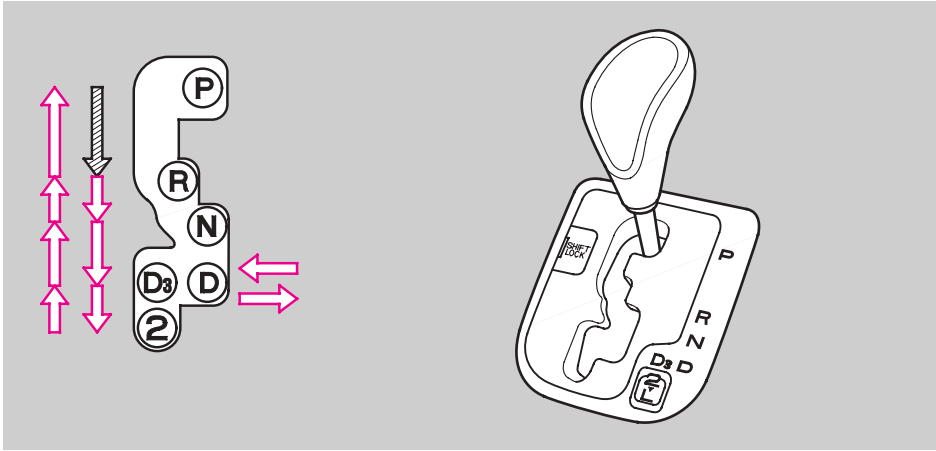
2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままに変速されません。L[ロー]モードにセットすると、1速のままに変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーをゲートにそって操作します。

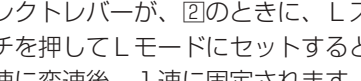


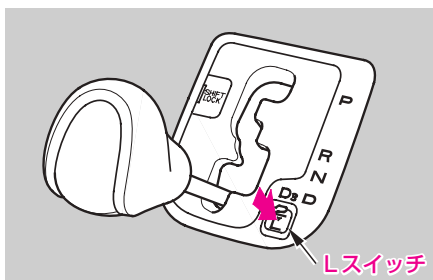
そのままゲートにそって操作します。

知識


- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、レバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。

● L (ロー)モード

セレクトレバーが、のときに、Lスイッチを押してLモードにセットすると、1速に変速後、1速に固定されます。



Lモードがセットされると、メーター内にある表示灯が点灯します。

スイッチをもう一度押すか、セレクトレバーを以外に入れるとLモードは解除され、表示灯は消灯します。



Lモード表示灯 →77ページ

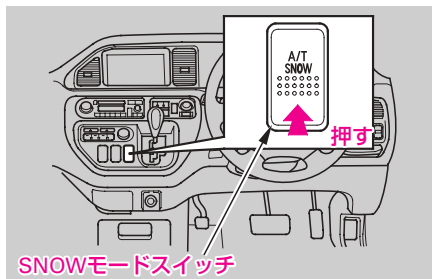
知識

- スイッチを押しても車速が約50 km/h以下にならないと2速から1速に変速されません。

● SNOW (スノー)モード

V-4

SNOWモードスイッチを押してSNOWモードにセットすると、セレクトレバーがまたはのときに2速発進となり雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。



SNOWモードがセットされると、メーター内にある表示灯が点灯します。

スイッチをもう一度押すとSNOWモードは解除され、表示灯は消灯します。

SNOWモード表示灯 →77ページ



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲		変速範囲
	V	V-4	
Ⓚ	0～		1↔2↔3↔4↔5速
SNOW(スノー)モード	/		2↔3↔4↔5速
Ⓝ	0～180km/h		1↔2↔3速
SNOW(スノー)モード	/		2↔3速
②	0～122km/h	0～124km/h	2速固定
L(ロー)モード	0～73km/h	0～74km/h	1速固定

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
- シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

🎓知識

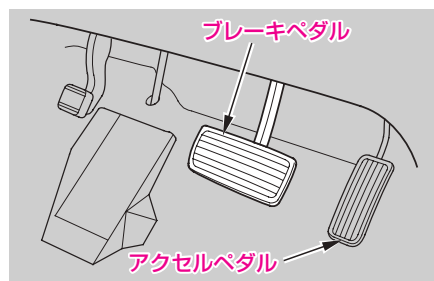
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になります。運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



🎓 知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



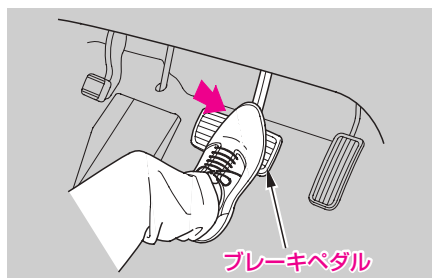
エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーが回に入っていることを確認。

🎓 知識

- ㊦でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される㊦で行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

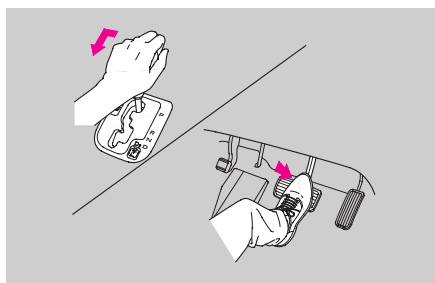


🎓 知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は回(または \square)、後退は \square に入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。
- ②レバーの位置を目で再確認。
③パーキングブレーキをもどす。
④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→80ページ)
⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

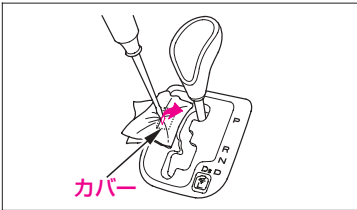
🎓 知識

- セレクトレバーを \square 以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。
- セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。

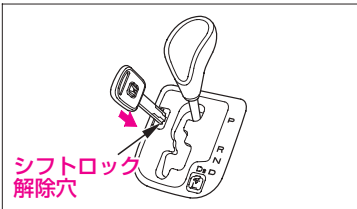


知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から回や、Nから回の位置に切り換えられないときは、
 - ①カバーを外します。



- ②シフトロック解除穴にキーまたはドライバーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキを解除して発進。

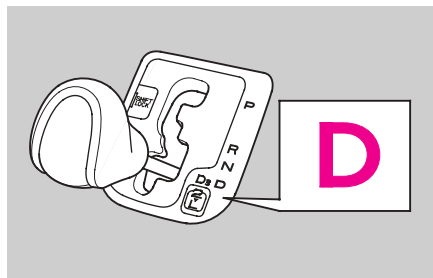
走行

走行中はセレクトレバーをDにしないでください。

知識

- Dにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。またDにしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行



セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速[L、Nouvelle Vague、L-4](5速[V、V-4])まで自動的に変速されます。

注意

- 高速走行中にDまたはDに入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

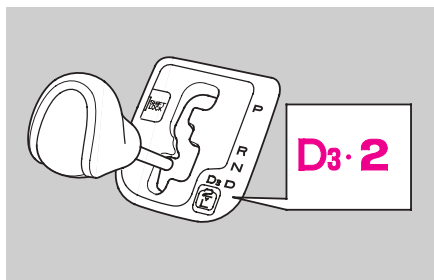


急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

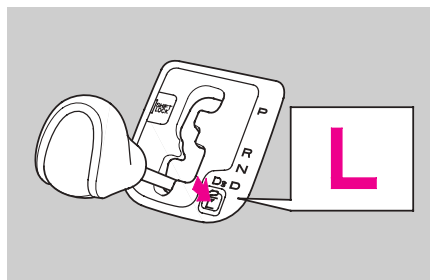
上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⅡまたはⅢにしておく、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。



下り坂走行

下り坂を回のまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーをⅡまたはⅢにします。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーをⅡにして、Lスイッチを押しL（ロー）モードにします。



⚠ 注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱してききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →20ページ

停車

- ① ④のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。

アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で④以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

知識

- 急な上り坂での停車はクリープ現象で前へ進むようとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが④以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリープ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを④に入れる。

注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが④以外
のとき、思わぬ急発進の原因
になります。

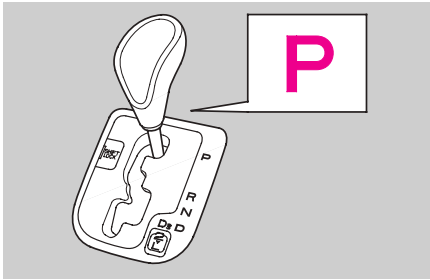
知識

- 停車後、再発進するときは、思い
違いのないようセレクトレバーが
④にあることを確認してください。
- セレクトレバーが④でもエンジン
が冷えているときは、トランスミ
ッションオイルの粘性により車が
わずかに動き出すことがあります
ので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキング
ブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



🎓 知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

⚠️ 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

🎓 知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

⚠ 注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(①、②、③)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(④)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

2.車を運転するときに

運転のしかた



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

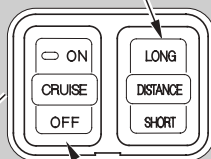
インテリジェントハイウェイクルーズコントロール[IHCC] (車間制御付きクルーズコントロール)

タイプ別注文装備

ディスプレイ

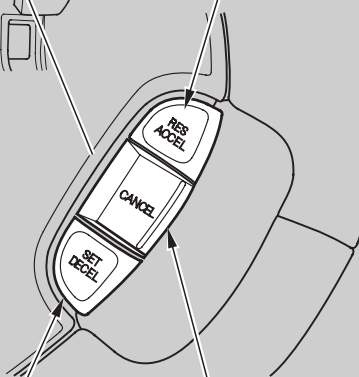


"DISTANCE"スイッチ



"CRUISE"スイッチ

"RES/ACCEL"スイッチ



"SET/DECEL"スイッチ

"CANCEL"スイッチ



インテリジェントハイウェイクルーズコントロール(IHCC)とは、高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車専用道などを運転するとき、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、先行車との間隔(車間距離)を一定に保ちながら、定速で走行できるシステムです。(※1)

先行車が減速したときは、車間距離を一定に保ちながら自動で減速します。(※2)
また、先行車が加速したときは、車間距離を一定に保ちながら自動で加速します。

※1：約65～100km/hの範囲でセットした希望速度で自動定速走行ができます。(セレクタレバーがD、D_sまたは2のとき)

※2：急な減速等により、車間距離が一定の間隔で保てなくなることがあります。そのときは、警告ブザーと警告表示で運転者に知らせます。

IHCC走行とは

先行車との間隔(車間距離)を一定に保ちながら、自動定速走行をしている状態を示します。

IHCCシステムについて

このシステムは、自車から発信したレーザー光を先行車のリフレクター(反射器)に当てることにより、先行車との間隔(車間距離)を測定しています。なお、このシステムが有効な範囲は、自車の前方約100mまでです。

●装置の作動について

先行車がないとき

- ①アクセルペダルを踏まなくても、セットした車速(約65km/h～100km/h)で、定速走行します。

先行車がいるとき

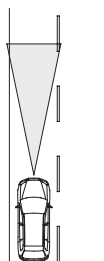
- ②セットした車速(約65km/h～100km/h)を上限として、車速に比例した車間距離を保つようにシステムが車間距離制御をします。
したがって、先行車の速度変化に合わせた、追従走行ができます。
(車速に比例した車間距離：車の速度が遅くなれば車間距離が短くなり、車の速度が速くなれば車間距離は長くなります。)
- ③先行車がいなくなると、セットした車速(約65km/h～100km/h)まで自動的にゆっくり加速します。セットした速度まで加速したあとは、定速走行をします。
- ④セットした車速より遅い先行車が現われたときは、先行車の速度に合わせ自動的に減速します。その後は、先行車の速度変化に合わせた追従走行をします。
なお、先行車の急な減速や、他車の割り込みなどで、自転車と接近したときは、警告ブザーと警告表示で運転者に接近警報を知らせます。(ブレーキを踏むなどして減速し、適切な車間距離を確保してください。)



①定速走行

[先行車がないとき]

例：100km/hにセット

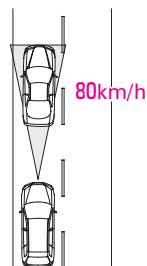


100km/hにて走行

②追従走行

[先行車(80km/h)がいるとき]

セットした車間距離を維持して、先行車の速度に合わせて追従走行

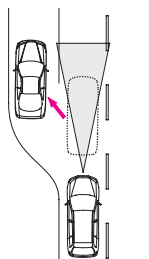


80km/hにて追従走行

③加速走行

[先行車がいなくなったとき]

セットした速度(100km/h)まで加速し定速走行

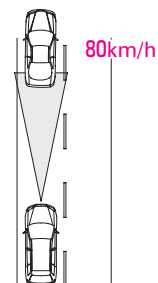


80→100km/hに戻る

④減速走行

[セットした車速より遅い先行車があらわれたとき]

セットした速度(100km/h)から先行車の速度(80km/h)まで減速して追従走行



100→80km/hに減速

▼：自車から発信したレーザー光を示します。

⚠ 警告

- IHCCの車間距離制御・接近警報(警告ブザー、警告表示)には、高速での追突など思わぬ事故につながり、重大な傷害や死亡するおそれがあります。運転するときは、先行車と十分な車間距離を確保し、常に周囲の状況に気をつけて、安全運転を心がけてください。
- 次のような状況のときは、IHCCを使わないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。
 - ・ 悪天候のとき(雨、霧、雪のときなど)
先行車との車間距離を正確に測定できません。なお、ワイパースイッチを“HI”で作動させると、IHCCは自動的に解除されます。
 - ・ 交通量の多い道
道路状況に合った速度で走行できません。
 - ・ 急な下り坂
急な下り坂では、エンジンブレーキが十分に効かないため、セットした速度を越えてしまいます。また、このような場合IHCCによる自動減速は作動しませんので、ブレーキを踏んで減速してください。
 - ・ 急カーブのある道
道路状況にあった速度で走行できません。
 - ・ 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面
タイヤが空転して車のコントロールを失います。
 - ・ 頻繁に加速・減速を繰り返すような交通状況
道路状況にあった速度で走行できません。
 - ・ 高速道路などでIHCCを使っているときに、インターチェンジ・サービスエリア・パーキングエリアへ進入するとき
自車の前から先行車がいなくなるにより、セットした速度まで加速を始めます。

🎓 知識

- IHCCの減速能力には限界があります。万一、先行車との接近警報(警告ブザー、警告表示)が作動したときは、ブレーキペダルを踏むなどして減速し、適切な車間距離を確保してください。



知識

- IHCCは、自動で停止するシステムではありません。また、制御する车速には限界があります。(約60km/hまで減速制御を行いません。)したがって、先行車が減速し停止するような場合、接近警報(警告ブザー、警告表示)が作動しますので、運転者がブレーキペダルを踏んで停車させてください。
- IHCCは、前方不注意(わきみ運転など)を補助するシステムではありません。運転するときには、先行車と十分な車間距離を確保し、常に周囲の状況に気を付けて、安全運転を心がけてください。
- 次のような車に対しては、先行車として正確に検知できず、適切な車間距離が保てなくなることがあります。
 - ・トレーラーなど地上高が高い車(リフレクター〔反射器〕が高い位置に付いている車)
 - ・後部がいちじりしく汚れている車
 - ・路上の水や雪を巻き上げて走っている車
 - ・リフレクター(反射器)の部分にフィルムを貼ったり、リフレクター(反射器)部分が破損している車
- IHCCは、低速(20km/h以下)で走行している車や停車中の車に対しては、先行車として検知しません。(車間距離を測定しませんので、ブレーキを踏むなどして適切な車間距離を確保してください。)また、接近警報(警告ブザー、警告表示)も行いません。高速道路の料金所や渋滞の最後尾等で停車中の車には十分注意してください。
- 次のような場合には、車間距離が短くても接近警報が作動しないことがあります。
 - ・先行車とほぼ同じ速度で走っているとき
 - ・先行車の速度が速く、次第に離れていっているとき
 - ・アクセルペダルを踏んでいるとき
- 先行車以外を測定して、車間距離制御・接近警報が作動する場合があります。道路状況(カーブなど)や自車の状況(ハンドルの操作や車線内の位置)によっては、一時的にとりの車線の車や周囲の物を測定することがあります。
- 2輪車に対しては、次のような場合制御できないことがあります。
 - ・リフレクターがない、または割れ、汚れ等のある2輪車
 - ・車線の端ぎりぎりの部分を走行している2輪車

知識

- エンジンスイッチ始動時、またはエンジンスイッチを“II”にするときは、車を静止した状態で行ってください。また、駐車場のターンテーブル等で車の向きを変える場合は、エンジンスイッチを“0”にしてください。IHCC走行時に先行車の検知ができなくなることがあります。
- エンジン始動時、およびエンジンスイッチを“II”にしたとき等にエンジンルームから“シュボ”という音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速が保てない場合があります。

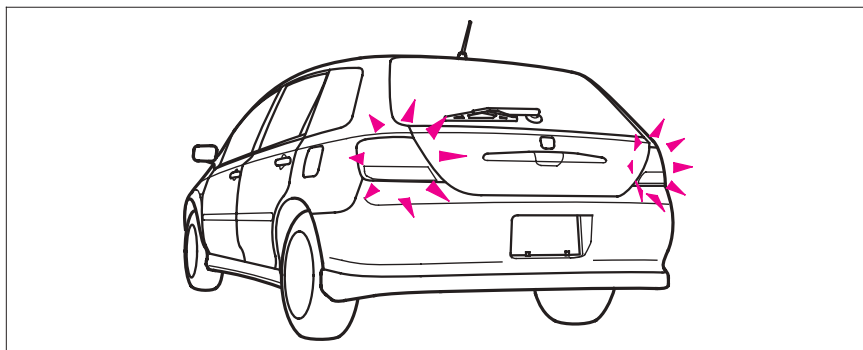
制動灯の点灯について

IHCCシステムは、自動ブレーキ減速時に制動灯が点灯します。

知識

- 制動灯の点灯については、次の方法で確認できます。
 - ・ 車を停止させます。
 - ・ セレクトレバーを“P”に入れ、ブレーキペダルを踏まずに、“CRUISEスイッチ”を“ON”にします。
 - ・ “SET/DECEL”スイッチを3秒以上押し続けます。
 - ・ 制動灯が一瞬点灯します。

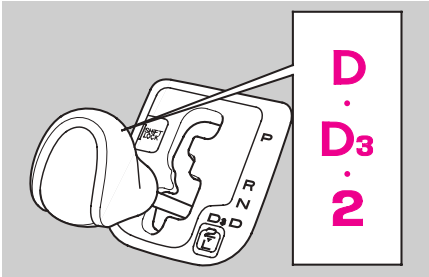
制動灯が点灯しない場合は、クルーズコントロールを使わずに、ホンダクリオ店で点検を受けてください。



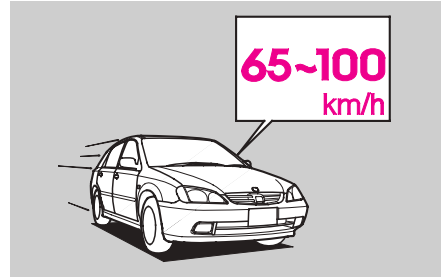


IHCCは、次のすべての条件を満たしたときに作動します。

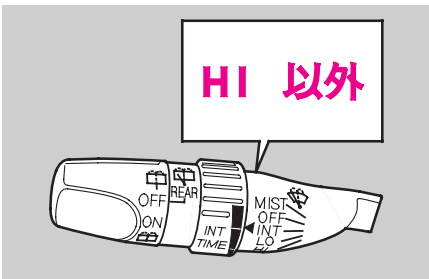
- ・セレクトレバーが“D”、“D₃”、“2”のとき



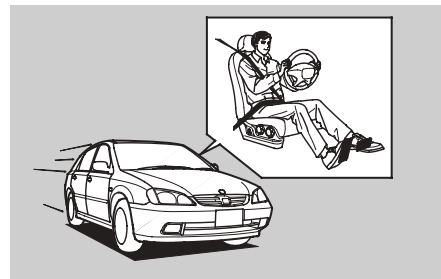
- ・約65～100km/hの速度で走行しているとき



- ・ワイパースイッチを“HI”で作動させていないとき



- ・ブレーキペダルを踏んでいないとき



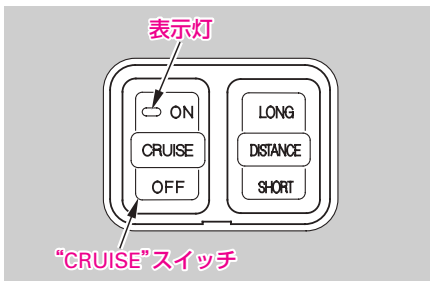
なお、これらの条件を満たしていても、悪天候等で正確に先行車との距離を測定できないような状況のときは、システムが作動しないことがあります。

知識

- IHCC走行中、アクセルペダルに足を乗せると作動表示灯(グリーン)は点灯したまま、ピッと警告音が鳴り、ディスプレイに“NO TARGET”表示が出て、システムが解除されてしまいます。アクセルペダルから足を離せば、システムは再度セットされIHCC走行が始まります。

●希望車速をセットし、定速走行をしたいとき

- ① “CRUISE” (クルーズ) スイッチの “ON” 側を押して、IHCCを “ON” にします。
“ON” のとき表示灯が点灯します。
“OFF” 側を押すと “OFF” になります。

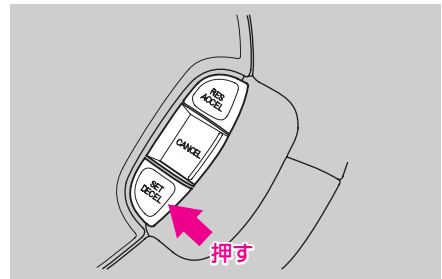


エンジンスイッチを “I” または “0” にすると、“CRUISE” スイッチは自動的に “OFF” になります。

IHCCを使うときは、“CRUISE” スイッチの “ON” 側を押して “ON” にしてください。

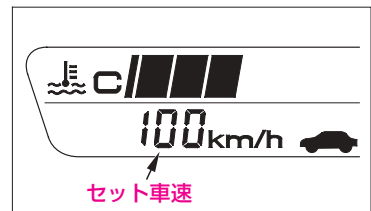
- ② アクセルペダルを加減して、約65～100km/hの希望の車速になったら、ハンドルにある “SET/DECEL” スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットされます。
車速がセットされ自動定速走行になると、メーター内の表示灯(グリーン)が点灯します。

IHCC作動表示灯 →77ページ



知識

- セットした車速はディスプレイに表示されます。





知識

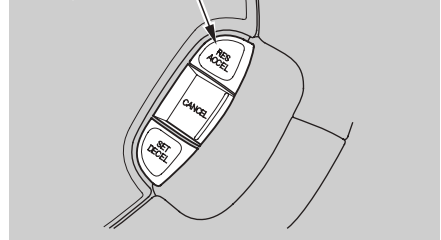
- IHCCを使わないときは、安全のため“CRUISE”スイッチの“OFF”側を押して、“OFF”にしておいてください。

●セットした車速を上げたいとき (IHCC走行中)

“RES/ACCEL”スイッチで車速を上げる場合

- ・スイッチを1回ずつ押す
…1回押すごとに2 km/hずつ車速が上がります。
- ・スイッチを押し続ける
…押し続けた分だけ加速をし、車速が上がります。
(スイッチを離れたときの車速を維持します。)

“RES/ACCEL”スイッチ

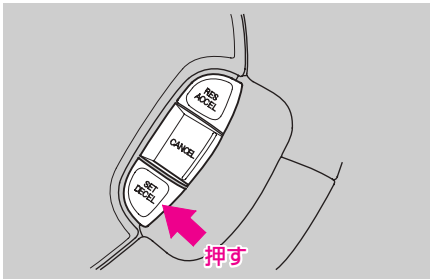


知識

- 先行車がいると先行車との車間距離を制御しますので、スイッチを押しても車速が上がらないことがあります。
- セットした車速まで自動で加速している間は、ディスプレイの車速が点滅表示します。

アクセルペダルで車速を上げる場合

アクセルペダルを踏んで加速し、希望車速になったとき“SET/DECEL”スイッチを一度押して離すと、離れた車速にセットされます。



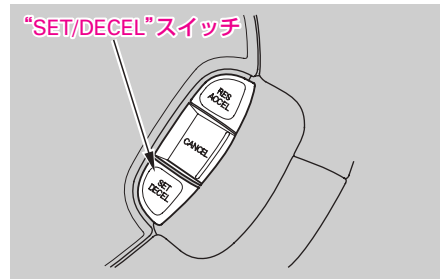
知識

- セットした車速は、ディスプレイに表示されます。

● セットした車速を下げたいとき (IHCC走行中)

“SET/DECEL”スイッチで車速を下げる場合

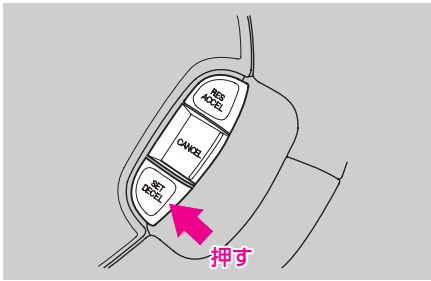
- スイッチを1回ずつ押す
… 1回押すごとに2 km/hずつ車速が下がります。
- スイッチを押し続ける
… 押し続けた分だけエンジンブレーキで減速をし、車速が下がります。
(スイッチを離れたときの車速を維持します。)





ブレーキペダルで車速を下げる場合

ブレーキペダルを踏んでから希望車速まで減速し、ブレーキペダルから足を離してから“SET/DECEL”スイッチを一度押して離すと、離れたときの車速にセットされます。



知識

- セットした車速は、ディスプレイに表示されます。

●一時的に加速したいとき (IHCC走行中)

アクセルペダルを踏み込むと車速が上がります。アクセルペダルを離すとセットした車速に戻り、自動定速走行を続けます。(ただし、車速が100km/hを越えると解除されます。)

●先行車との車間距離を変えたいとき

車速に比例した車間距離を3段階に切り換えることができます。
(車速に比例した車間距離：車の速度が遅くなれば車間距離が短くなり、車の速度が速くなれば車間距離は長くなります。) 車間距離はディスプレイに表示されます。

車間距離の延ばしかた

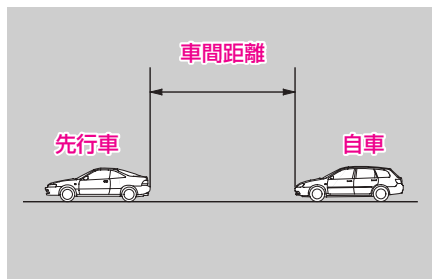
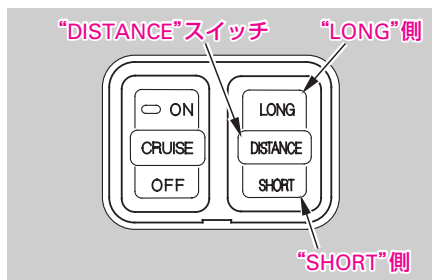
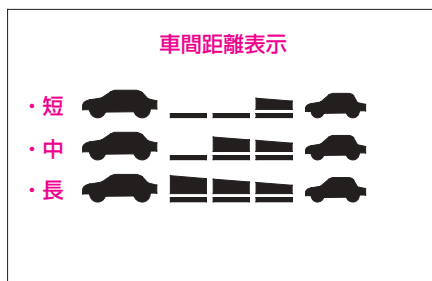
“DISTANCE” (ディスタンス) スイッチの“LONG” (ロング) 側を押します。

設定車間距離が短→中→長と長くなります。

車間距離の縮めかた

“DISTANCE” (ディスタンス) スイッチの“SHORT” (ショート) 側を押します。

設定車間距離が長→中→短と短くなります。






車間距離目安表

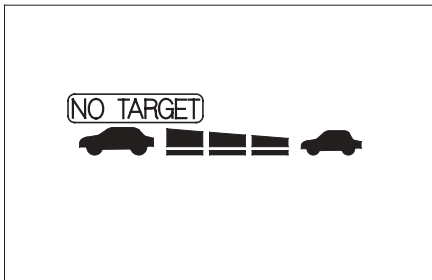
走行速度／車間距離	短	中	長
80km/h	約38m	約47m	約56m
100km/h	約48m	約59m	約70m

なお速度が低くなるほど、上記の車間距離も短くなります。

●先行車の検知状態について

先行車を正しく検知しているかを、ディスプレイ上で確認できます。

-  …先行車を検知しています。
(車間距離を測定できます。)
- **NO TARGET**
…先行車を検知できません。
(車間距離を測定できません。)



🎓 知識

- 先行車がいるのに検知できないときは

→122ページ

●IHCC走行を解除したいとき

“CANCEL” (キャンセル)スイッチを押すか、ブレーキペダルを踏んでください。または、“CRUISE” (クルーズ)スイッチを“OFF”にしてください。



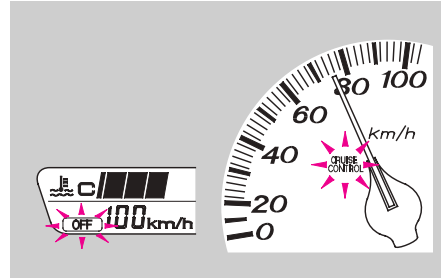


IHCC走行時の自動解除について

次の場合には、警告ブザーとともにシステムが自動で解除されます。

このとき、“CRUISE CONTROL”作動表示灯が点滅するとともにディスプレイの“OFF”表示が5秒間点滅します。

- ①ワイパースイッチを“HI”で作動させているときまたは“MIST”を連続で作動させたとき
- ②悪天候のとき(雨、霧、雪のときなど)
- ③レーザー光センサー部に汚れがついたとき
- ④タイヤが空転(スリップ)したときやタイヤの異常を検出したとき
- ⑤システムの異常や故障したとき
- ⑥レーザー光センサー部に直射日光が当たったとき
- ⑦山岳路等を長時間走行したとき



アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとIHCCが正常に機能しなくなることがあります。

知識

- 悪天候などでレーザー光センサー部が汚れたときは

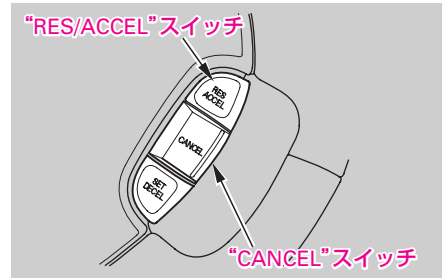
→139ページ

●解除前にセットしてあった車速に戻りたいとき

IHCC走行を解除した後、ディスプレイに車速表示されている場合は、“RES/ACCEL”スイッチを押して離すと、解除前にセットした車速まで戻り自動定速走行ができます。

🎓 知識

- ディスプレイに車速表示が出ていないときは、解除前にセットした車速まで戻りませんので、“SET/DECEL”スイッチを押して再度車速をセットしてください。





●ディスプレイの表示について

先行車との状態を示します。

- ・先行車を検知できたとき
- ・先行車を検知できないとき
(点滅後、点灯します。)



NO TARGET

設定車間距離(3段階)を表示します。

- ・短
- ・中
- ・長



運転者のブレーキ操作が必要な時に点滅します。

- ・接近警報時
- ・ABSの作動時
- ・ブレーキの制御中にシステムを解除するとき

BRAKE

システムが自動で解除されたときに約5秒間、以下のように表示します。

- ・レーダーが汚れたとき
- ・悪天候、その他のとき

RADAR

OFF

OFF

セットした車速を表示します。

- ・セットした車速まで自動で加速している間は、車速が点滅表示になります。

●表示灯・警告灯の表示について

作動表示灯(グリーン)



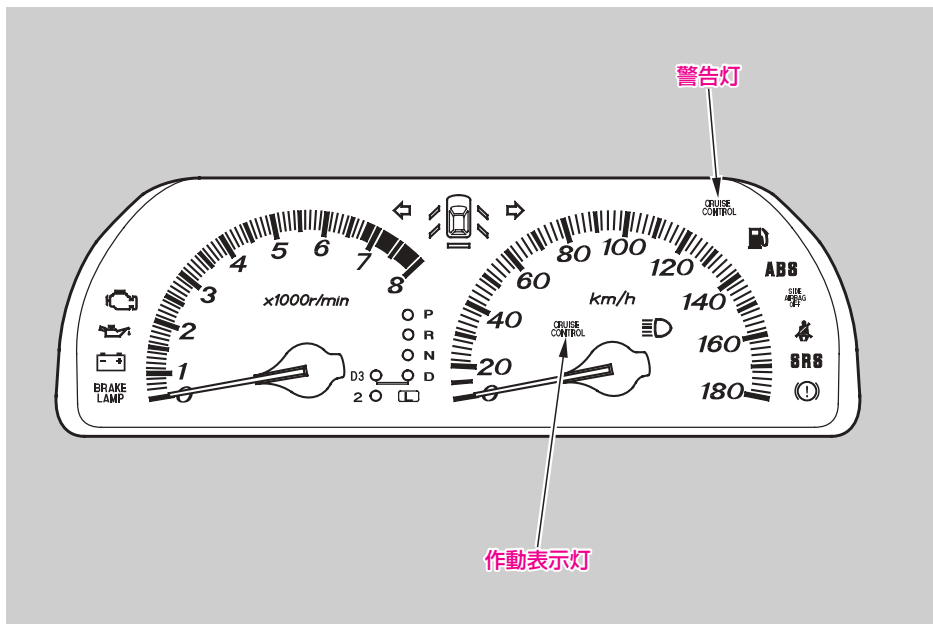
システムが作動しているときに点灯します。

- ・車速を制御しているとき……………点灯します。
- ・システムを解除したとき……………消えます。
- ・自動的に解除されたとき……………約5秒間点滅します。

警告灯(オレンジ)



システムが故障したときに点灯します。





●警告ブザーの種類

●単音(ピッ)

- ・システムが先行車との車間を測定できたとき、またはできなかったとき
- ・車間距離制御走行中にアクセルペダルを踏んだとき

●断続音(ピッピッピッ)

- ・悪天候などでシステムが自動的に解除されたとき
- ・車間距離制御走行中に先行車に接近しすぎたとき

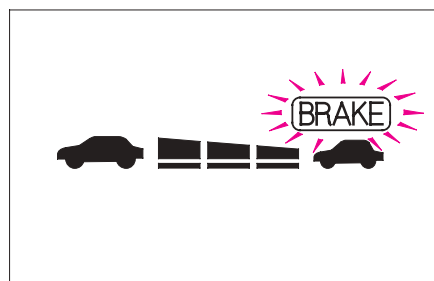
🎓 知識

- 65km/h未満の速度で、“SET/DECEL”スイッチを押すと、断続音(ピッピッピッ)が鳴り、IHCCシステムがセットされなかったことを知らせます。

接近警報(警告ブザー、警告表示)について

IHCCシステムをセットして走行中(IHCC走行中)に、先行車の急な減速や、他車の割り込みなどによって十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、警告ブザーと警告表示(点滅)で運転者に警報を知らせます。

この場合は、ブレーキを踏むなどして減速し、適切な車間距離を確保してください。



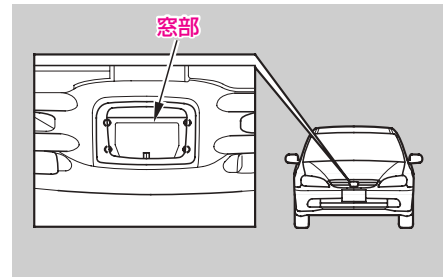
●IHCC走行中、システムが自動的に解除されたときは

ディスプレイにこのような表示(5秒間)が出て、システムが自動的に解除されたときは、次のようにしてください。



- ・レーザー光センサーが汚れて、先行車との車間距離が測定できなくなっています。センサー前面の窓部をやわらかい布などで拭いてから、再度セットしてください。

レーザー光センサーの取り扱い →139ページ



- ・悪天候(雨、霧、雪のときなど)、タイヤがスリップ(空転)、タイヤの異常を検出したときの表示です。天候や路面状態が回復してから、再度セットしてください。また、タイヤの点検もしてください。

知識

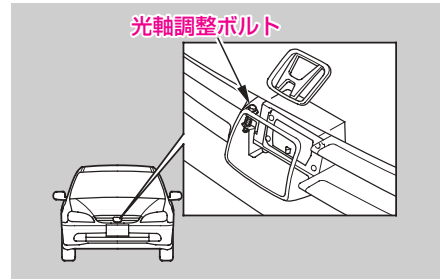
- “CRUISE CONTROL” 作動表示灯も同時に点滅します。



●レーザー光センサーの取り扱い

システムを正しく作動させるため、必ず次のことをお守りください。

- ・レーザー光センサー前面の窓部は、システムを正常に作動させるため、常にきれいな状態にしてください。
- ・レーザー光本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。万一衝撃が加わった場合は、ホンダクリオ店にご相談ください。
- ・センサー横の光軸調整ボルトは、システムが正常に作動しなくなるおそれがありますので、回さないでください。
- ・レーザー光センサー前面の窓部にステッカー等を貼らないでください。透明なステッカー等でも誤作動や不作動の原因となります。



レーザー光センサーが汚れたときは

汚れを拭き取る場合は、水や中性洗剤、ガラスクリーナー等をお使いください。

ベンジン、シンナー類またはクレンザー等の磨き粉類は絶対に使わないでください。

(レーザー光センサー窓部が損傷する原因となります。)

3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

- しくみ …………… 142
- 作動するとき …………… 144
- 作動しないとき …………… 145

SRSエアバッグシステムの

- 効果を十分に発揮させる
ために …………… 146
- お子さまを乗せるときは …… 147
- 取り扱いについて …………… 148

●サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグシステムの

- しくみ …………… 150
- 作動するとき …………… 152
- 作動しないとき …………… 153

サイドエアバッグシステムの

- 効果を十分に発揮させる
ために …………… 154
- 乗員姿勢検知システム …… 156
- お子さまを乗せるときは …… 157
- 取り扱いについて …………… 158

●シートベルト

プリテンショナー

- シートベルトプリテンショナーの
しくみ …………… 160
- 取り扱いについて …………… 161

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

- ABSのしくみ …………… 162
- 運転のしかた …………… 162
- 取り扱いについて …………… 163

●四輪駆動機構(4WD)

- 運転するときは …………… 164
- 取り扱いについて …………… 164

●その他の安全装備 …… 165

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

また、衝突状況とシートベルト着用の状況により、運転席側と助手席側のSRSエアバッグとシートベルトプリテンショナーの作動を独立制御します。

そのため、シートベルトプリテンショナーのみ作動したり、運転席または助手席のSRSエアバッグが片側のみ作動することがあります。

⚠注意

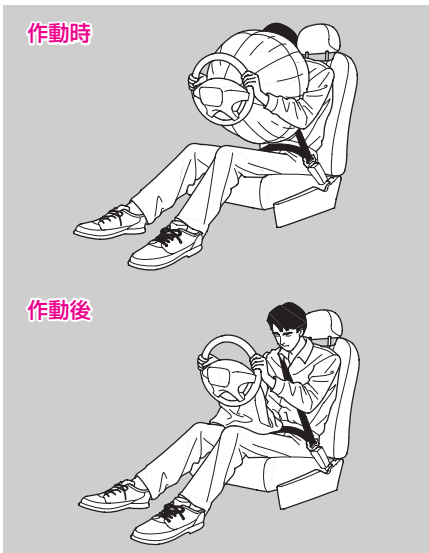
- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



📖 知識

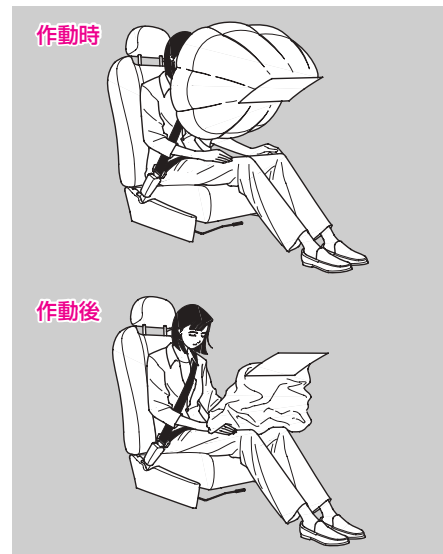
- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダクリオ店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム



助手席用SRSエアバッグシステム

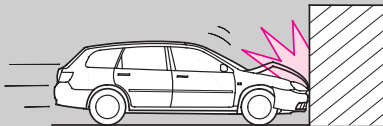
助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。



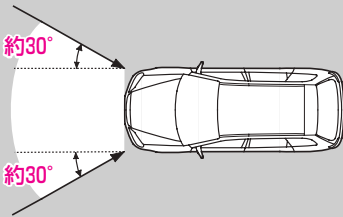
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

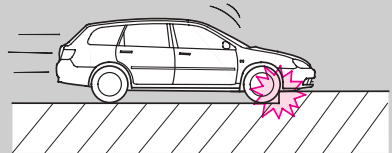


知識

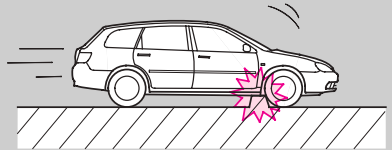
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

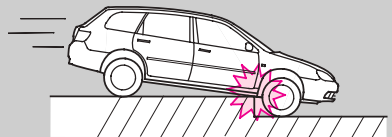
縁石などに衝突したとき



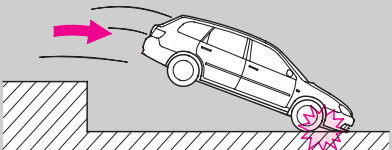
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



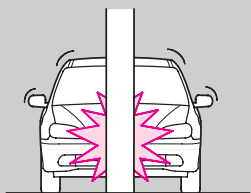
高いところから落ちたとき



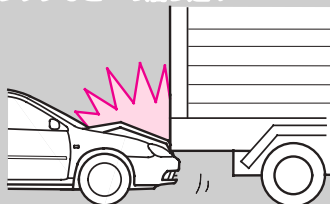


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

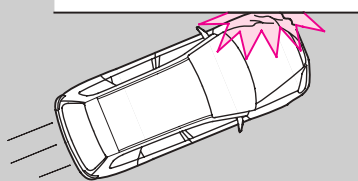
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



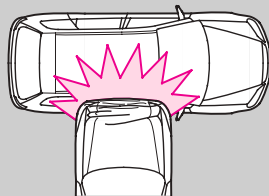
知識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

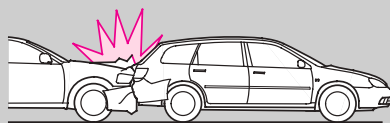
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

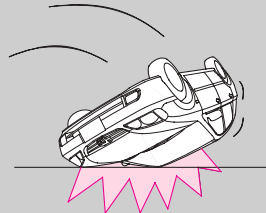
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

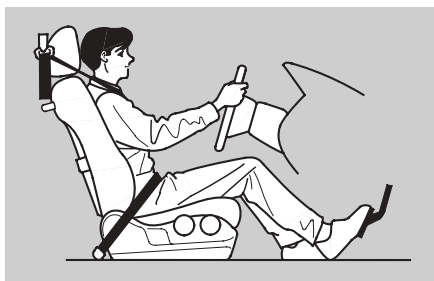
- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

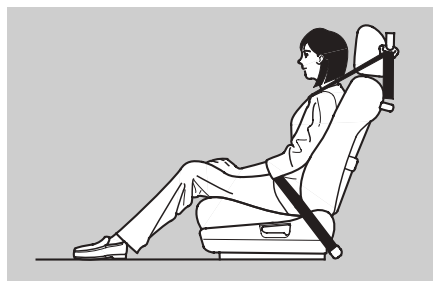


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



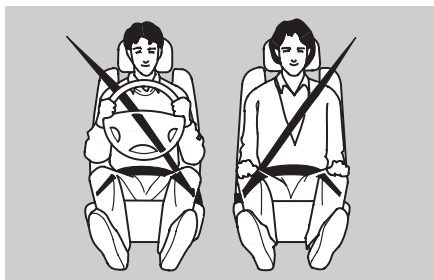
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



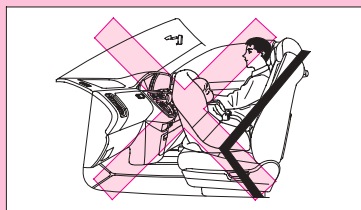
お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

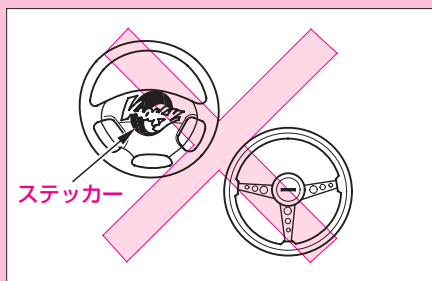
- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



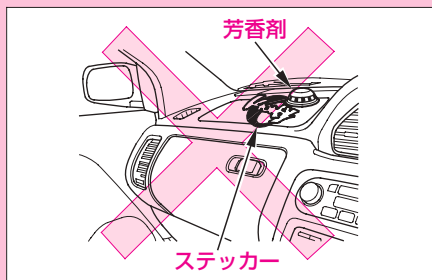
取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱ふと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。



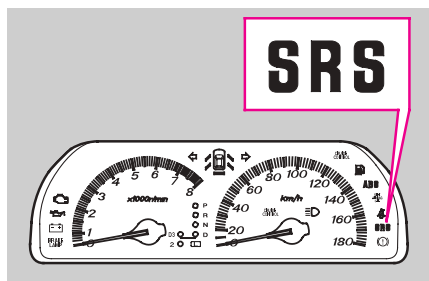


知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダクリオ店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

● SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

サイドエアバッグシステムのしくみ

●サイドエアバッグシステムとは

側面からの衝突により、サイドエアバッグが膨らんで乗員（運転者または助手席同乗者）とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の胸部などが衝突するときの衝撃を緩和する装置です。

サイドエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- サイドエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、側面からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃（胸部に重傷を及ぼすような場合）を感知するとシステムが作動し、衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らんで乗員（運転者または助手席同乗者）とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の胸部などが衝突するときの衝撃を緩和します。

助手席側は乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →156ページ

⚠ 注意

- サイドエアバッグが膨らんだ直後は、サイドエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。

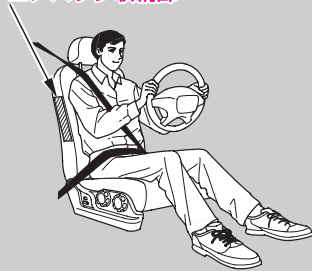


知識

- サイドエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、サイドエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだサイドエアバッグはすぐにしぼみます。
- サイドエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかたなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- サイドエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダクリオ店で交換してください。

運転席サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグ収納部



作動時



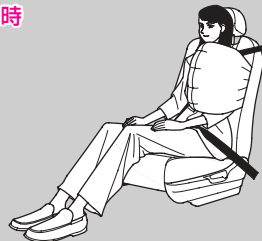
助手席サイドエアバッグシステム

助手席用サイドエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

サイドエアバッグ収納部



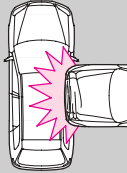
作動時



作動するとき

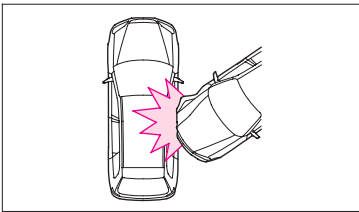
次のような場合に作動します。

約25km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から側面衝突したときと同等かそれ以上の衝撃を受けたとき



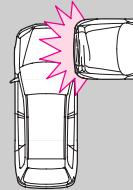
知識

- 側面に斜め方向から衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

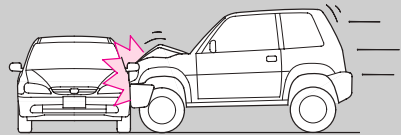


次のような場合、作動しないことがあります。

前席乗員付近以外の側面に衝突されたとき



車高の高い車に側面衝突されたとき



知識

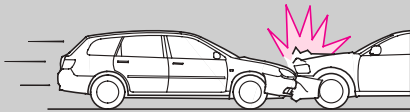
- サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



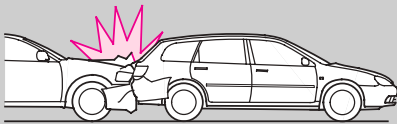
作動しないとき

低い速度での衝突や次のような場合、サイドエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がありません。ただし、状況によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

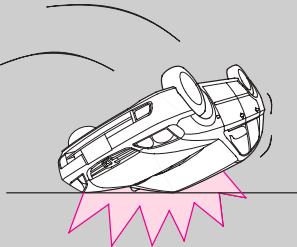
正面衝突



後部からの衝突



横転または転覆



助手席側は、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →156ページ

サイドエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



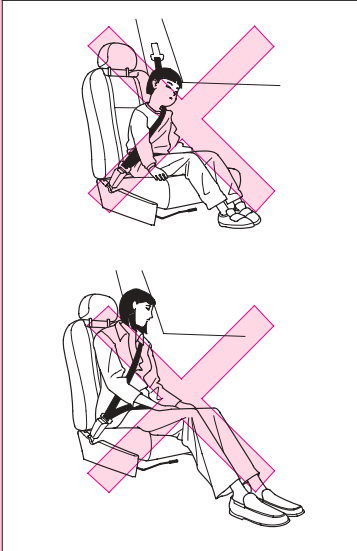
助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



**⚠ 注意**

- フロントドアに寄りかからないようにしてください。サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

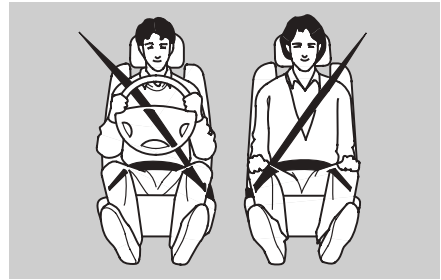


- サイドエアバッグ格納部に手や顔などを必要以上に近づけないでください。また、後席同乗者は前席の背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。

必ず、シートベルトを着用してください。



乗員姿勢検知システム(助手席のみ)

●乗員姿勢検知システムとは

乗車時の姿勢が不適切な場合、サイドエアバッグが膨らむことにより重大な傷害を受けるおそれがあるため、助手席乗員の姿勢を検知し、サイドエアバッグの作動を自動的に停止する装置です。

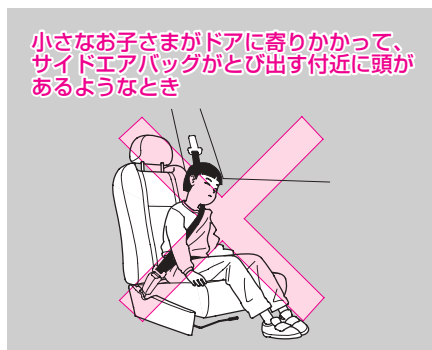


🎓 知識

- シート表皮の裏にセンサーが取り付けられているため、次のような場合には、乗員姿勢検知システムが正常に機能しないおそれがあります。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき
 - ・シートにクッションなどを装着しているとき
 - ・ダウンジャケット等の厚い上着を着ているとき
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき

●サイドエアバッグの作動を自動停止するとき

次のような場合、サイドエアバッグの作動を自動停止します。このときメーター内のサイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。



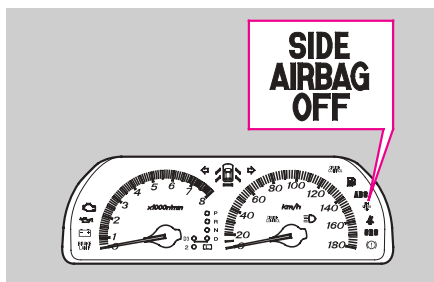
🎓 知識

- 次のような場合でも、サイドエアバッグの作動を自動停止することがあります。
 - ・小柄な大人の方が上のイラストと同じような姿勢をとったとき
 - ・大人の方が前かがみになるまたは、寝そべって、ドア側に寄りかかっているとき



●サイドエアバッグ自動停止表示灯

メーター内に組み込まれており、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断し、サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。表示灯が点灯したときは、上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約5秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・正しい乗車姿勢をとっても消灯しないとき、あるいは助手席に乗員がいないのに消灯しないとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約5秒経過しても消灯しないとき

🎓 知識

- 次のような場合は、表示灯が点灯することがあります。表示灯が点灯しているときは、サイドエアバッグの作動を自動停止します。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき

お子さまを乗せるときは

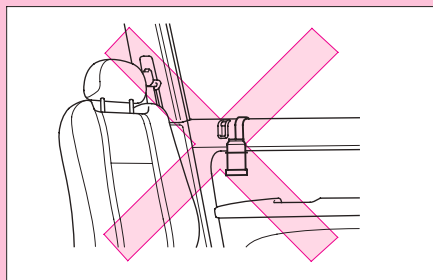
お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

取り扱いについて

⚠ 注意

- サイドエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けないでください。
また、フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。サイドエアバッグはドアに添って膨らむため、正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。
- フロントシートにこの車専用のHonda純正用品(シートカバーなど)以外を取り付けないでください。サイドエアバッグはシートの背もたれ外側に収納されていて、シート表皮のぬい目を破って膨らむため、正常に機能しなくなるおそれがあります。
- フロントシートの背もたれを倒した状態でとびはねるなど、サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。



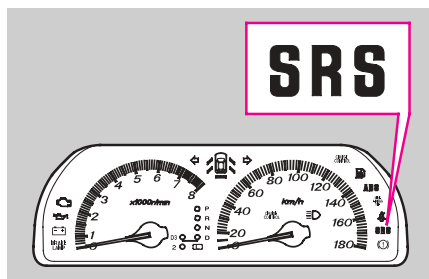


知識

- フロントシートまわり、センターピラーまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品を取り付ける場合は、サイドエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- サイドエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダクリオ店にご相談ください。正しく取り扱わないとサイドエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

●サイドエアバッグシステム警告灯 (SRSエアバッグシステム 警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、サイドエアバッグユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、サイドエアバッグシステムまたは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにサイドエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

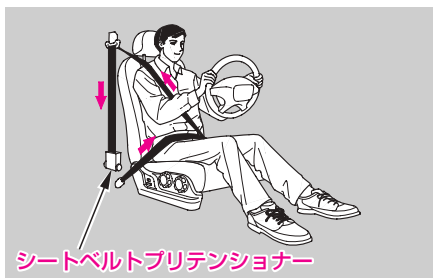
●シートベルトプリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。シートベルトを着用している状態のSRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム →142ページ

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをご守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
 - ・シートベルトを正しく着用してください。
シートベルト →58ページ
 - ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。
正しい運転姿勢 →48ページ

🎓知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダクリオ店で交換してください。なお、シートベルトを着用していても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

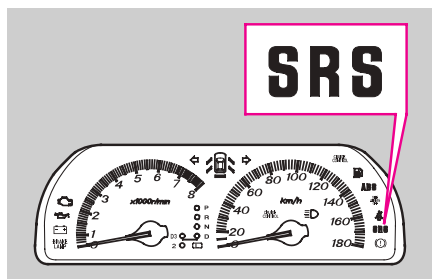
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダクリオ店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● シートベルトプリテンショナー警告灯(SRSエアバッグシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



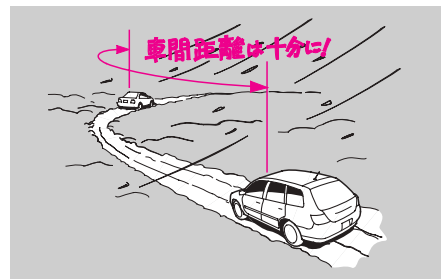
- ・低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

📖 知識

- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときの発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

運転のしかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロブレーキング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。
このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





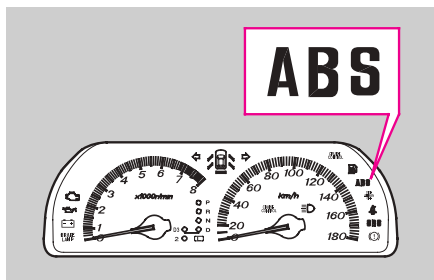
取り扱いについて

知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダクリオ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

四輪駆動機構(4WD)

L-4、V-4

運転するときは

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

知識

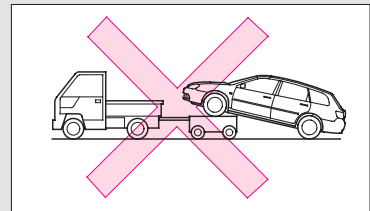
- 4WDの状態で行進中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。
しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

取り扱いについて

アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

けん引 →242ページ





その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→25ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。
(→61ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→82ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→92ページ)

4

ドライブを快適にする装備

●マルチインフォメーション ディスプレイ

ナビゲーションシステム非装備車

表示について	169
時計	171
瞬間燃費	172
平均燃費／外気温	172

ナビゲーションシステム装備車

表示の切り換え	175
表示について	176
瞬間燃費	181
平均燃費	182
外気温	183

●エアコン

吹き出し風の調節	185
オートエアコン	186

●オーディオ

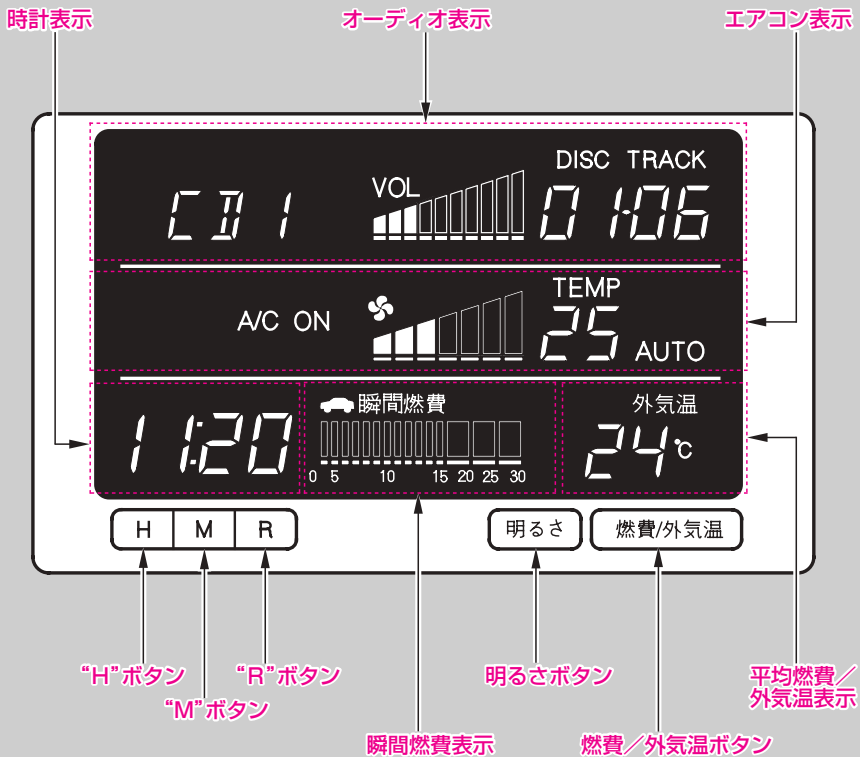
上手な使いかた	194
アンテナ	196
オーディオインデックス	197
AM/FMラジオー一体式	
MDステレオ	198
オーディオリモート	
コントロールスイッチ	214
CDチェンジャー	215

●室内装備品

前席室内灯	218
後席室内灯	219
ドア開閉灯	219
テールゲート照明灯	219
スポットランプ	220
エンジンスイッチ照明灯	220
シガレットライター	221
灰皿	222
サンバイザー	223
チケットホルダー	223
サングラスホルダー	224
コインボックス	224
リヤアームレスト(後席ひじ掛け)	224
小物入れ	225
グラブレール	227
AC 100V電源ソケット	228
AV外部入力端子	229
アクセサリソケット	230
センターテーブル	230
カップホルダー	231
カーゴルーム収納スペース	232
リヤシェルフサイドポケット	234
カーゴフック	234

マルチインフォメーション ディスプレイ

ナビゲーションシステム非装備車





表示について

マルチインフォメーションディスプレイは、次のような表示を行います。

1 オーディオ表示

エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、オーディオの作動について表示します。

オーディオの操作について →194ページ

知識

- エンジンスイッチが“I”で、オーディオ表示をしているときは、約5分間たと画面の表示が消えます。(このディスプレイは、消費電力が大きくバッテリー上がりを防止するためです。)演奏が止まることはありません。また、表示が消えた後でも、オーディオボタンを操作すると再度5分間画面の表示をします。

2 エアコン表示

エンジンスイッチが“II”のとき、エアコンの作動等について表示します。

エアコンの操作について →184ページ

3 時計表示

エンジンスイッチが“II”のとき、時刻を表示します。

→171ページ

4 瞬間燃費表示

瞬間の燃費を表示します。

→172ページ

5 平均燃費／外気温表示

平均の燃費と外気温を表示します。

→172ページ

知識

- 湿度が高く、温度が急激に低下したときなどに、画面の裏側が一部くもることがありますが、画面を表示してしばらくすれば元に戻ります。

●画面の明るさ調整

昼間や夜間など、状況に応じて画面が見やすくなるように明るさを調整することができます。



エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のとき明るさボタンを押すと、画面の明るさが変わります。明るさは、4段階に調整できます。



🎓 知識

- ライトを点灯させると、自動的に画面の明るさは減光します。このときも、明るさは調整できます。
- 自動的に画面の明るさが減光しても、明るさボタンを約2秒押すと元の明るさに戻ります。もう一度押すと、再び減光します。
- 明るさを一番明るい状態にしているとき、昼間の車庫内等では点灯していない部分が点灯しているように見えることがあります。



時計

エンジンスイッチが「II」のとき表示されます。



●表示の合わせかた

エンジンスイッチを「II」にします。

「時」の調整…「H」ボタンを押します。押し続けると、早送りができます。

「分」の調整…「M」ボタンを押します。押し続けると、早送りができます。

「時報合わせ」…時報と同時に「R」ボタンを押します。

(例) 1:01～1:29の場合→1:00
1:30～2:00の場合→2:00

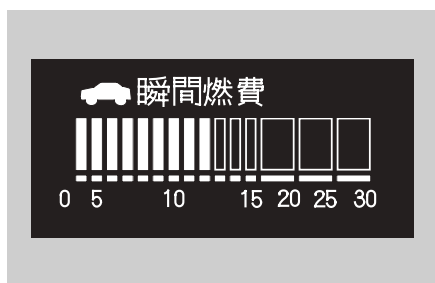
🎓 知識

- 「秒」の表示はありませんが、「R」ボタンを押すと同時に、0秒から作動を始めます。
- バッテリーを外したり、ヒューズを交換した場合は、1:00の表示になります。
正しい時刻に調整してください。

瞬間燃費

エンジンスイッチを“II”にしてからの過去5秒間の燃費を1秒ごとに更新し、バーグラフにkm/lで表示します。

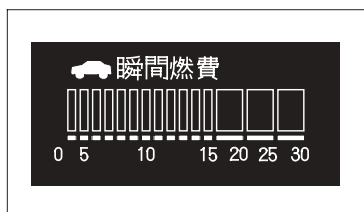
(例：瞬間燃費12km/l)



知識

- エンジンスイッチを“II”にしてから5秒間は、0 km/l表示になります。

・0 km/l表示



平均燃費／外気温

エンジンスイッチが“II”のとき表示されます。

表示の切り換え

燃費／外気温ボタンを押すごとに、“外気温”→“平均燃費”→“外気温”→の順に表示が切り換わります。

・“外気温”表示



・“平均燃費”表示





平均燃費

エンジンスイッチを“II”にしてからの平均燃費を約1分ごとに更新して、km/lで表示します。

(例：平均燃費13.2km/l)



エンジンスイッチを“0”にすると、リセットされ、平均燃費は0に戻ります。

知識

- 表示される平均燃費は、実際に走行した燃費と違うことがあります。
- エンジンスイッチを“II”にしてから約1分間は、--- km/l表示になります。



外気温表示

走行中(約30km/h以上)の外気温を測定し表示します。

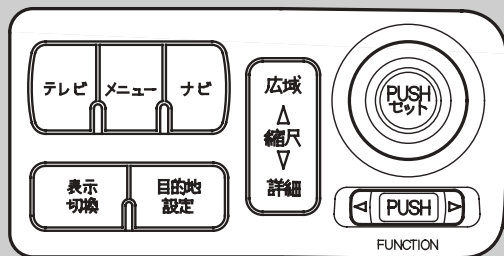
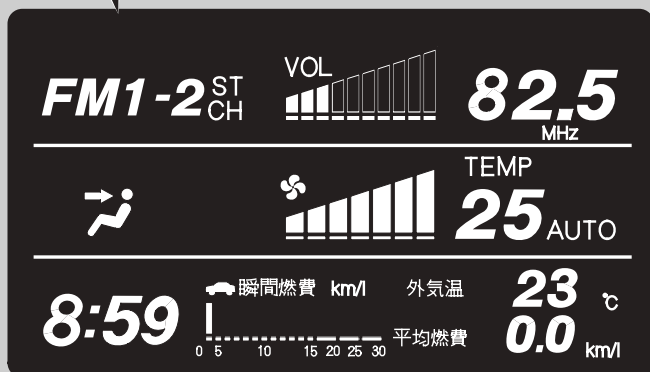


知識

- エンジンスイッチを“II”にしたときは、そのときの外気温を表示します。この表示は、走行(30km/h以上)するまで続きます。
- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(約30km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。

ナビゲーションシステム装備車

マルチインフォメーションディスプレイ



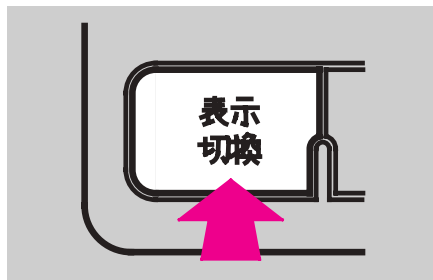
ナビゲーション操作部

ナビゲーションシステムの操作につきましては、別冊の“ナビゲーションシステム取扱説明書”をご覧ください。



表示の切り換え

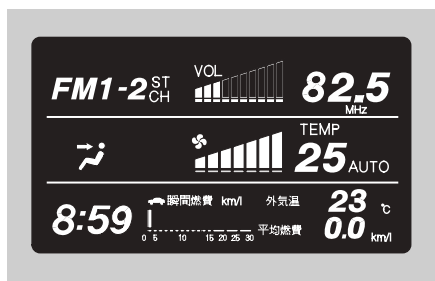
エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、ナビゲーション操作部の“表示切換”ボタンを押すことに、画面の表示が次のように切り換わります。



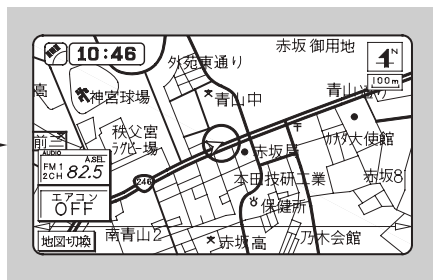
画面“OFF”表示



“マルチインフォメーションディスプレイ”表示



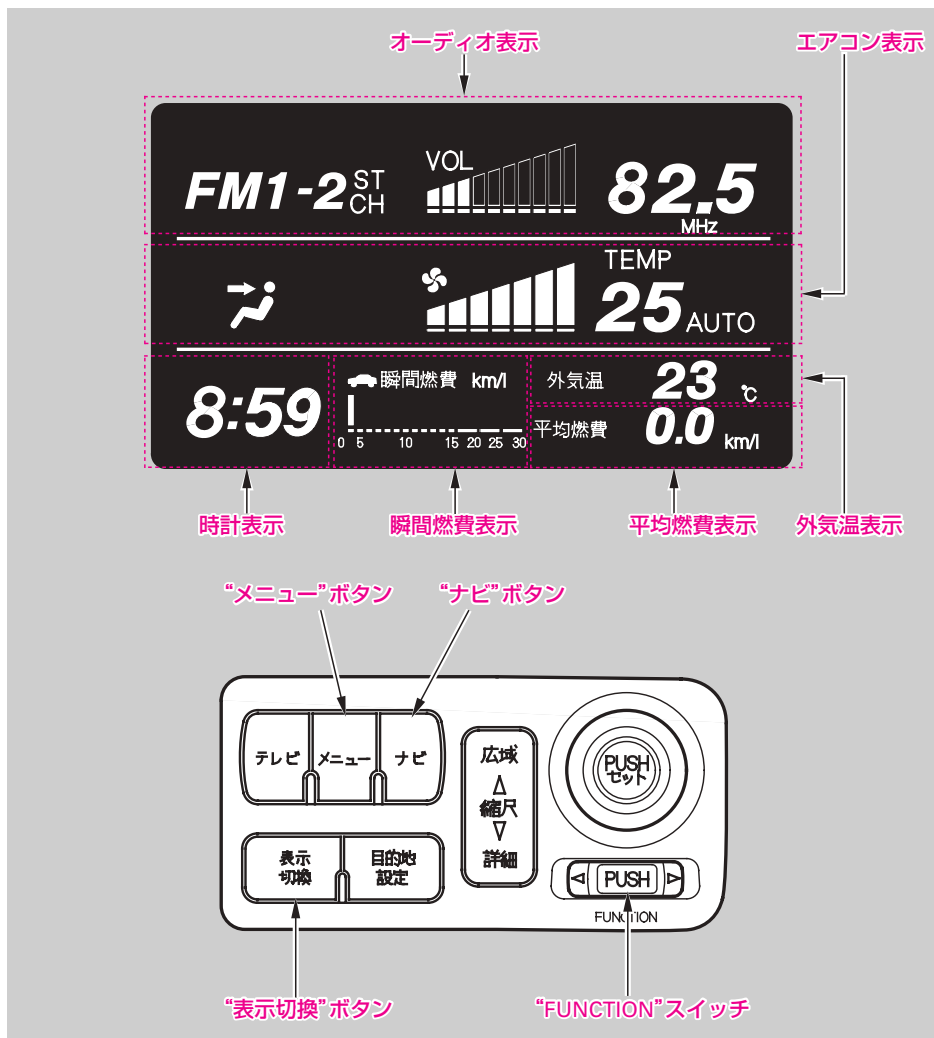
“ナビゲーション”画面表示
(エアコンまたはオーディオ使用時)



“ナビゲーション”画面表示



表示について



ナビゲーションシステムの操作につきましては、別冊の“ナビゲーションシステム取扱説明書”をご覧ください。



マルチインフォメーションディスプレイは、次のような表示を行います。

1 オーディオ表示

エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、オーディオの作動について表示します。

オーディオの操作について →194ページ

知識

- エンジンスイッチが“I”では、約10分間たつと「このままエンジンを始動せずに使用するとバッテリーが上がりますのでご注意ください。」とメッセージがでます。
この場合は、エンジンを始動してからお使いください。

2 エアコン表示

エンジンスイッチが“II”のとき、エアコンの作動等について表示します。

エアコンの操作について →184ページ

3 時計表示

エンジンスイッチが“II”のとき、時刻を表示します。

4 瞬間燃費表示

瞬間の燃費を表示します。

→181ページ

5 外気温表示

外気温を表示します。

→183ページ

6 平均燃費表示

平均の燃費を表示します。

→182ページ

●画面の明るさ調整

昼間や夜間など、状況に応じて画面が見やすくなるように明るさを調整することができます。

エンジンスイッチが「I」または「II」のとき、画面の明るさを14段階に調整することができます。

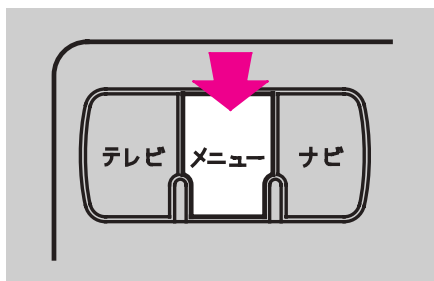
調整のしかた

①ナビゲーション画面表示にします。

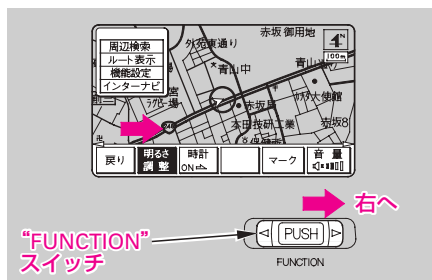
→175ページ



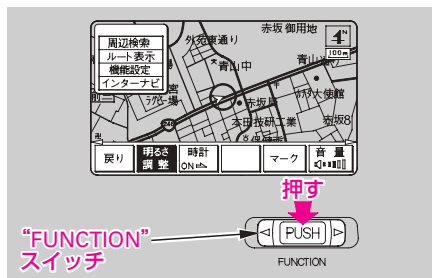
②ナビゲーション操作部の“メニュー”ボタンを押します。



③ナビゲーション操作部の“FUNCTION”スイッチを右方向に動かし、“明るさ調整”に合わせます。(黄色に反転します。)

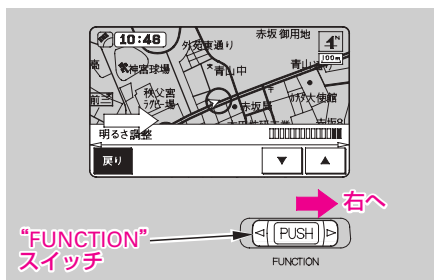


④“FUNCTION”スイッチを押し、“明るさ調整”の画面にします。



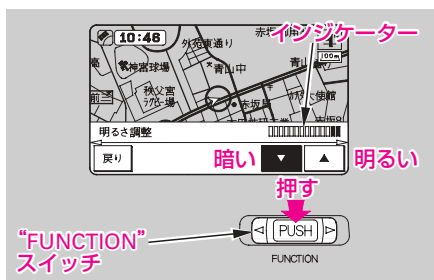


- ⑤ “FUNCTION”スイッチを右方向に動かし、“▽”または“△”に合わせます。
(黄色に反転します。)



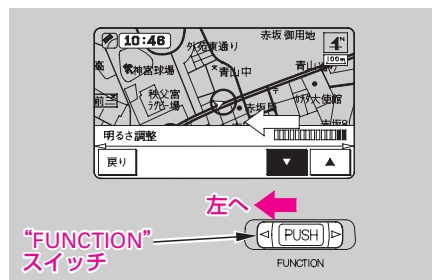
- ⑥ “FUNCTION”スイッチを押し、画面の明るさを変えます。
インジケーターで明るさを確認できます。

▽…暗くなります。
△…明るくなります。

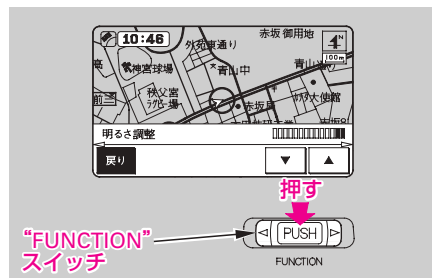


画面の戻しかた

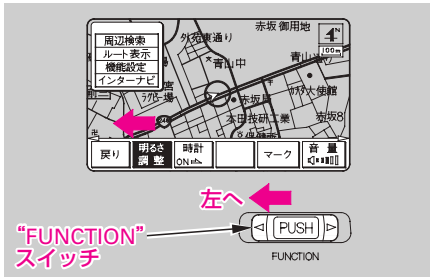
- ①ナビゲーション操作部の“FUNCTION”スイッチを左方向に動かし、“戻り”に合わせます。(黄色に反転します。)



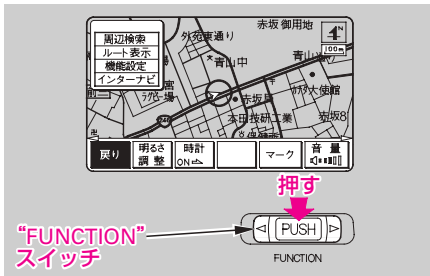
- ②“FUNCTION”スイッチを押し、“メニュー”画面に戻します。



- ③ “FUNCTION”スイッチを左方向に動かし、“戻り”に合わせます。(黄色に反転します。)



- ④ “FUNCTION”スイッチを押し、ナビゲーション画面表示に戻します。



- ⑤ 必要であれば、“表示切換”ボタンで画面を変更します。

知識

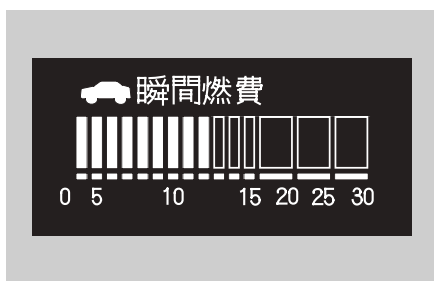
- ライトを点灯させると、自動的に画面の明るさは減光します。このときも、明るさは調整できます。
- 自動的に画面の明るさが減光しても、ナビゲーション操作部の“ナビ”ボタンを約2秒押すと元の明るさに戻ります。もう一度押すと、再び減光します。



瞬間燃費

エンジンスイッチを“II”にしてからの過去5秒間の燃費を1秒ごとに更新し、バーグラフにkm/lで表示します。

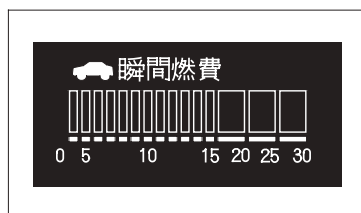
(例：瞬間燃費12km/l)



知識

- エンジンスイッチを“II”にしてから5秒間は、0 km/l表示になります。

・ 0 km/l表示



平均燃費

エンジンスイッチを“II”にしてからの平均燃費を約1分ごとに更新して、km/lで表示します。

(例：平均燃費13.2km/l)



平均燃費 **13.2** km/l

エンジンスイッチを“0”にすると、リセットされ、平均燃費は0に戻ります。

知識

- 表示される平均燃費は、実際に走行した燃費と違うことがあります。
- エンジンスイッチを“II”にしてから約1分間は、―― km/l表示になります。



平均燃費 ―― km/l



外気温

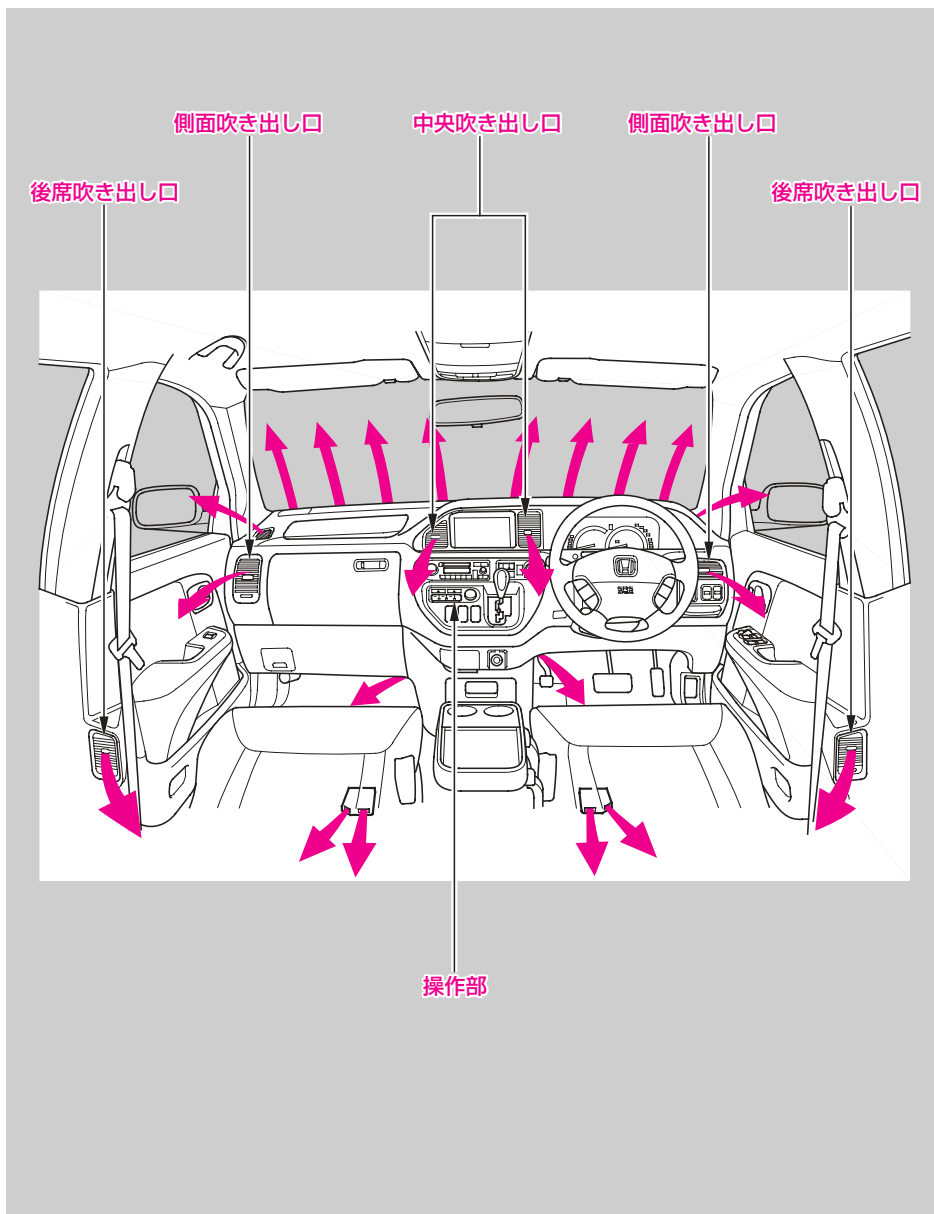
走行中(約30km/h以上)の外気温を測定し表示します。

外気温 **28** °C

知識

- エンジンスイッチを“II”にしたときは、そのときの外気温を表示します。この表示は、走行(30km/h以上)するまで続きます。
- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(約30km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。

エアコン

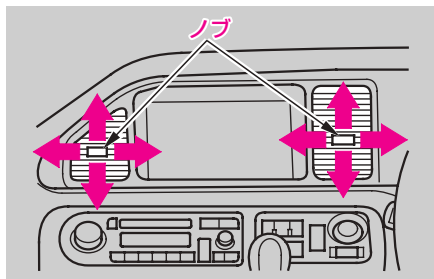




吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

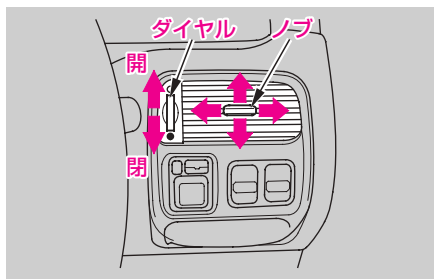
・中央吹き出し口



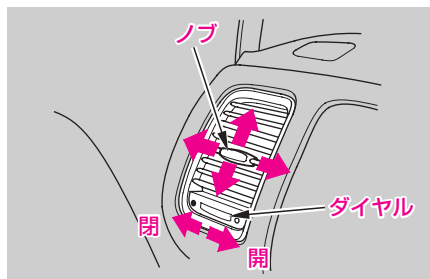
・側面吹き出し口

ダイヤルで開閉できます。送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。

・運転席側



・助手席側

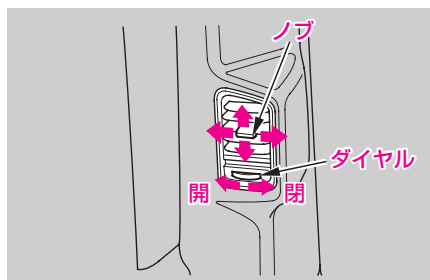


🎓 知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

・後席吹き出し口

ダイヤルで開閉できます。送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。



オートエアコン

●オートエアコンを使うとき

エンジンをかけた状態で使います。

マルチインフォメーションディスプレイ

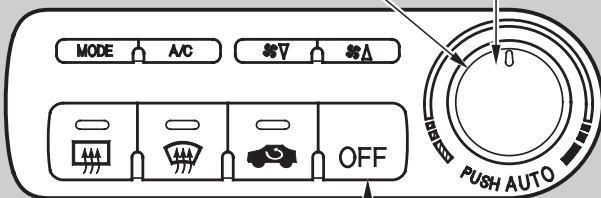


温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を設定します。表示温度は室温設定時のめやすとなります。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。（“FULL AUTO”表示）
風量、吹き出し口の切り換え、エアコンの“ON/OFF”、内気循環／外気導入の切り換えなどが自動制御されます。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。



通常の使用かた

- ①AUTOスイッチを押します。
- ②温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

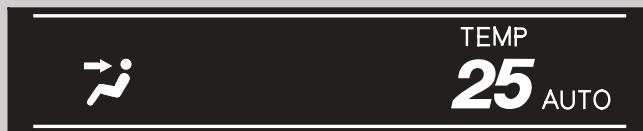
停止するときはOFFスイッチを押します。

知識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

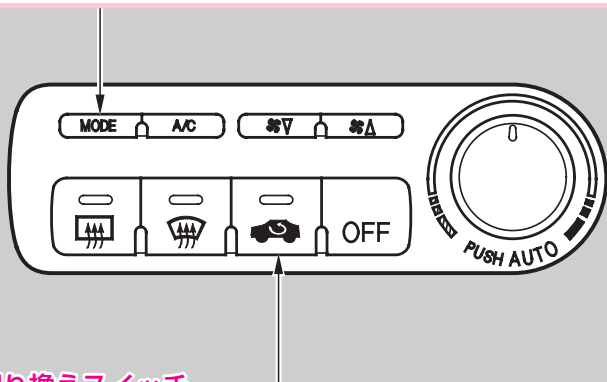
●マニュアルで使うとき

マルチインフォメーションディスプレイ



モードスイッチ

スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)、それぞれの表示灯が点灯します。



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

モードスイッチ、内外気切り換えスイッチ、エアコンスイッチ、ファンスピード切り換えスイッチは組み合わせて使うことができます。

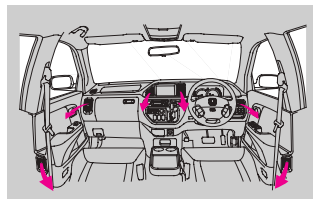
“FULL AUTO” (自動)で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“FULL”の表示は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

“FULL AUTO” (自動)に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

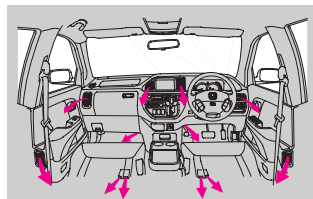


モードスイッチ

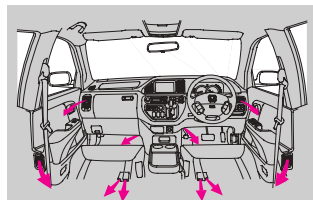
上半身に送風したいとき



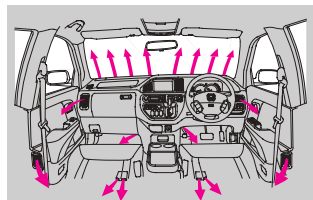
上半身、足元に送風したいとき



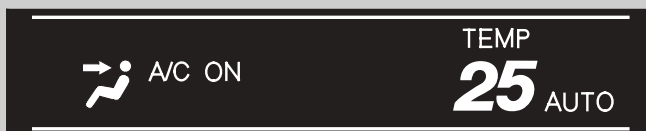
足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



マルチインフォメーションディスプレイ



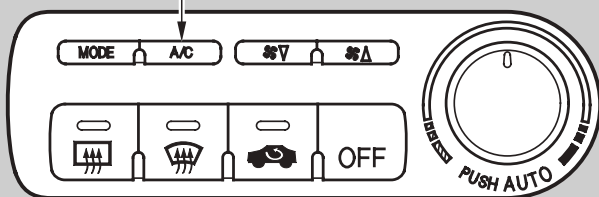
エアコンスイッチ

スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”が切り換わります。ディスプレイに、“A/C ON”“A/C OFF”が表示されます。冷房や除湿暖房をするときは“ON”にします。

エアコン“ON”表示



エアコン“OFF”表示



モードスイッチ、内外気切り換えスイッチ、エアコンスイッチ、ファンスピード切り換えスイッチは組み合わせて使うことができます。

“FULL AUTO”（自動）で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“FULL”の表示は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

“FULL AUTO”（自動）に戻すときは、AUTOスイッチを押します。



マルチインフォメーションディスプレイ

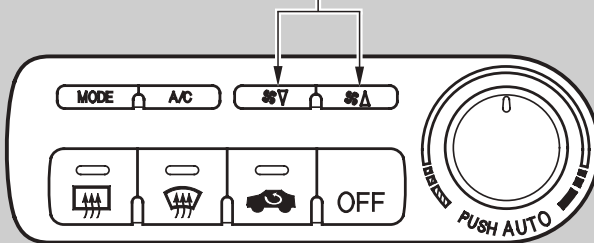
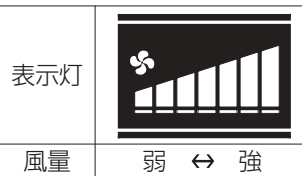


ファンスピード切り換えスイッチ

スイッチを押して風量を切り換えます。

 …風量が強くなります。

 …風量が弱くなります。

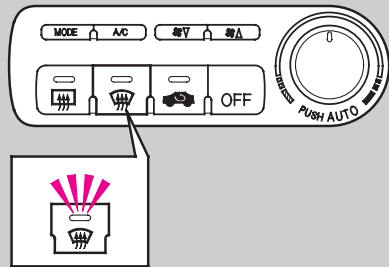
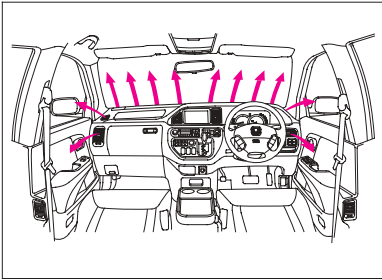


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

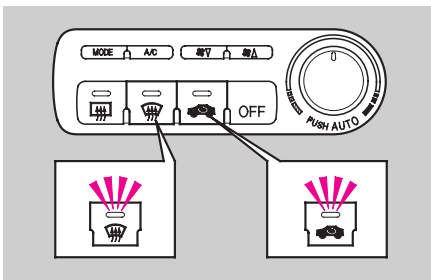
ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



🎓 知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

急速に霜を取りたいとき



🎓 知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



●エアコンを常用しないとき

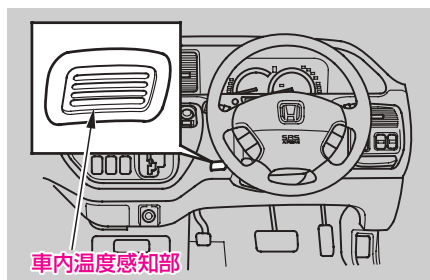
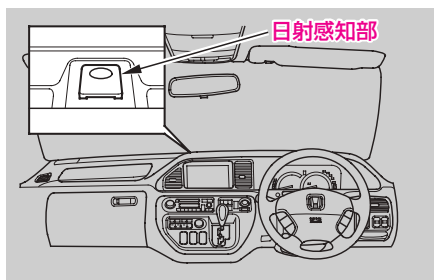
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入ると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

● ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

● CD/MDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。



CD

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

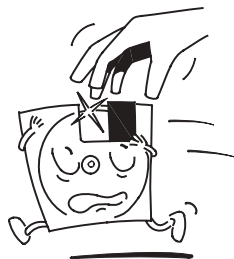
知識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

MD

シャッターを無理にあげないでください。こわれることがあります。

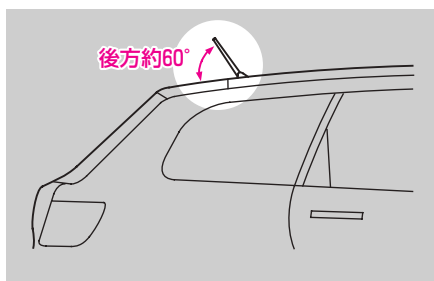
また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。



アンテナ

●センターアンテナ

センターアンテナは、後方約60°の位置にしてください。



自動洗車機を使った場合など、アンテナが倒れてしまった場合は、元の位置(後方約60°)に戻してください。

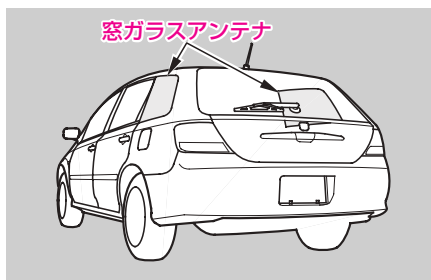
🎓 知識

- アンテナの角度は、後方約60°にしてください。60°以外の角度では正常に受信できないことがあります。

●窓ガラスアンテナ

ナビゲーションシステム装備車

後部ウィンドー内側にテレビ用のアンテナ線があります。



🎓 知識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

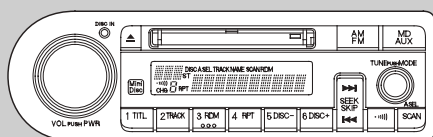


オーディオインデックス

フロントテレビの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

インテグレートドモニターシステムの取り扱いについては、別冊のインテグレートドモニターシステム取扱説明書をご覧ください。

AM/FMラジオ一体式MDステレオ



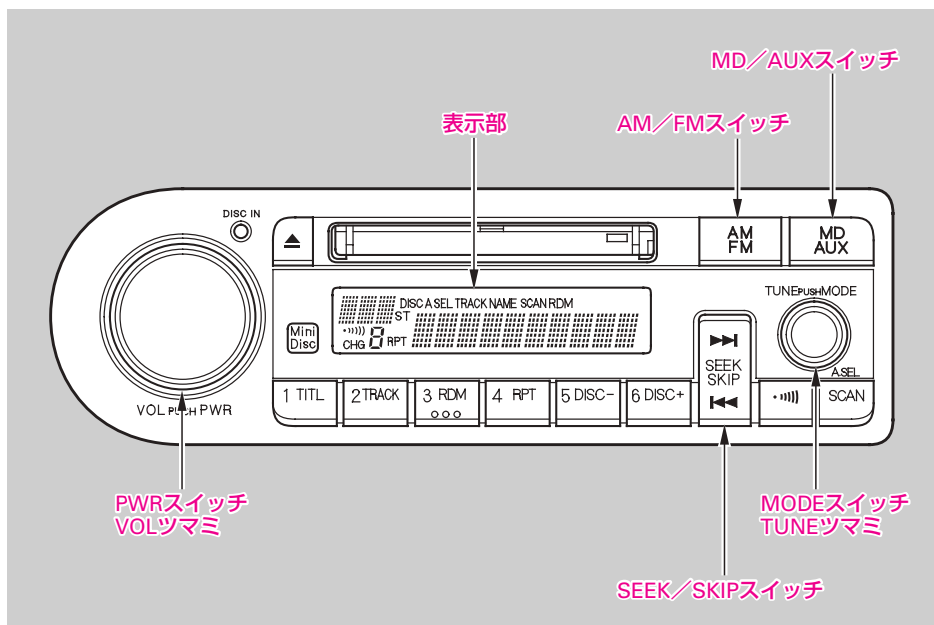
- 電源の入れかた …………… 199
- 音量調節のしかた …………… 199
- 音質、バランス調節のしかた …………… 200
- モードの切り換えかた …………… 200
- ラジオの使いかた …………… 202
- MDプレーヤーの使いかた …………… 206
- CDチェンジャーコントローラー
の使いかた※ …………… 210
- エラーコードについて …………… 213
- オーディオリモートコントロール
スイッチ …………… 214
- CDチェンジャー…………… 215

※：CDチェンジャー非装備車

Honda純正のオーディオを接続し、操作することができます。詳しくはホンダクリオ店にご相談ください。

AM/FMラジオ体式MDステレオ

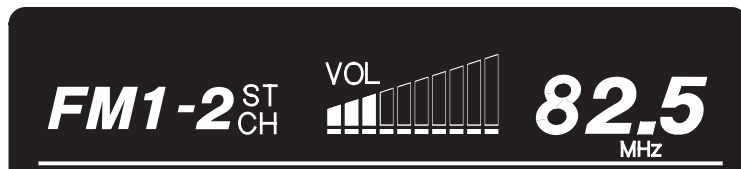
エンジンスイッチが“I”または“II”のときに使えます。



知識

- オーディオの電源がONのとき、マルチインフォメーションディスプレイにもオーディオの機能、操作の状態が表示されます。

例 ラジオ放送をきいているとき





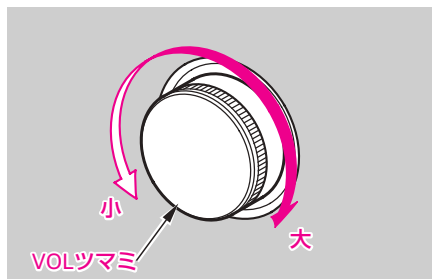
●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON” ↔ “OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、MD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

🎓 知識

- プレミアム・サウンド・システム装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。このアンプは消費電力が大きいのでエンジンスイッチが“1”のときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

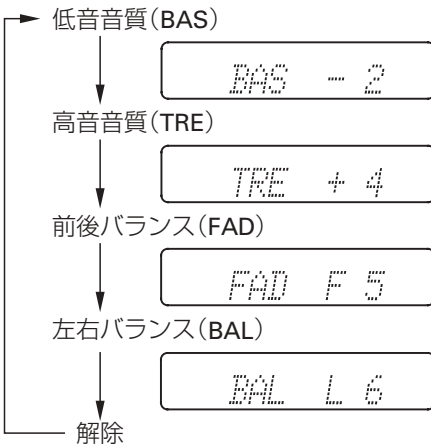
●音量調節のしかた



●音質、バランス調節のしかた

MODEスイッチを押して切り換え、TUNEツマミで調節します。

TUNEpushMODE



MODEスイッチを押すたびに切り換わります。

📖 知識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“CENTER”(センター)を表示します。

●モードの切り換え

各モードスイッチで切り換えます。

- ・AM/FMスイッチ



ラジオに切り換わります。

- ・MD/AUXスイッチ



MD(ミニディスク)が入っているときに押すと、MD演奏に切り換わります。

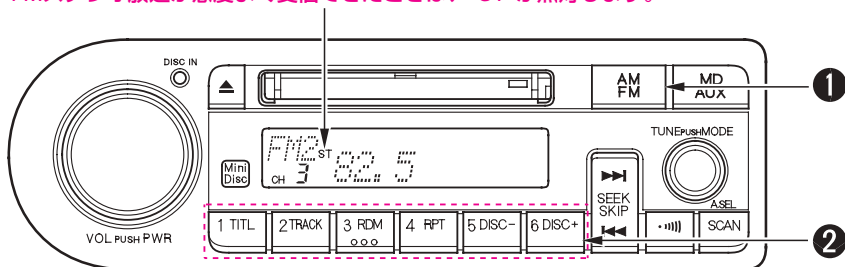
Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

CDチェンジャー装備車

CDチェンジャーにディスクが入っているときは、スイッチを押すたびにCD演奏とMD演奏が切り換わります。

●ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶できます。

●自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

SCANスイッチを短く押します。(“A. SEL”が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6局、FM12局まで自動的に記憶され“A. SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度短く押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

📖 知識

- 放送局が6局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



●ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMスイッチでAM/FM1/FM2を選びます。
- ②TUNEツマミ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。

TUNE PUS+MODE



高

低

- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しづつ変わります。
- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

🎓 知識



- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

- ③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

🎓 知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報をきくとき


- スイッチを短く押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。(“”)が点灯)




周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…手動選局ツマミまたは自動選局スイッチで切り換えます。

解除するとき

- スイッチをもう一度短く押します。他のモードに切り換えたときも解除されません。

🎓 知識

- スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

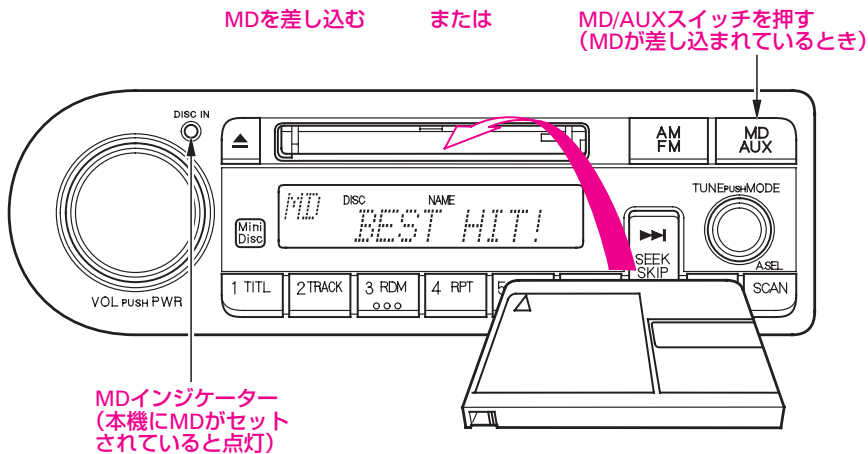
SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押します。(“SCAN”が点灯)



電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

●MDプレーヤーの使いかた MD演奏のききかた



MDを取り出すとき

▲ スイッチを押して、MDを取り出します。



MD演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、

▲ スイッチを押せばMDを取り出すことができます。



早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

▶▶ / ◀◀ スイッチを押します。



早送り
スキップ

早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。(“SCAN”が点灯し、トラックナンバーが点滅します)
各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- 全ての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

RPTスイッチを押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。(“RDM”が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

演奏中の曲名を表示するとき

TRACKスイッチを押します。(トラックの名称が約5秒間点灯)



トラックの名称は10文字ずつ表示されます。

知識

- ディスクにトラック名称が入力されていない場合は、“NO NAME”を表示します。

ディスクの名称を表示するとき

TITLスイッチを押します。(ディスクの名称が約5秒間点灯)



ディスクの名称は10文字ずつ表示されます。

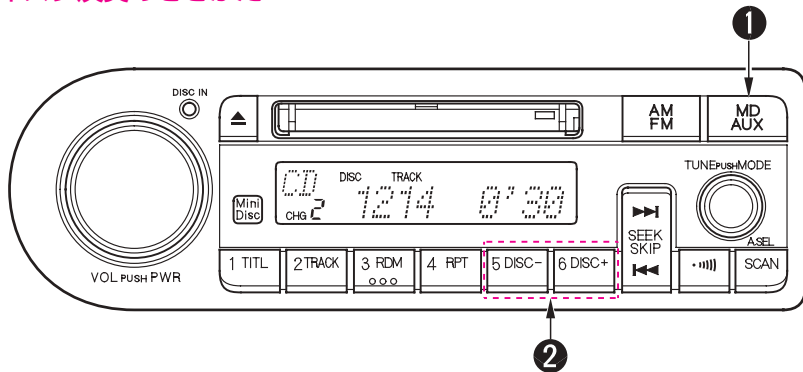
知識

- ディスクにディスク名称が入力されていない場合は、“NO NAME”を表示します。

●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

CDチェンジャー装備車
CDチェンジャー非装備車にHonda純正のCDチェンジャー接続時

ディスク演奏のききかた



①切り換える(MD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。

スイッチを押すたびに接続されているCDチェンジャー、MDプレーヤーに切り換わります。

②ディスクを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

DISC-、DISC+スイッチを押すごとに切り換わります。

DISC-、DISC+スイッチに続けて▶▶ / ◀◀スイッチを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。



早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ
早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。



- 短く押すとトラックスキャンになります。(“SCAN”が点灯)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
機能を解除するには、SCANスイッチをもう一度短く押します。
- “ピツ”という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。(“SCAN”が点灯)
ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
機能を解除するには、SCANスイッチを“ピツ”という電子音がするまで押し続けます。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。

4 RPT

- 短く押すとトラックリピートモードになります。
 (“RPT” が点灯)
 演奏中の曲を繰り返し演奏します。
 機能を解除するには、RPTスイッチをもう一度短く押します。
- “ピッ”という電子音がするまで押すとディスクリピートモードになります。 (“RPT” が点灯)
 演奏中のディスクを繰り返し演奏します。
 機能を解除するには、RPTスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押し続けます。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。

3 RDM

ooo

- 短く押すとトラックランダムモードになります。
 (“RDM” が点灯)
 演奏中のディスクをランダムに演奏します。
 機能を解除するには、RDMスイッチをもう一度短く押します。
- “ピッ”という電子音がするまで押すとディスクランダムモードになります。 (“RDM” が点灯)
 チェンジャー内すべてのディスクをランダムに演奏します。
 機能を解除するには、RDMスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押し続けます。



●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

- MD (本機)
- CD-1 (CDチェンジャー1)
- CD-2 (CDチェンジャー2)
- ⋮

エラーコード	原因
ERROR	ディスクやディスクマガジンの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
HOT	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
DISC	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れなど)
NO DISC	外部CDチェンジャー ディスクマガジンにディスクが入っていない
BLANK	MD ディスクに録音されていない

オーディオリモートコントロールスイッチ

CH(チャンネル)スイッチ

ラジオを使用中にスイッチを押すと、押すたびに記憶させてある周波数を順に選局します。

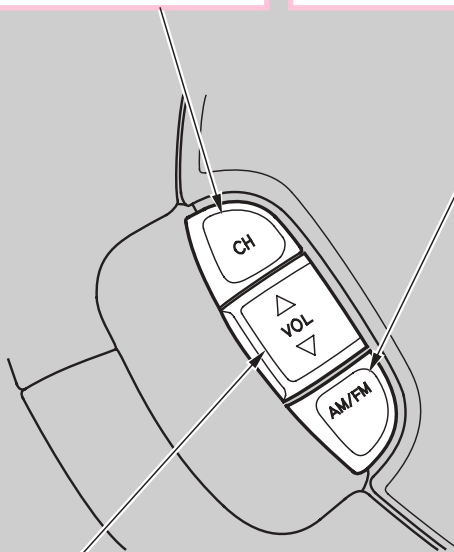
MDやCDなどを使用中にスイッチを押すと、次の曲の頭出しができます。

“AM/FM”スイッチ



スイッチを押すたびに切り換わります。

※：MDが入っているときや、CDチェンジャー等を接続しているときに切り換わります。



音量調節スイッチ

△を押す…音量が大きくなります。

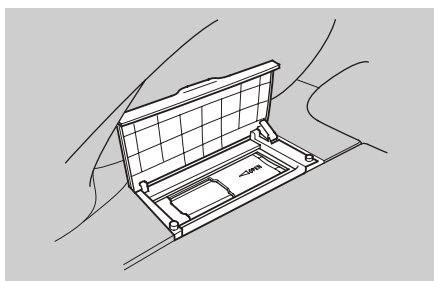
▽を押す…音量が小さくなります。



CDチェンジャー

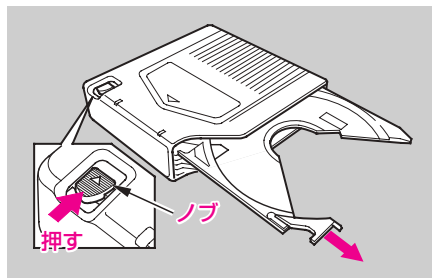
タイプ別装備

CDチェンジャーは、リヤシェルフサイズポケット内にあります。

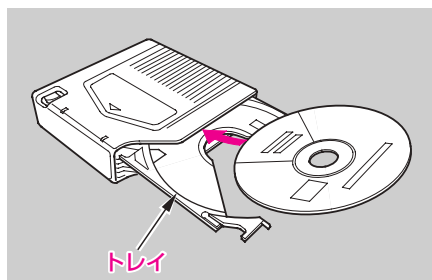


● ディスクのセット・取り出し

① ノブを押してトレイを引き出します。

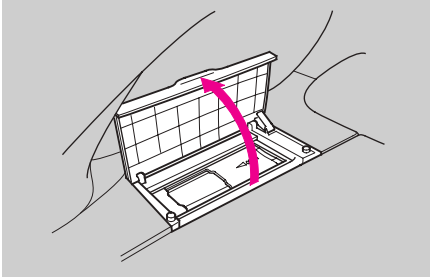


② ディスクのラベル面を上にしてトレイの上に置き、マガジンにセットします。

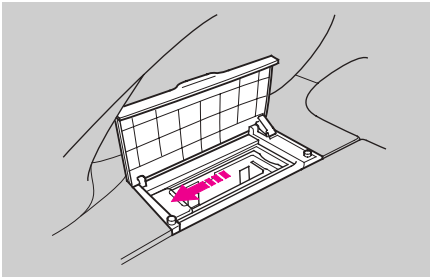


●マガジンのセット・取り出し

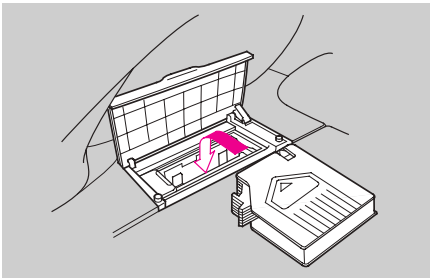
①リヤシエルフサイドポケットのフタを開けます。



②CDチェンジャーのフタを開けます。

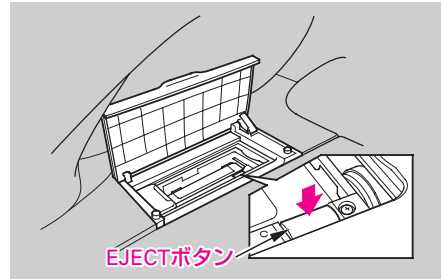


③矢印のついている面を図の向きにして、マガジンをチェンジャーに挿入します。



④CDチェンジャーとリヤシエルフサイドポケットのフタを閉めます。

マガジンを取り出すときは、フタを開けてEJECTボタンを押します。



🎓 知識

- マガジンを出し入れするとき以外は、異物などが落ちないようにフタを閉めてください。

室内装備品

前席室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

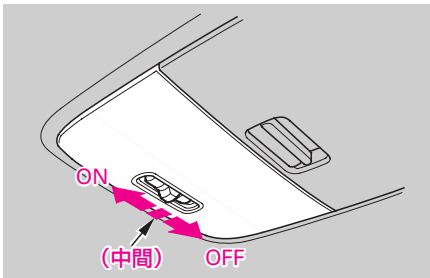
また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- 運転席ドアを解錠したとき
(ウエルカムライト機能)
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき

消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



知識

- 次の操作を行ったときは、室内灯は減光せずにすぐ消灯します。
 - 運転席ドアを施錠したとき
 - エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。



後席室内灯

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



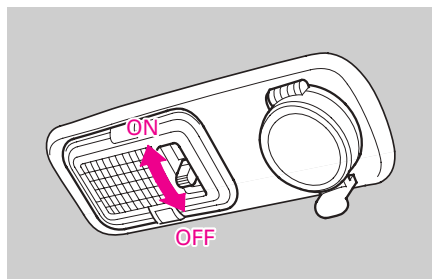
テールゲート照明灯

“ON”

テールゲートを開いたときのみ点灯します。

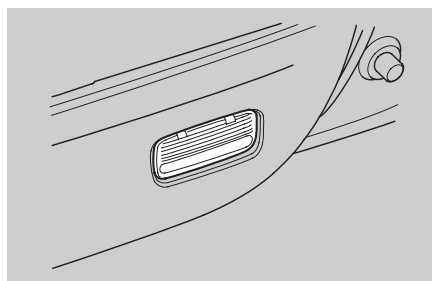
“OFF”

テールゲートの開閉に関係なく消灯します。



ドア開閉灯

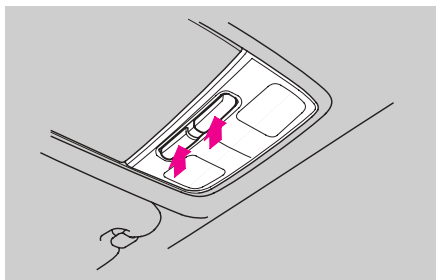
ドアを開けると点灯します。
閉めると消えます。



スポットランプ

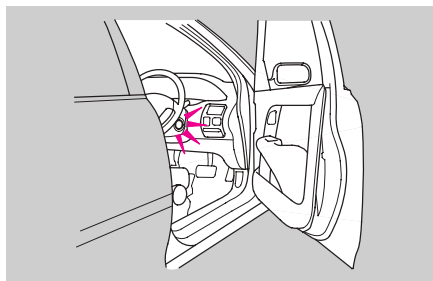
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



エンジンスイッチ照明灯

運転席ドアを開けると点灯します。
運転席ドアを閉めると数秒後に消灯します。



知識

- バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。



シガレットライター

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときだけ使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻りません。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。やけどをするおそれがあります。

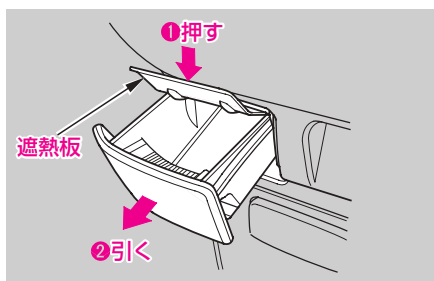
🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダクリオ店で点検を受けてください。

灰皿

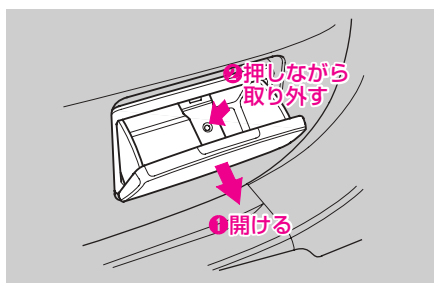
●前席用

清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。



●後席用

清掃するときは図の状態を取り外します。



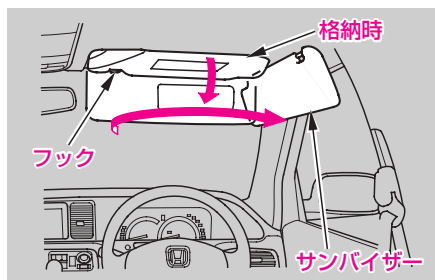
⚠注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。



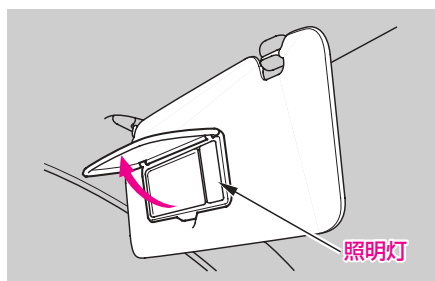
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

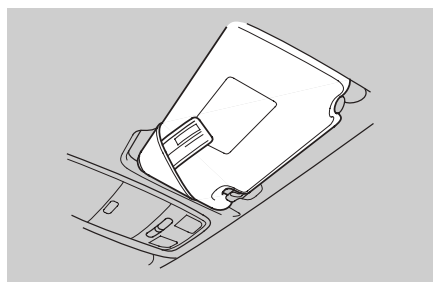
サンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。



ライトスイッチが“OFF”以外のときふたを開けると照明灯が点灯します。

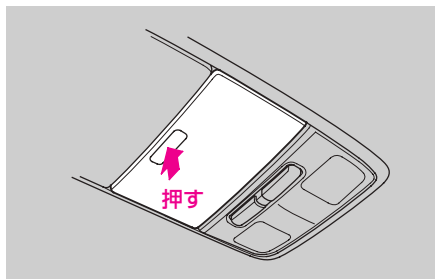
チケットホルダー

運転席側のサンバイザーにあります。

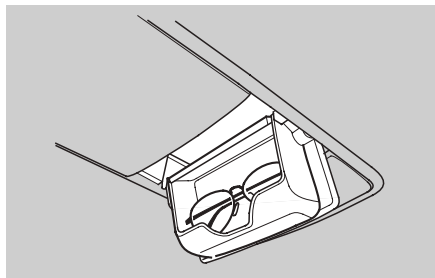


サングラスホルダー

矢印部を押すと開きます。もう一度押すと格納されます。



サングラスなどを入れることができます。

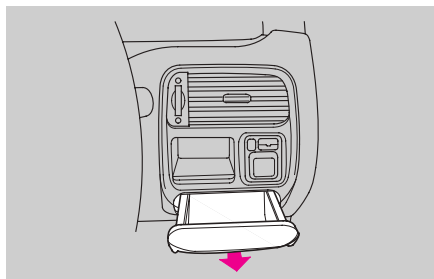


知識

- 重い物や破損しやすい物、鋭利な物など入れないでください。
- 開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。
- サングラスでも大きさ、形状により収納できないものがあります。
- 高温になりますので耐熱性の低いものは、変形することがあります。

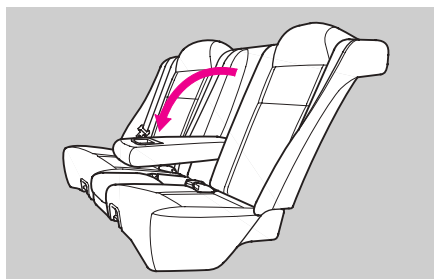
コインボックス

小銭を入れておくと有料道路の料金所などで便利です。



リアアームレスト (後席ひじ掛け)

引き出してアームレストとして使えます。



知識

- アームレストの上に乗ったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。破損などの原因となります。

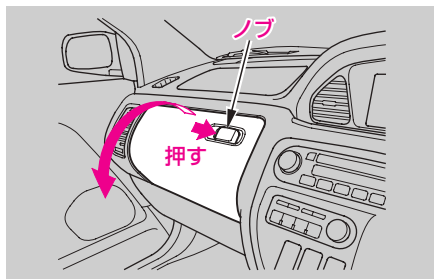


小物入れ

●グローブボックス

ノブを押すと開きます。

ライトスイッチが“OFF”以外のとき照明灯が点灯します。

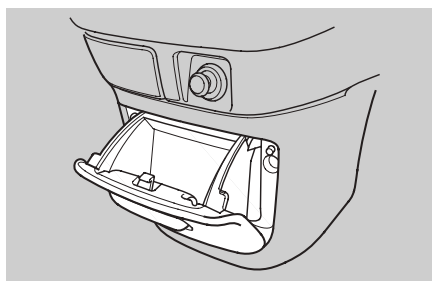
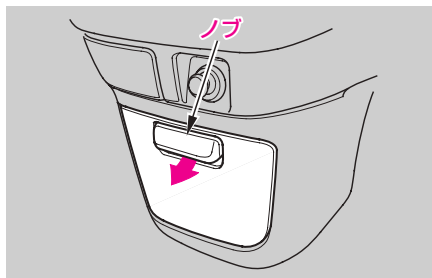


⚠警告

- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

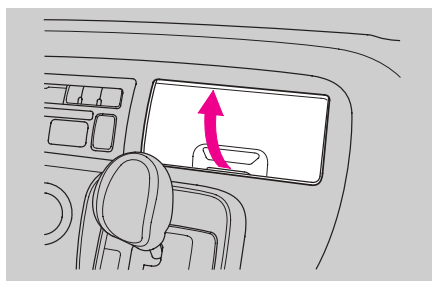
●センターロアボックス

ノブを引くと開きます。



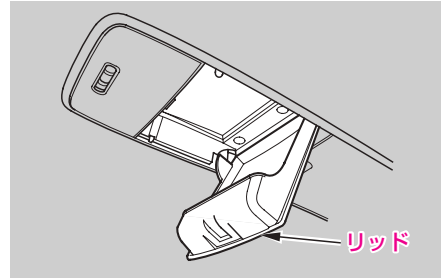
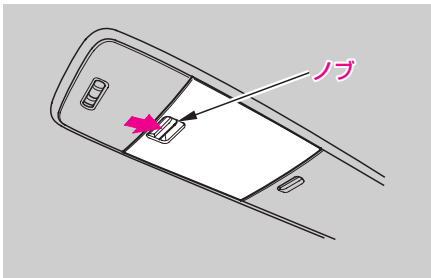
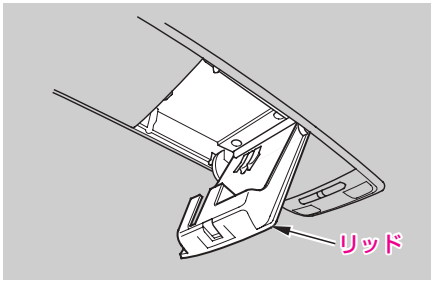
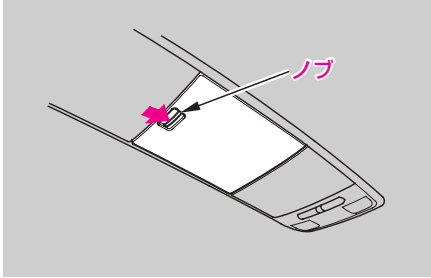
●センターパネルポケット

ナビゲーションシステム非装備車



●ルーフコンソールボックス

ノブを押すとリッドが開きます。



📖 知 識

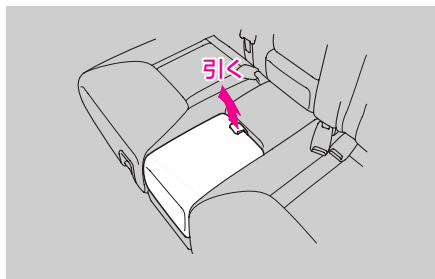
- リッドを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ等で収納物が飛び出すことがあります。
- リッドを開けた状態では、安全上リッドが外れる構造になっています。リッドが外れた場合は、ホンダクリオ店へご相談ください。
- 無理にリッドを開けないでください。リッドが外れることがあります。
- 重い物や破損しやすい物、鋭利な物など入れないでください。
- 開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。
- 高温になりますので耐熱性の低いものは、変形することがあります。



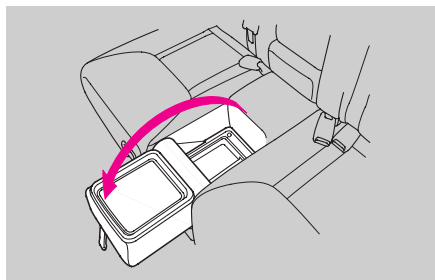
●リヤシートテーブル

注文装備

つまみを引くと、後席用のシートテーブルとして使えます。

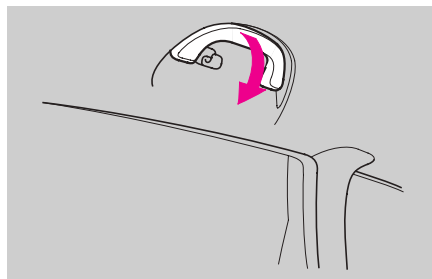


テーブルの下は、小物入れとしても使えます。



グラブレール

回転させて使います。
使わないときは格納しておきます。

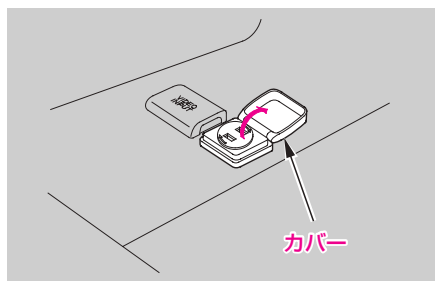


AC 100V電源ソケット

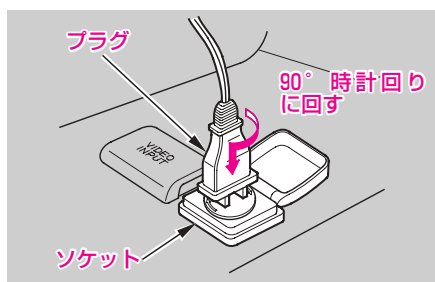
インテグレートドモニターシステム装備車

エンジンをかけているときに、定格100Wまで使用できます。

①カバーを開けます。



②プラグの先端を少し入れてから、時計回りに90°回して差し込みます。



使用しないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

⚠ 注意

- ソケットに水、ジュースなどがかからないようにしてください。感電するおそれがあります。

🎓 知識

- ソケットに水、ジュースなどがかかると故障の原因となりますので、注意してください。
- バッテリー上がり防止のため、保護回路が働き、給電が停止することがあります。
- 最大消費電力が100Wを超える電気製品を使用すると、保護回路が働き、給電が停止します。停止した場合でも、消費電力が100W以下の電気製品はそのまま使用できます。
- 消費電力が100W以下であっても次のような機器は正常に作動しない場合があります。
 - ・起動時の消費電力が100Wを超える機器
(ブラウン管テレビ、コンプレッサー式冷蔵庫、電気ポンプ、電動工具など)
 - ・電波周波数の切り換え(50/60 Hz)のある機器
(時計、オーディオなど)
 - ・計測器など、精密なデータ処理をする機器
(計量器など)
- 医療機器のご使用は、絶対に避けてください。
(吸入器、コンタクトレンズ煮沸器、血圧計など)



知識

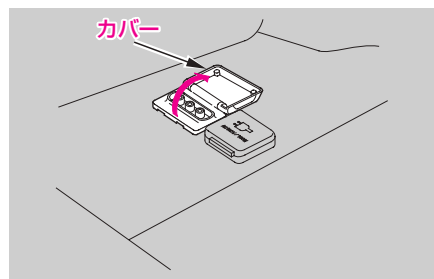
- 使用する電気製品によっては、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。

AV外部入力端子

インテグレートドモニターシステム装備車

運転席側のリヤサイドライニングにAV外部入力端子があります。

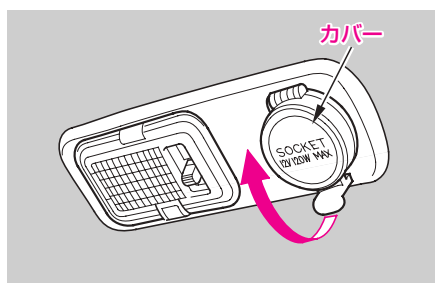
使用するときは、カバーを開けて、外部入力端子にビデオ機器などの端子を差し込みます。



詳しい操作については、別冊のリヤエンターテインメント取扱説明書をご覧ください。

アクセサリースOCKET

カバーを開けて使用します。
Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。
(定格120W [12ボルト、10アンペア]まで使用できます。)



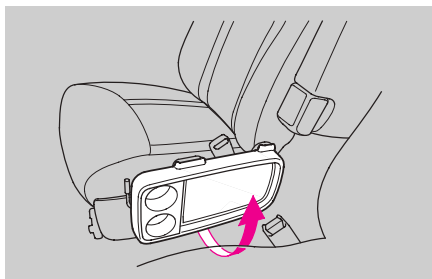
知識

- Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリースOCKETを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

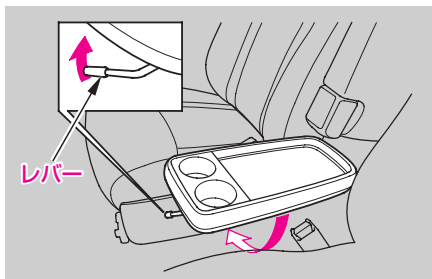
センターテーブル

● 使いかた

上に引き起こして固定します。



元に戻すときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



知識

- テーブルの上に乗ったり、下にもぐったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。破損や変形などの原因になります。
- 走行中にテーブルの上に物を置いておくと、落ちたり飛び出すことがあります。



カップホルダー

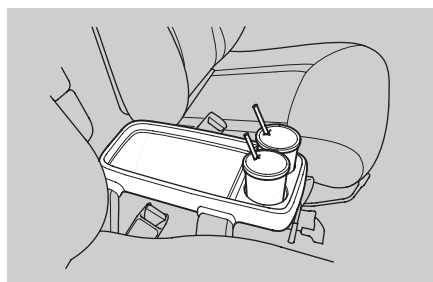
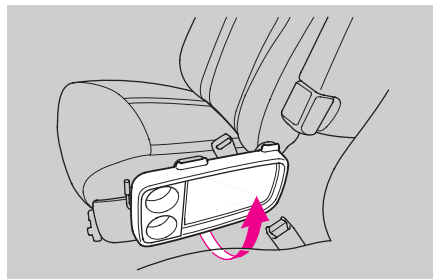
カップなどを置くときに使います。

知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がオーディオ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。
- サイズの合わないカップなどを無理に置かないでください。カップなどが倒れやすくなったり、取り出しにくくなったりすることがあります。

前席

センターテーブルを起こして使います。

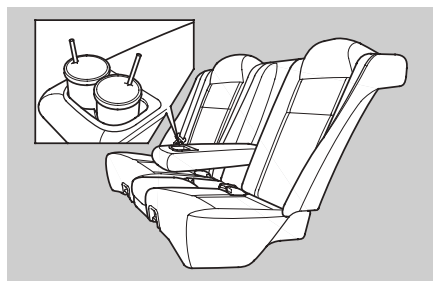


知識

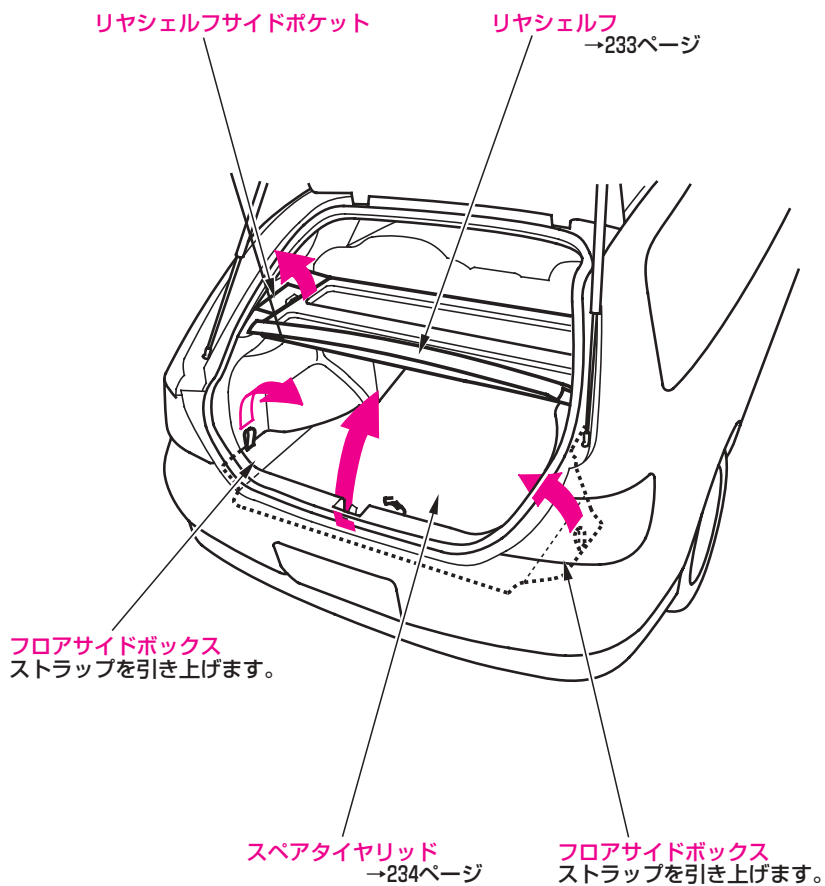
- 飲み物が入っている状態でテーブルをおろさないでください。

後席

アームレストを引き出して使います。



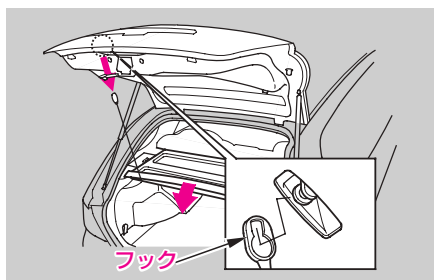
カーゴルーム収納スペース



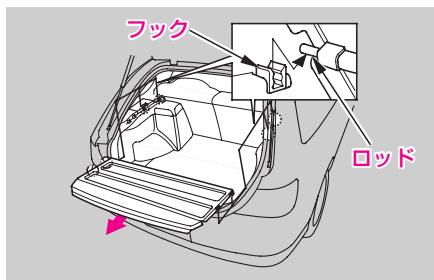


●リヤシェルフ

- ①テールゲート裏側から、フックを外します。



- ②フックから、リヤシェルフのロッドを外します。その後、リヤシェルフを持ち上げて取り外します。



取り付けるときは、リヤシェルフを上から押しつけば固定されます。

⚠注意

走行中は荷物の出し入れはしないでください。

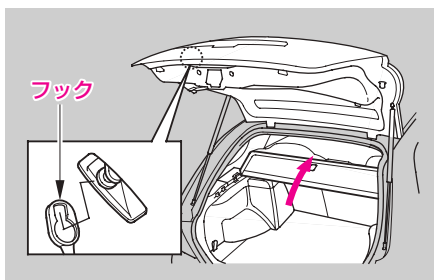
急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓知識

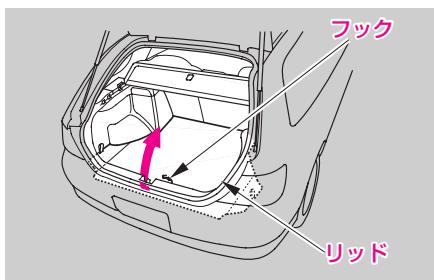
- カーゴスペースに荷物を置くときは、リヤシートの背もたれの高さを越えないようにしてください。後方視界を妨げるばかりでなく、急停止のときなど飛び出すおそれがあります。
- リヤシェルフの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・リヤシェルフの上に物を置かないでください。
 - ・リヤシェルフ本体に強い力をかけないでください。

●スペアタイヤリッド

- ①テールゲート裏側からフックを外し、リヤシェルフを折りたたみます。



- ②フックを持ってリッドを開けます。



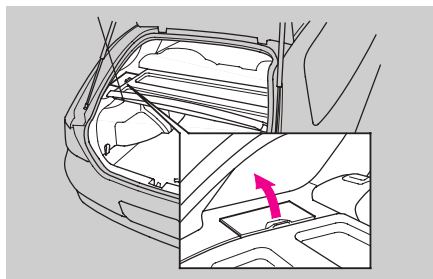
- ③リッドを開けたままにしておきたいときは、フックをリヤシェルフ裏のフックかけにかけておきます。



リヤシェルフサイドポケット

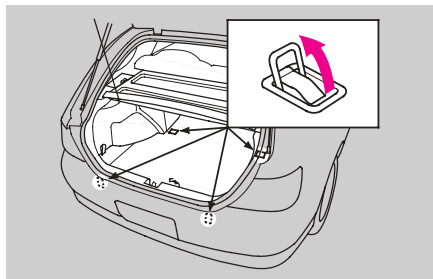
CDチェンジャー非装備車

ふたを開けて使います。



カーゴフック

荷物を固定するときに使います。



5

万ーのとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	236
工具の種類	237
発炎筒について	237

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	238
高速道路で故障したとき	238
道路で動けなくなったとき	239
故障の修理について	239

●事故が起きたとき

けん引	
けん引されるとき	
（ロープによるけん引）	242
故障車をけん引するとき	245

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	246
応急用スペアタイヤ	248
タイヤ交換	249

●オーバーヒートしたとき

	256
--	-----

●電気系統が異常のとき

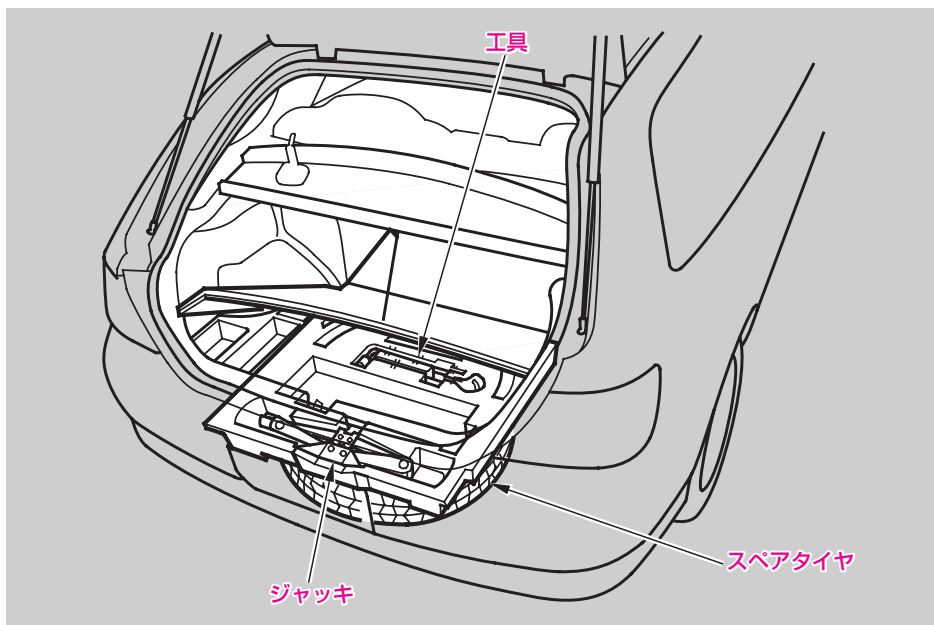
バッテリーあがりのとき	260
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	262
テールゲートの解錠が できないとき	276

*全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覽」に記載してあります。

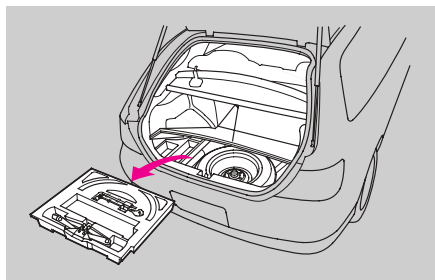
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

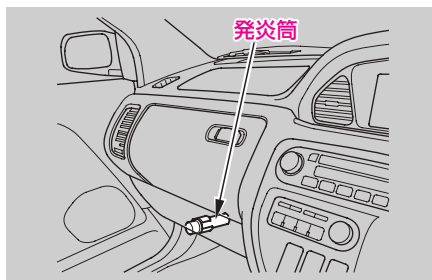
●工具・スペアタイヤ



スペアタイヤリッドの下に格納されています。



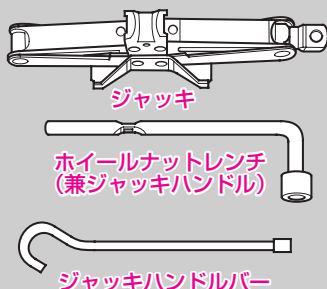
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいものそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

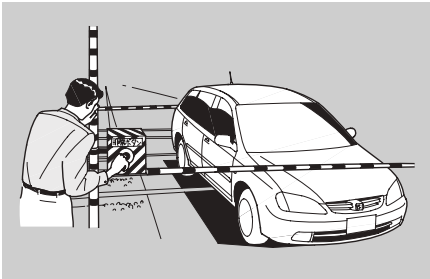
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

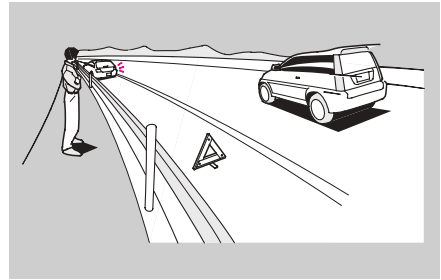
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



知識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

ホンダクリオ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くなるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

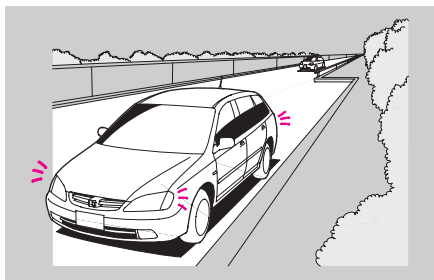
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

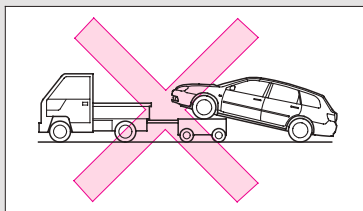
5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

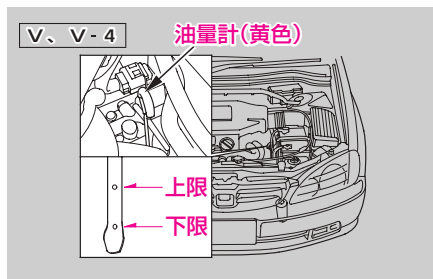
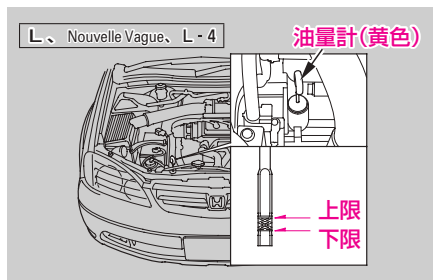
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車の場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。



けん引される時 (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

- ① トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。

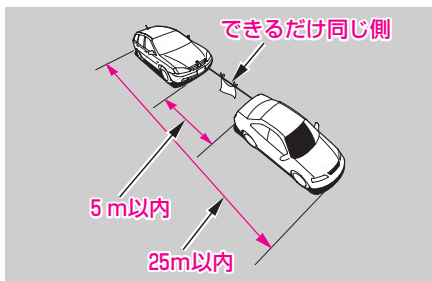
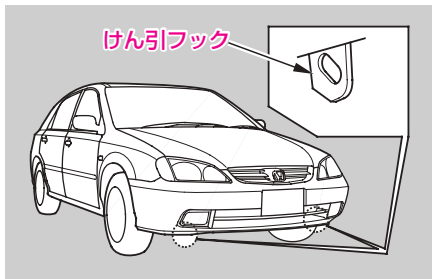


下限より下がっている場合は、

- ・ L、Nouvelle Vague、Vは、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。
- ・ L-4、V-4は、四輪を持ち上げてけん引してください。



- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③セレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。
- ④パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようしてください。
- ⑤速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。



アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。
そのままけん引されると、バンパーやアンダースポイラーに傷をつけるおそれがあります。



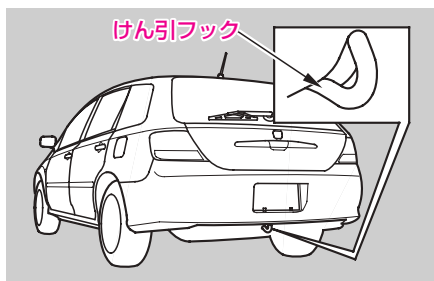
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。



アドバイス

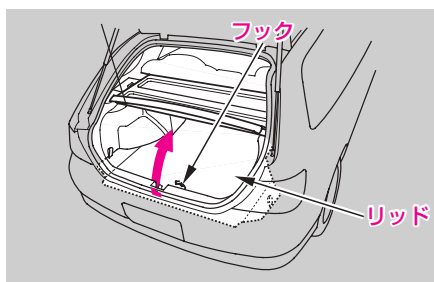
- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。
そのままけん引されると、バンパーやアンダースポイラーに傷をつけるおそれがあります。

パンクしたとき

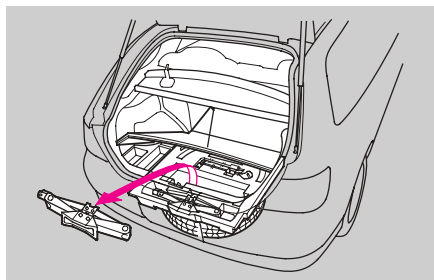
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

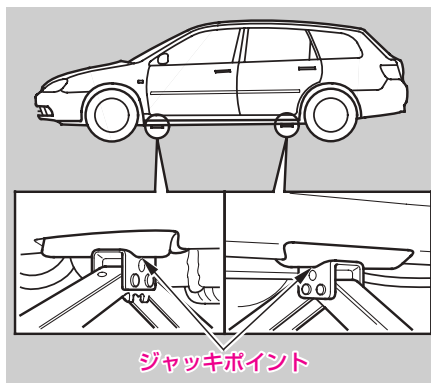
- ①フックを持ってリッドを開け、リヤシエルフ裏のフックにかけます。



- ②ジャッキを取り出します。



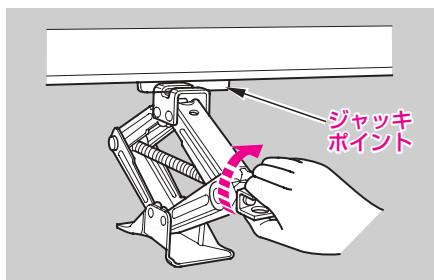
●ジャッキをかける位置



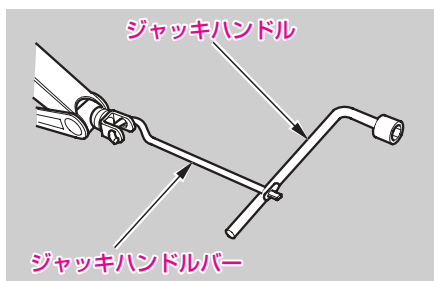


● ジャッキのかけかた

- ① 地面が固い平らなところに車を停めます。
- ② パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

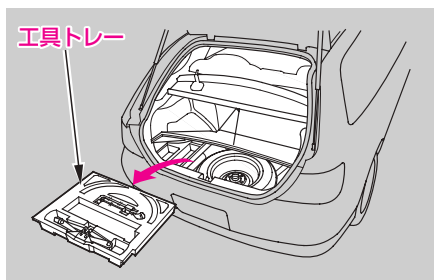
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

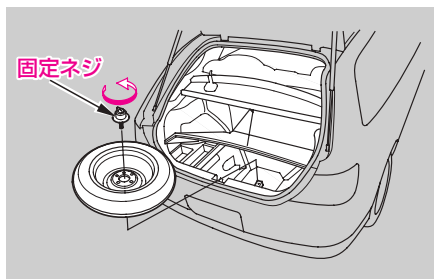
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

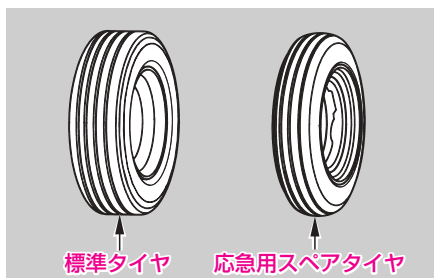
- ①スペアタイヤリッドを開け、工具トレイを取り出します。



- ②固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみを使うタイヤです。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

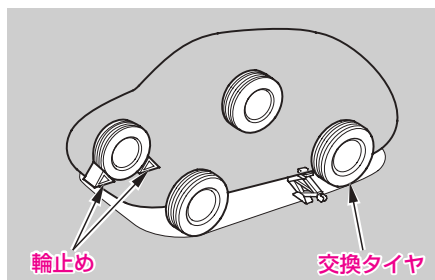
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。



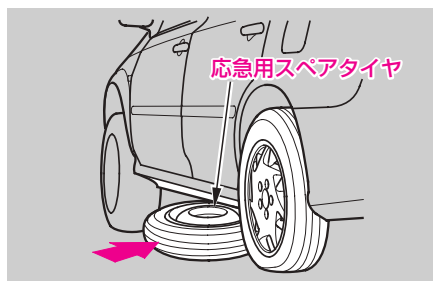
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

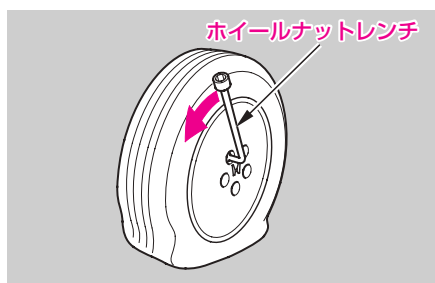


2 ジャッキで車体を上げる

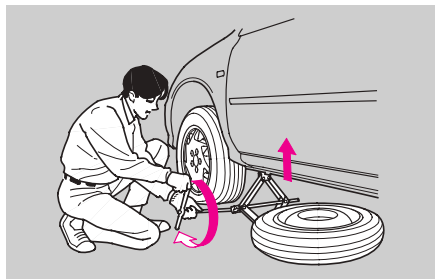
①ジャッキをセットします。

→246ページ

②ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

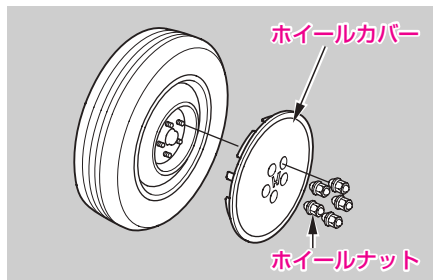


③タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



3 タイヤを交換する

①ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。

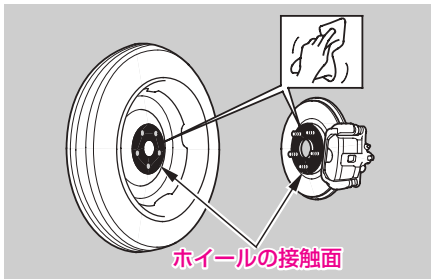


知識

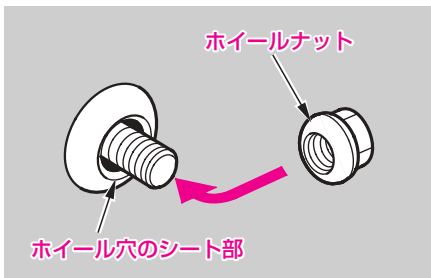
- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。



- ② 応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



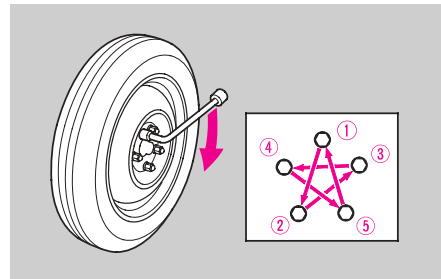
- ③ 応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑤ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

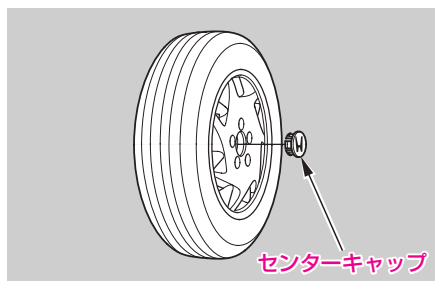
98 - 118 N·m (10.0 - 12.0 kgf·m)



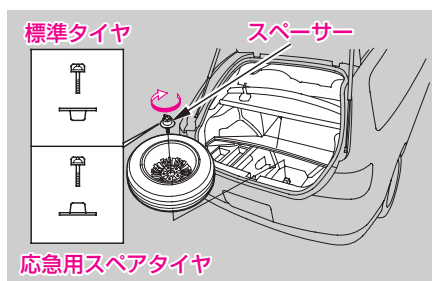
4 標準タイヤを収納する

① アルミホイール装備車

パンクした標準タイヤはセンターキャップを外します。



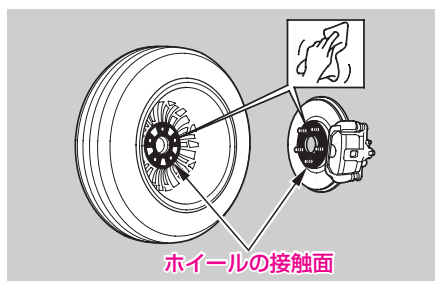
②パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スペアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。





5 標準タイヤを取り付けるときは

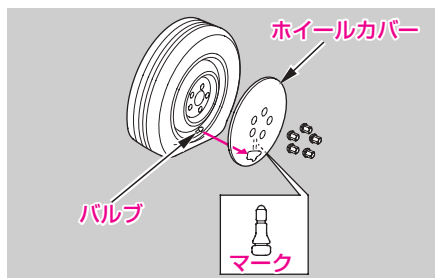
- ①標準タイヤのホイールの接触面のよ
れをふき取ります。



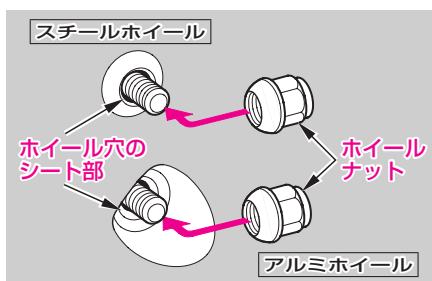
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②ホイールカバーを取り付けるときは、カバー裏側にあるマーク部がバルブの位置にくるようにします。



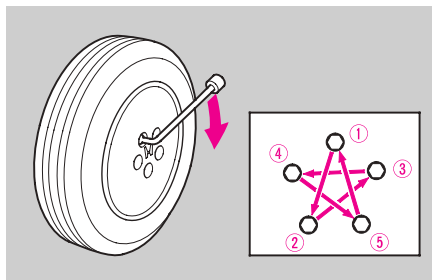
- ③ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっ
かり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

98 - 118 N·m (10.0 - 12.0 kgf·m)



 **アドバイス**

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。



知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダクリオ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 →310ページ
- ホイールカバー装備車**
ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。
ドライバーなどで無理にこじらないでください。
- アルミホイール装備車**
パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

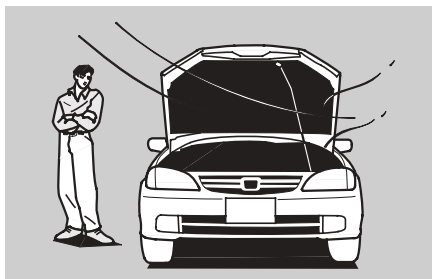
- 水温計が“オーバーヒート表示”になったり、エンジンの力が急に落ちる。
水温計 →73ページ
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 処置のしかた

- ① 車を安全な場所に停めます。
- ② エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

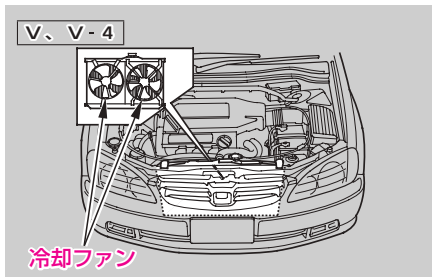
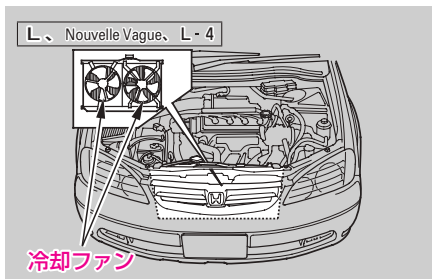


🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。
蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



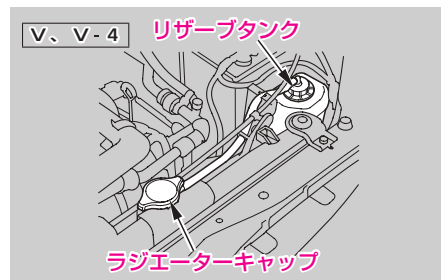
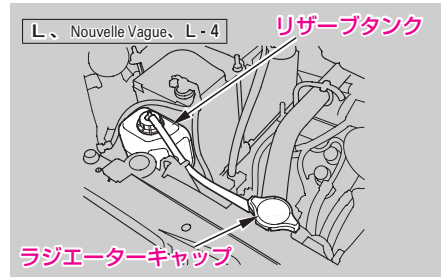
- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の表示が“C”の方に下がってきてからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダクリオ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

警告

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。
冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

⑥なるべく早くホンダクリオ店で点検を受けてください。

5.万一のとき

オーバーヒートしたとき



Blank writing area with horizontal dashed lines for text entry.

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

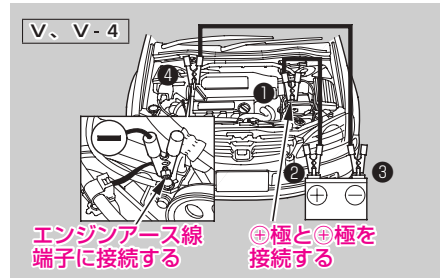
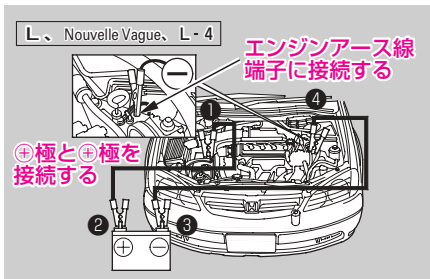
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2 本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。また、バッテリーを取り付けた後は運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

はさみ込み防止機構 →47ページ

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

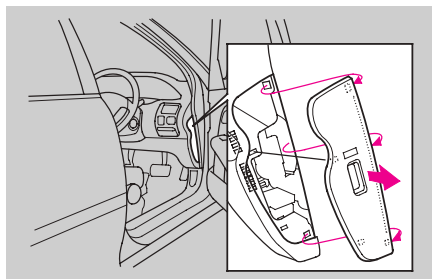
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

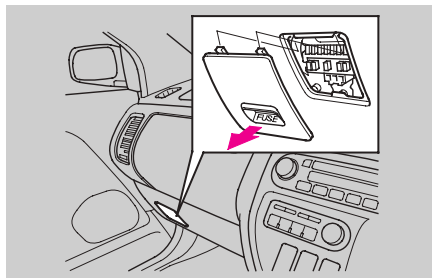
●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックスの位置

- ・運転席ドア開口部

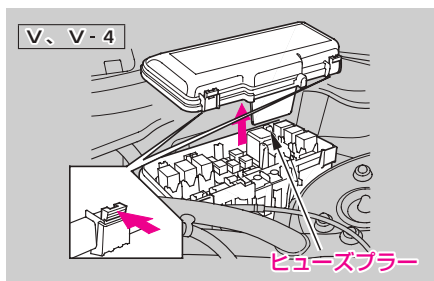
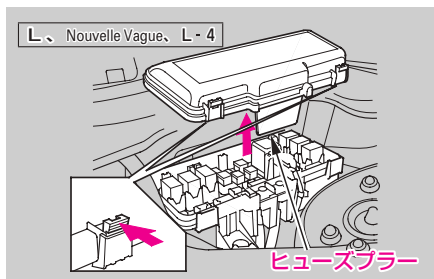


- ・助手席足元

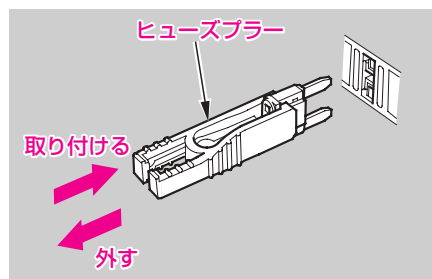




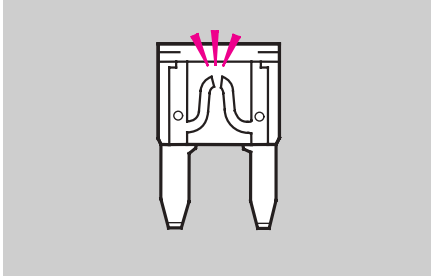
・エンジンルーム内

ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

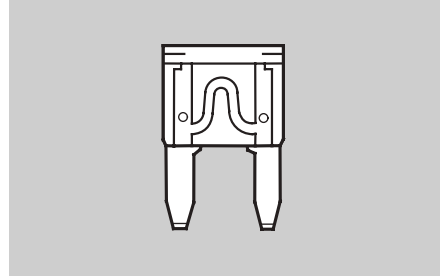
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 運転席パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後も運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。
はさみ込み防止機構 →47ページ
- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

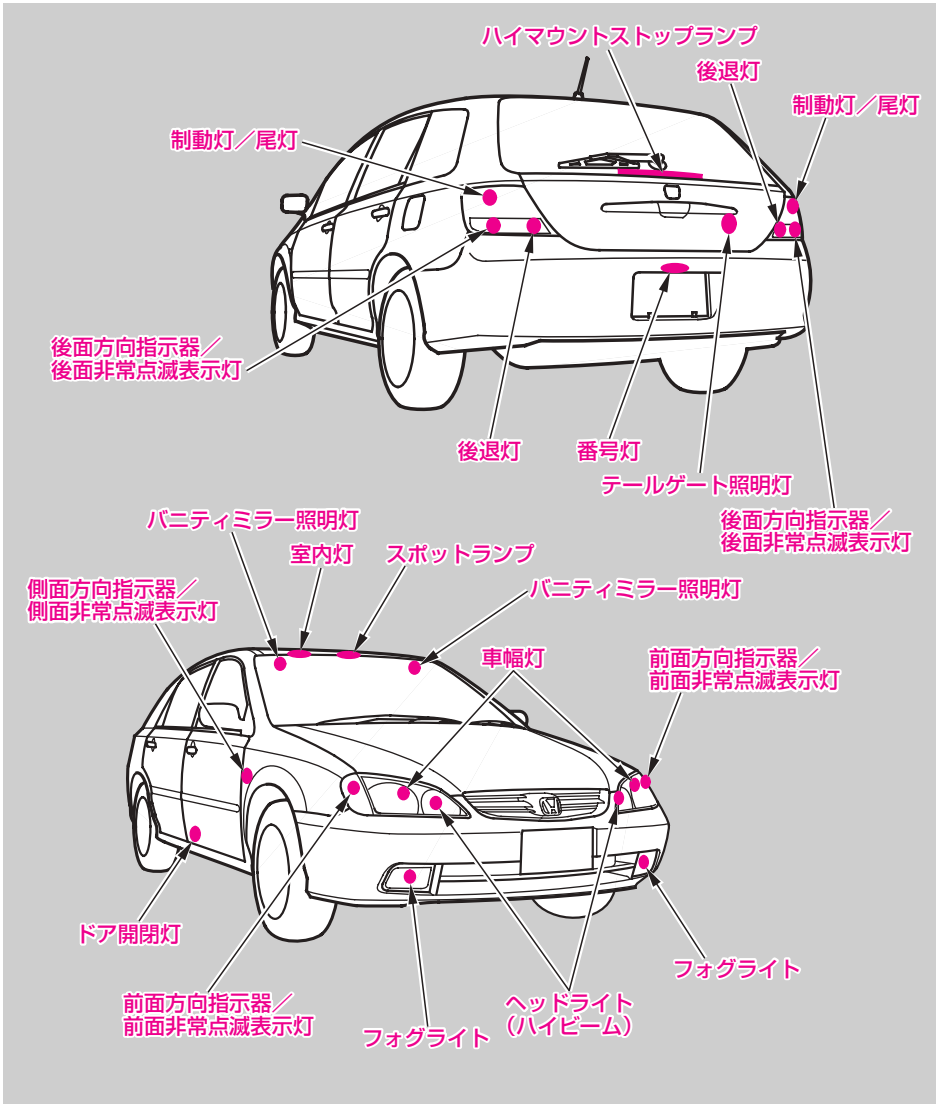
知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダクリオ店で点検を受けてください。



●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



知識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。

電球のワット数 →307ページ

- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。

取り扱いには十分に注意してください。

また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。

- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありませぬ。

ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダクリオ店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)について

ヘッドライト(ロービーム)の電球切れの点検、交換は必ずホンダクリオ店で行ってください。

注意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。



ヘッドライト(ハイビーム)

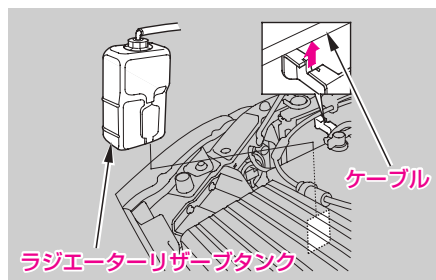
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →266ページ

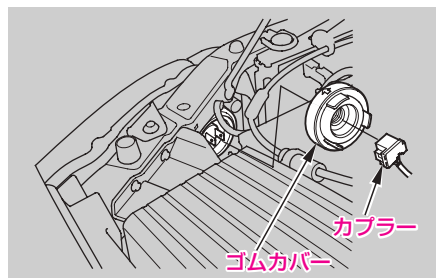
V、V-4

・左側

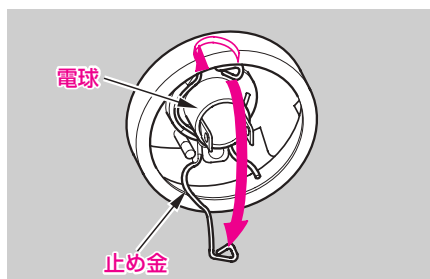
- ①ケーブルを外し、ラジエーターリザーブタンクを外します。



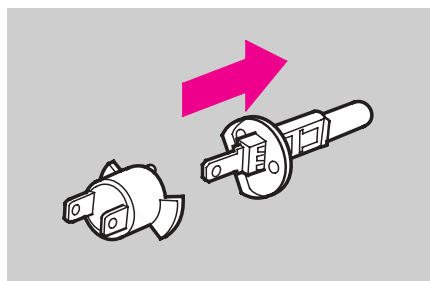
- ②カプラーを抜き取ります。
- ③ゴムカバーを外します。



- ④止め金を外し、電球を外します。



- ⑤電球本体を抜き取ります。



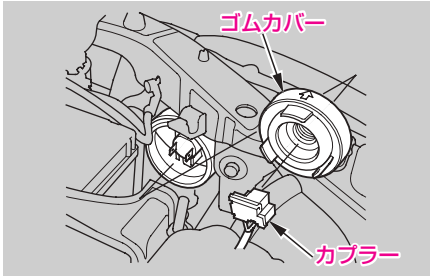
・右側

- ①カプラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。
- ③止め金を外し、電球を外します。
- ④電球本体を抜き取ります。

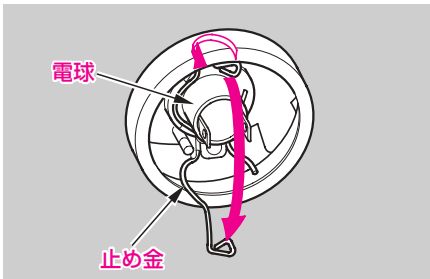


L、Nouvelle Vague、L-4

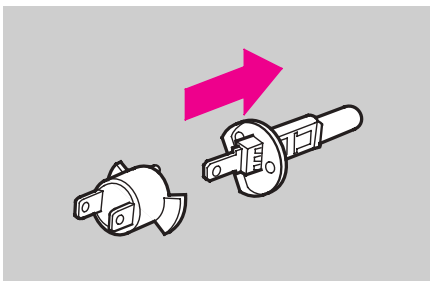
- ①カプラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。



- ③止め金を外し、電球を外します。



- ④電球本体を抜き取ります。

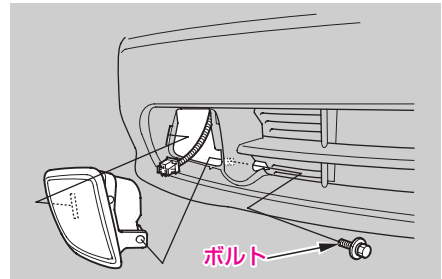


フォグライト

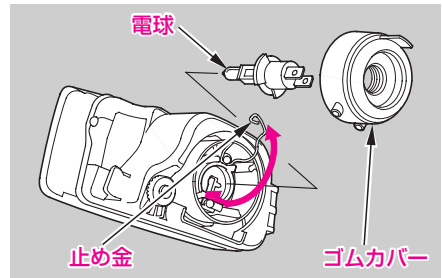
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →266ページ

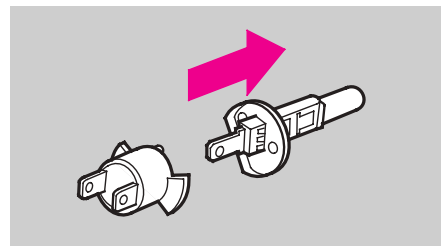
- ①取り付けボルトを外してライト本体を取り外します。
- ②カプラーを抜き取ります。



- ③ゴムカバーを外します。
- ④止め金を外し、電球を外します。

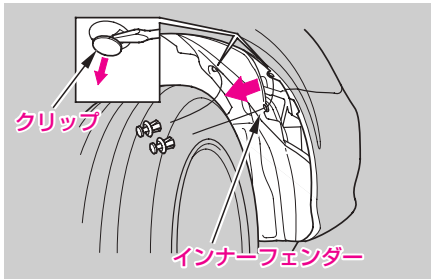


- ⑤電球本体を抜き取ります。

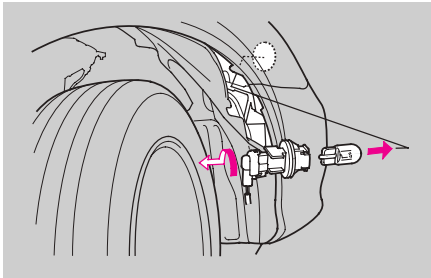


**前面方向指示器／前面非常点滅表示灯**

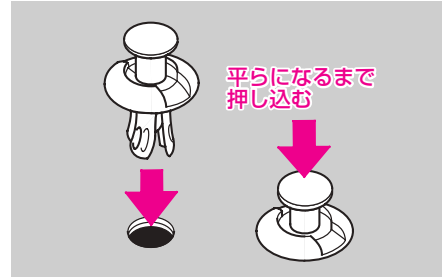
- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



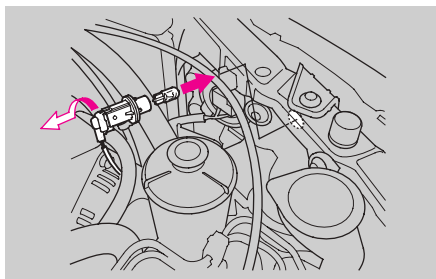
インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



車幅灯

・右側

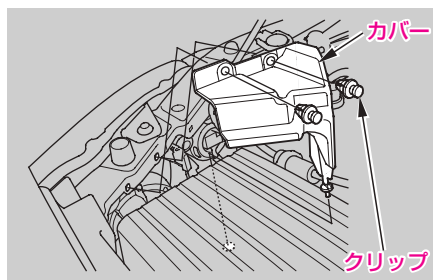
- ①ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



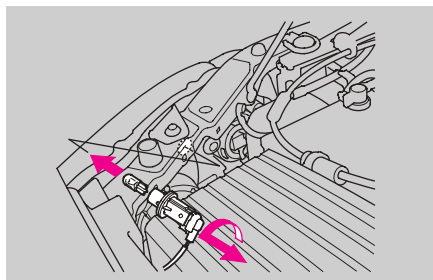
・左側

① **V、V-4**

- カバーを固定しているクリップを引き抜き、カバーを取り外します。



- ②ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。

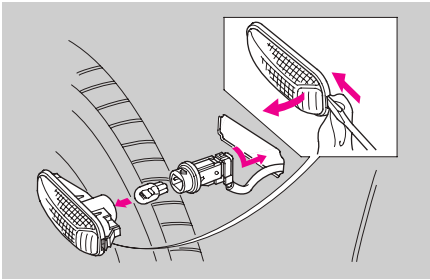


- ③カバーを取り付けるときは、クリップを“カチッ”と音がするまで押し込み確実に固定します。

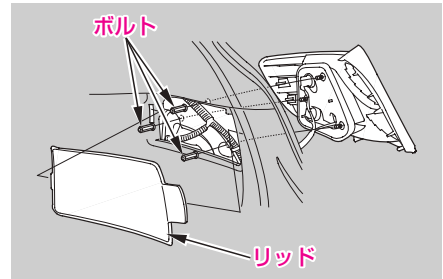
**側面方向指示器／側面非常点滅表示灯**

ドライバーの先端に布などを巻き、後方よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。

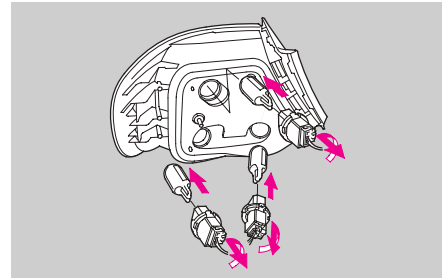
ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

**制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯**

①リッドを外し、ボルトを外してランプ本体を外側に外します。

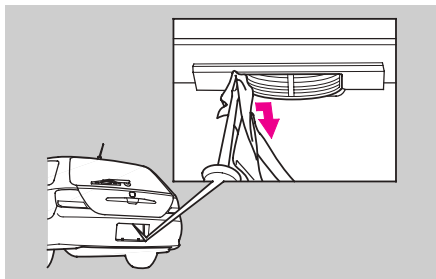


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

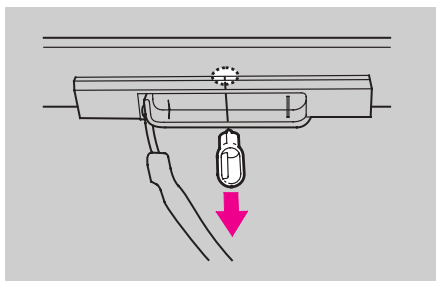


番号灯

①側面を押し、ランプカバーを外します。

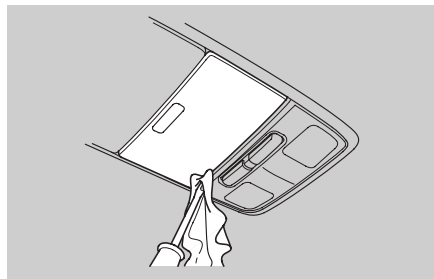


②電球を抜き取ります。

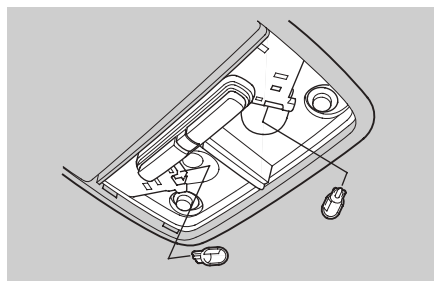


スポットランプ

①レンズを外します。



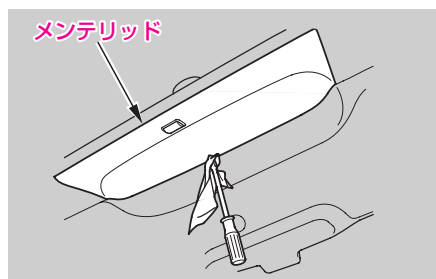
②電球を抜き取ります。



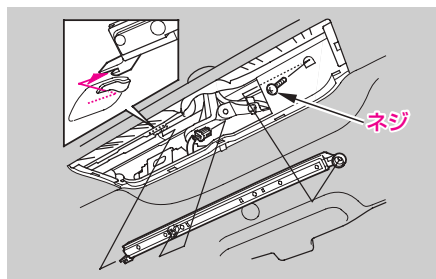


ハイマウントストップランプ

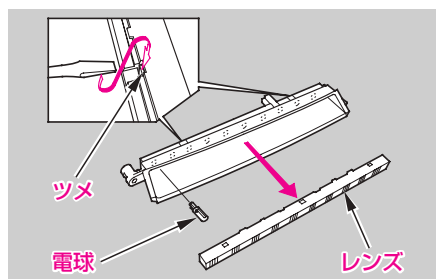
- ① テールゲート裏のメンテリッドを外します。



- ② ネジを外し、ハイマウントストップランプ本体を外します。

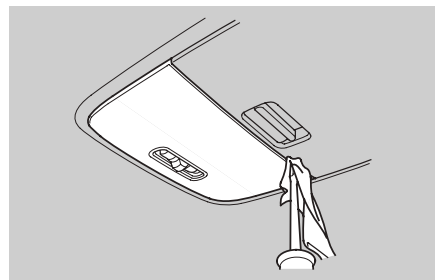


- ③ 裏側からツメを外してハイマウントストップランプのレンズを外し、電球を抜き取ります。

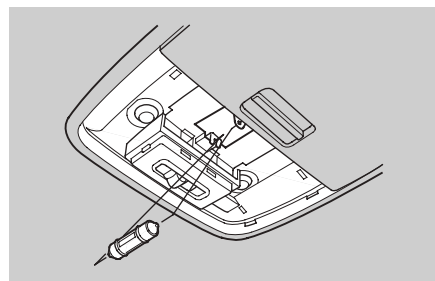


前席室内灯

- ① レンズを外します。

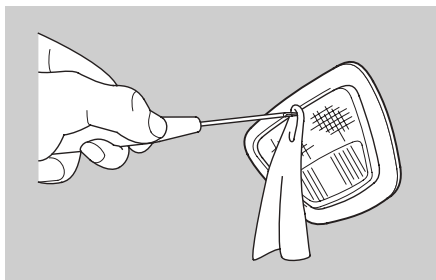


- ② 電球を抜き取ります。

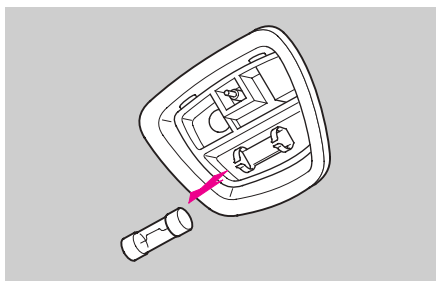


後席室内灯

①レンズを外します。

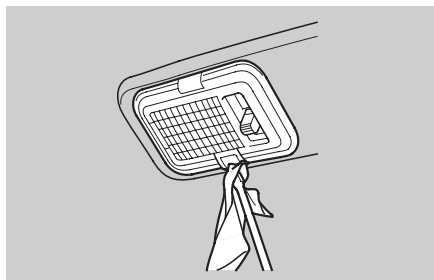


②電球を抜き取ります。

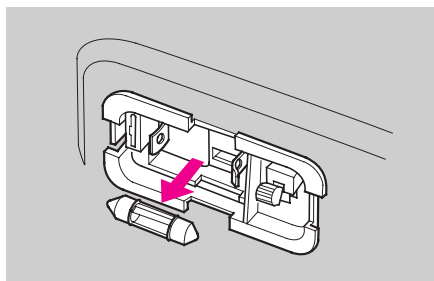


テールゲート照明灯

①レンズを外します。



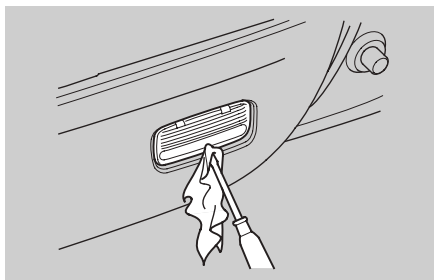
②電球を抜き取ります。



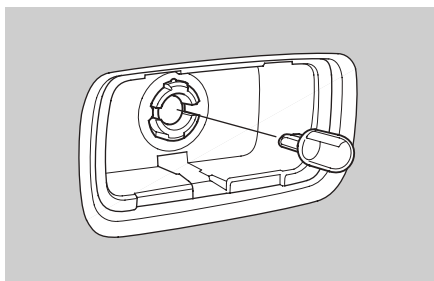


ドア開閉灯

① レンズを外します。

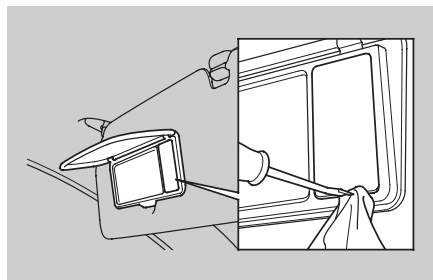


② 電球を抜き取ります。

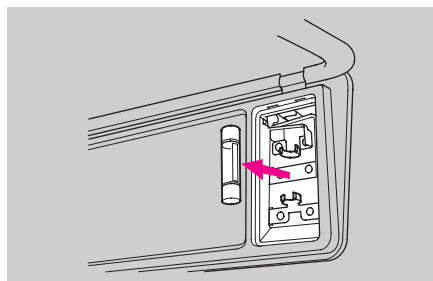


バニティミラー照明灯

① レンズを外します。



② 電球を抜き取ります。

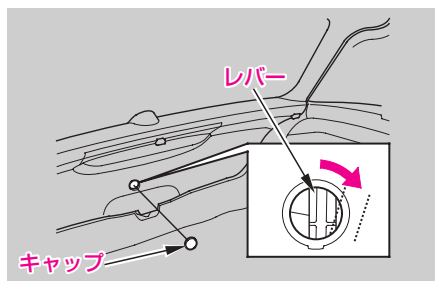


テールゲートの解錠ができないとき

万一、テールゲートが解錠できなくなった場合は、応急処置としてテールゲート解錠レバーを矢印の方向に動かして解錠してください。



- ①テールゲートのキャップを外します。
- ②レバーを矢印の方向に動かし、テールゲートを解錠します。



テールゲート解錠レバーを元の位置にすると施錠します。

知識

- 応急処置後はホンダクリオ店で点検を受けてください。

6

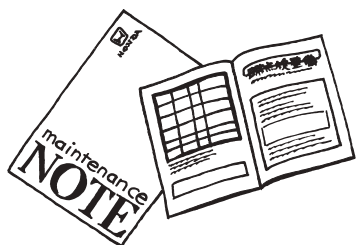
車の手入れ

- 点検・整備について …… 278
- 日常の手入れ
 - 外装の手入れ …… 281
 - 内装の手入れ …… 283
 - タイヤについて …… 284
 - アルミホイールについて …… 286
- 車にあった部品の使用 …… 288

点検・整備について

車は走行するにしたいが、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。



ワイパーブレードラバーの交換

ワイパーブレードラバーの交換時は、アームを取り外さないでください。無理に外そうとすると、破損することがあります。



法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



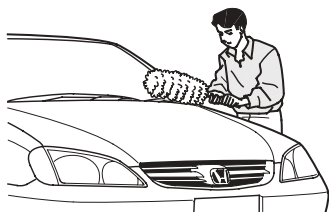
その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

日常の手入れ

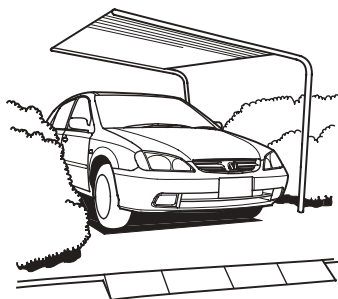
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



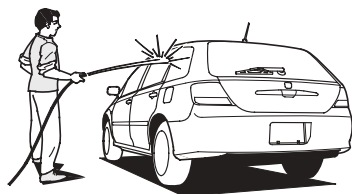
保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



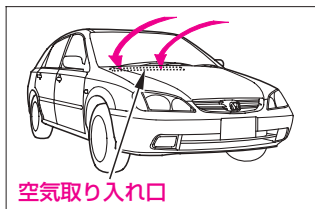


外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納して洗車してください。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- センターアンテナを前方に倒したまま、自動洗車機にかけないでください。センターアンテナが破損するおそれがあります。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダクリオ店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

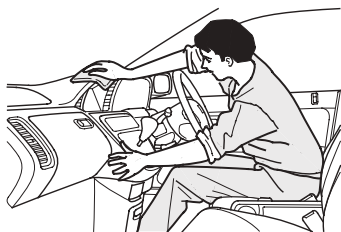
リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。

●ケミカル類、 液体芳香剤について

ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。ご使用前に確認してください。
- ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。
- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。芳香剤の使用にあたっては固形タイプのもをおすすめします。

●布表皮の取り扱い

布表皮部分の取り扱いについては、他の内装部分の手入れと同じように、中性洗剤で汚れを落してください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- 摩耗限度を超えたタイヤ
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→310ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。

摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

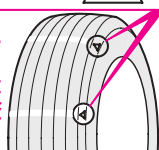
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表れたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換





●位置交換 (タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

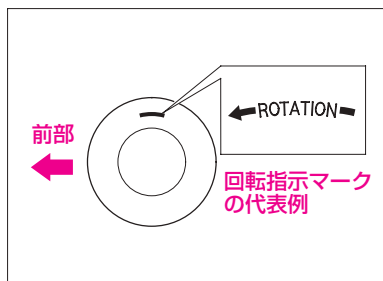
- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。
- V・4タイプは前輪と後輪でタイヤの空気圧が異なるので、位置交換後は必ず空気圧を調整してください。

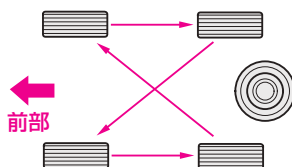
タイヤの空気圧 →310ページ

タイヤ回転指示マーク

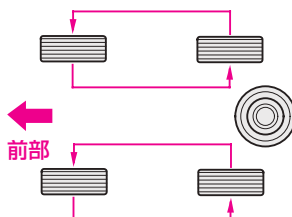
タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。



回転指示マークがないタイヤの場合



回転指示マークがあるタイヤの場合

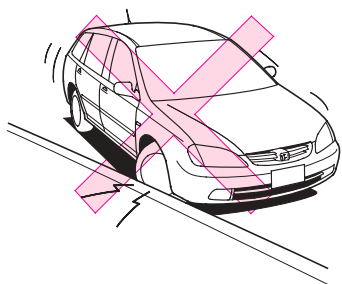


アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダクリオ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落とししてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダクリオ店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



- **Honda**純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	290
運転するとき	292
駐車するとき	297
冬期の手入れ	298

●こんなときは

雨の日の運転	300
夏場の取り扱い	302
経済走行のために	303

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

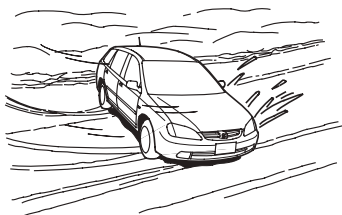
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



● V-4

セレクトレバーが回または \square のときに2速発進となり雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなるSNOW(スノー)モードがついています。

SNOW(スノー)モード

→106ページ

- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

チェーンサイズ →294ページ
タイヤチェーンの取り付けかた
→295ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

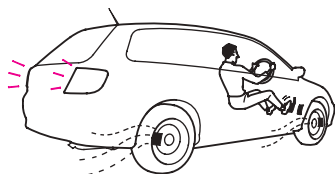
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダクリオ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

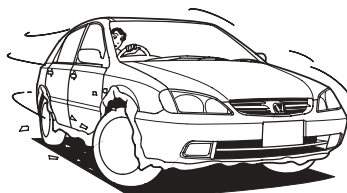
先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

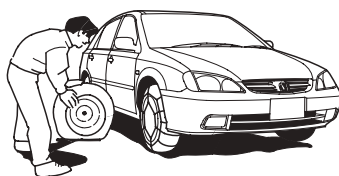
フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪につけてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



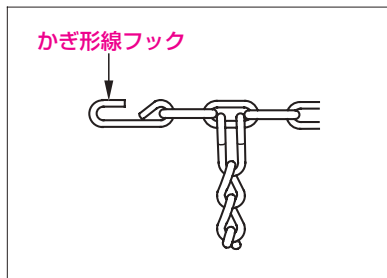
●タイヤチェーンのつけかた

チェーンサイズ

お求めはホンダクリオ店へお申し付けください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
195/65R15 91H	スチールチェーン 45102(新JIS)
205/65R15 94H	スチールチェーン 45192(新JIS)
205/55R16 89V	Honda純正 スチールチェーン
215/65R16 98S	

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。



- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。

推奨タイヤチェーン以外のも
のを使うと、ブレーキ配管や
フェンダーなどを破損するお
それがあります。

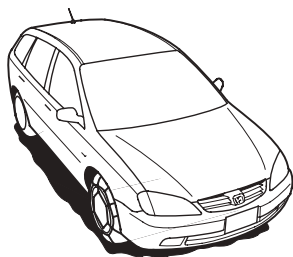


標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

4WD車の場合も前輪駆動を主とした四輪駆動なので、チェーンは前輪に装着してください。

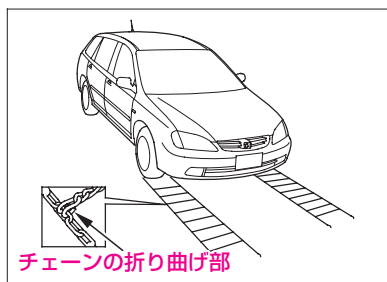
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。



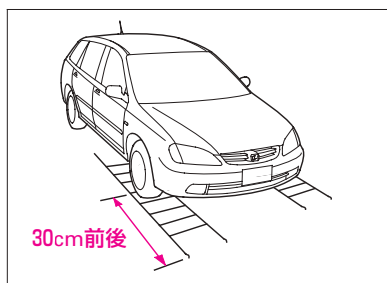
- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

①前輪を直進状態にします。

②チェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。

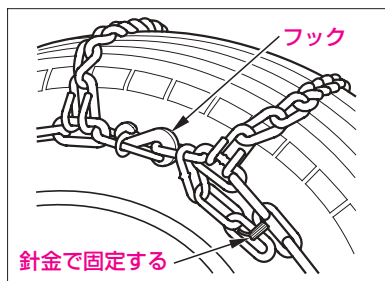


③先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。

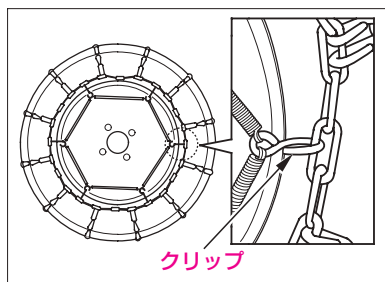


④チェーンをタイヤにまきつけていっぱい引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。

⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっぱいに張ります。



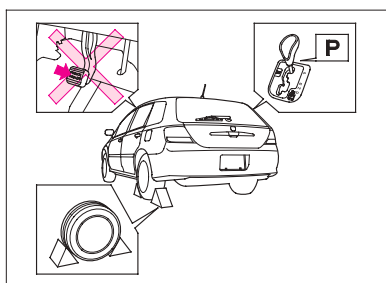
⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがいないかを確認します。



駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

セレクトレバーをPに入れます。石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは起こしてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

●長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

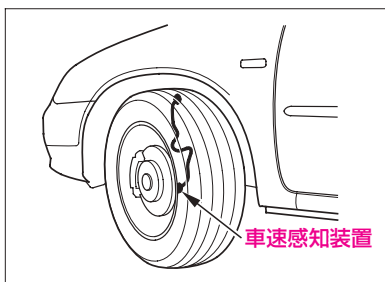
⚠注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダクリオ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- 雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- **IHCC装備車**

雨の日はIHCCを使わないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。

**● ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

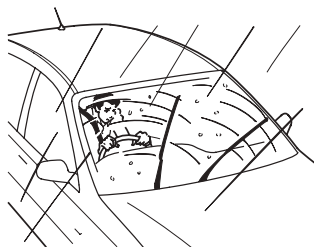
● ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

● ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

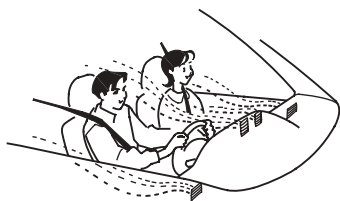


夏場の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- 冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

●この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダクリオ店にご相談ください。



●炎天下に駐車するときは

- ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- 走行中、水温計が“オーバーヒート表示”になった場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→256ページ



経済走行の ために

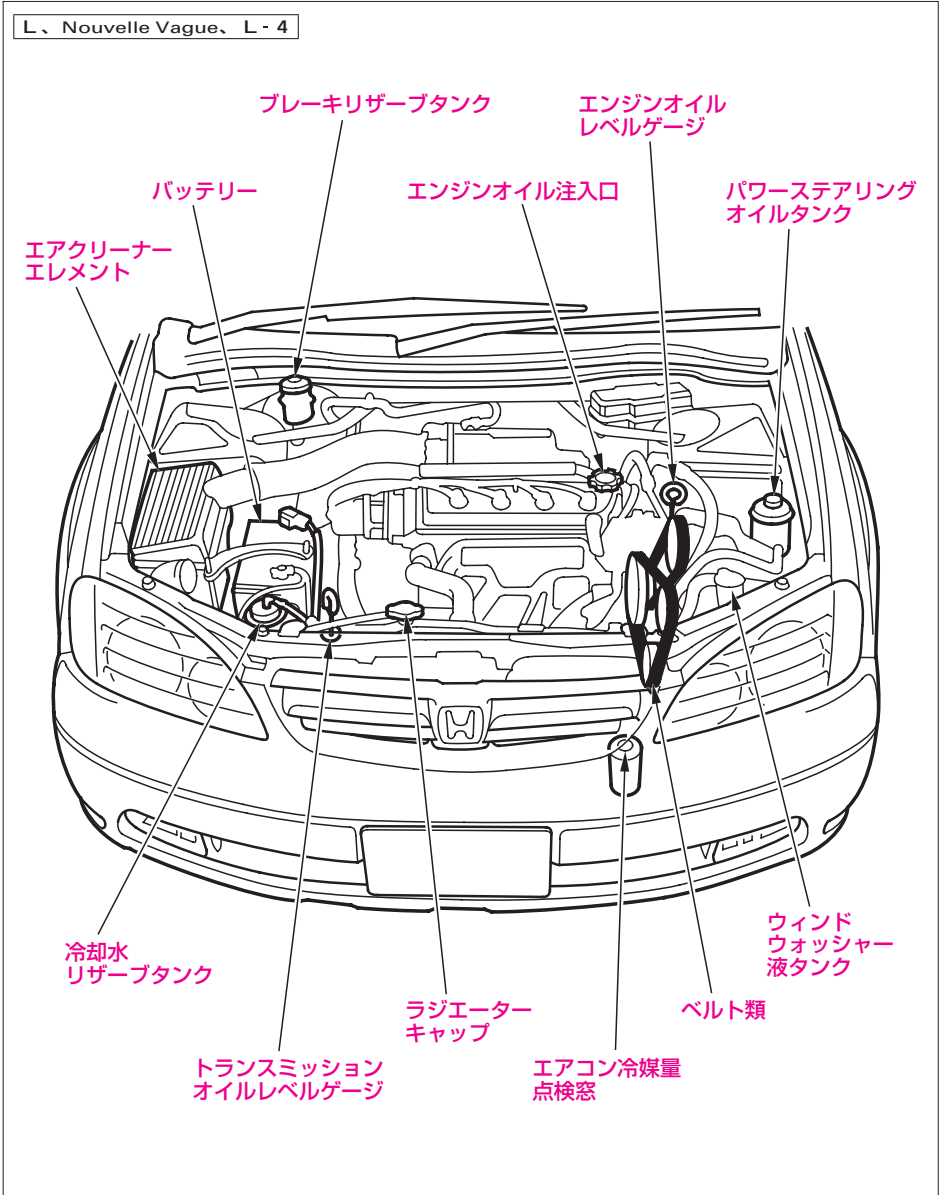
- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。



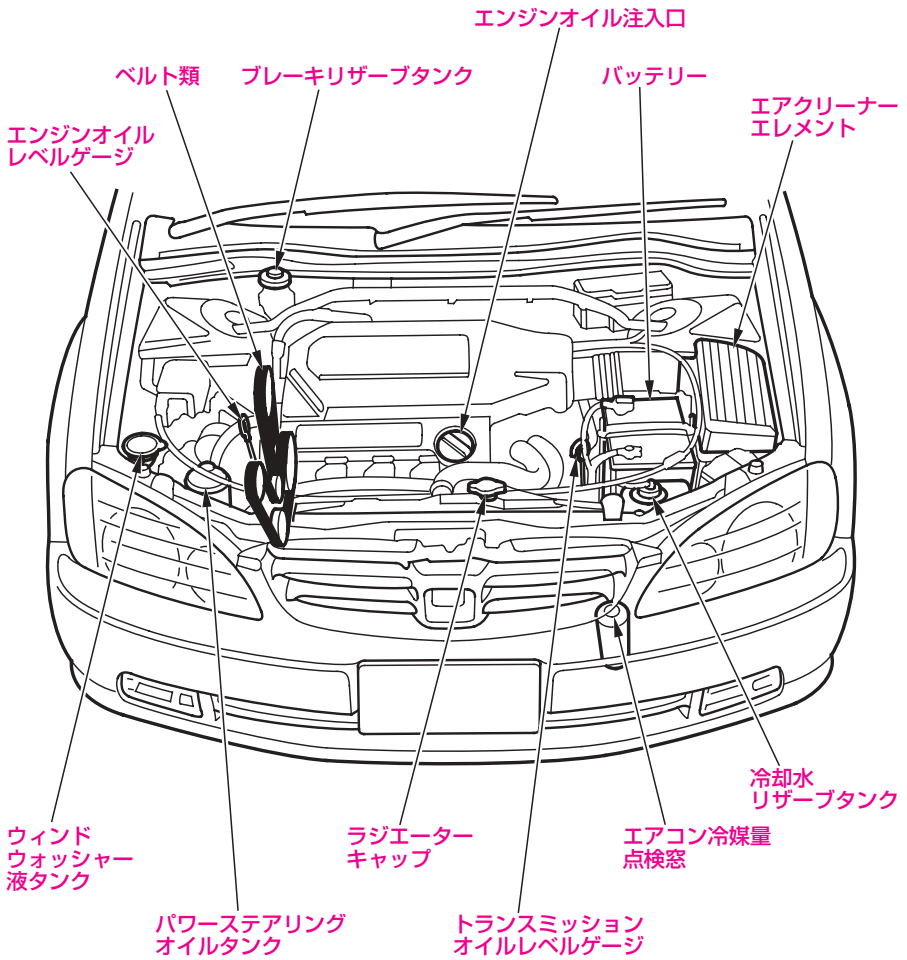
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- カーゴルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。

サービスデータ

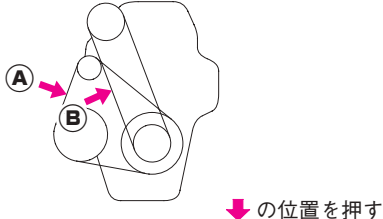
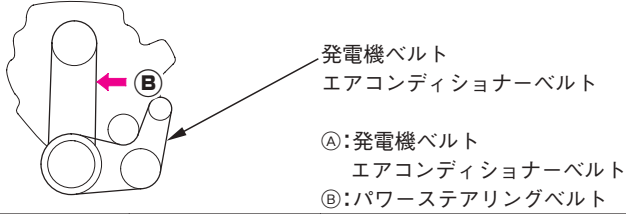
L、Nouvelle Vague、L-4





V、V-4



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目	サ ー ビ ス デ ー タ			
ベルトのたわみ量	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">L、Nouvelle Vague、L-4</div> 			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">V、V-4</div> 			
	発電機ベルト エアコンディショナー ベルト	L、Nouvelle Vague、 L-4 V、V-4	7.0-9.0 mm {約98N(10kgf)の力} 自動調整式	
	パワーステアリング ベルト	L、Nouvelle Vague、 L-4 V、V-4	13.0-16.0 mm {約98N(10kgf)の力} 13.0-16.5 mm {約98N(10kgf)の力}	
点火プラグ ^{※1}	タ イ プ	L、Nouvelle Vague、	NGK	ZFR5F-11
		L-4	DENSO	KJ16CR-L11
		V、V-4	NGK	ZFR5J-11
電極のすき間	1.0-1.1 mm			

※1：ISO(国際標準化機構)規格品の突出しタイプを使用しています。 、 のマークがついています。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ブレーキペダル	遊 び	1-5 mm	
	床板とのすき間	180 mm 以上 {約196N (20kgf) の力}	
	カーペットとのすき間 (参考値)	137 mm 以上 {約196N (20kgf) の力}	
パーキングブレーキ	踏 み し ろ	5-7 回(約30kgfの力)	
バッテリー	容 量 / タイプ	L、Nouvelle Vague、 L-4	36AH(5)/55B24L
		V、V-4	52AH(5)/70D23R
電 球 (バ ル ブ)	W(ワット)/CP (キャンドルパワー)数 [CP(キャンドル パワー) :光度の単位]	ヘッドライト(外側).....	12V-35W ^{※1}
		(内側).....	12V-55W ^{※2}
		フォグライト.....	12V-55W ^{※2}
		前面方向指示器/前面非常点滅表示灯・・	12V-21W
		車幅灯.....	12V-5W
		側面方向指示器/側面非常点滅表示灯・・	12V-5W
		後面方向指示器/後面非常点滅表示灯・・	12V-21W
		番号灯.....	12V-5W
		制動灯/尾灯.....	12V-21/5W
		尾灯.....	12V-5W
		ハイマウントストップランプ.....	12V-2.3W
		後退灯.....	12V-21W
		前席室内灯.....	12V-8W
		後席室内灯.....	12V-10W
		スポットランプ.....	12V-5W
		ドア開閉灯.....	12V-2CP (3.8W)
テールゲート照明灯.....	12V-3.4W		
バニティミラー照明灯.....	12V-5W		

※1：ディスチャージヘッドライト

※2：ハロゲンバルブ

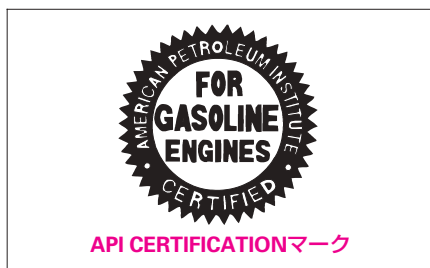
⚠ 注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずホンダクリオ店で行ってください。
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

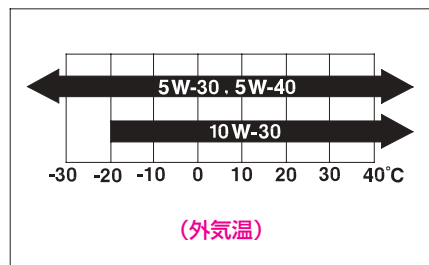
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
エンジンオイル	推奨オイル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラMILD SL(API SL/GF-3級SAE 10W-30) ウルトラLTD SL(API SL/GF-3級SAE 5W-30) ウルトラGOLD SL(API SL級SAE 5W-40)		
	規 定 量	オイル交換時	L、Nouvelle Vague、 L-4	4.0 ℓ
			V、V-4	4.0 ℓ
		オイル、オイルフィル ター同時交換時	L、Nouvelle Vague、 L-4	4.3 ℓ
		V、V-4	4.4 ℓ	

推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI S J 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイサーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



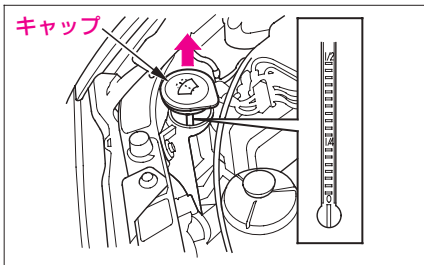
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項目		サービスデータ	
燃 料	指 定 燃 料	無鉛レギュラーガソリン(無鉛ハイオクも使用可能)	
	タ ン ク 容 量	L、Nouvelle Vague、V	65 ℓ
		L-4 V-4	60 ℓ 61 ℓ
トランスミッション オ イ ル	指 定 液	Honda純正ウルトラATF-Z1	
	規 定 量 (交換時)	L、Nouvelle Vague	2.5 ℓ
		L-4 V	3.0 ℓ 3.4 ℓ
		V-4	3.8 ℓ
デファレンシャル オ イ ル (L-4、V-4)	指 定 液	Honda純正ウルトラDPSF	
	規 定 量 (交換時)	1.0 ℓ	
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラeクーラント	
	規 定 濃 度	50%	
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.6ℓ含む)	L、Nouvelle Vague、L-4	5.4 ℓ
V、V-4		5.5 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4	
パワーステアリング液	指 定 液	Honda純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II	
ウォッシャー液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ	
エアクリーナー エ レ メ ン ト	タ イ プ	L、Nouvelle Vague、L-4	乾式
		V、V-4	湿式

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



L

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	195/65R15 91H	210 (2.1)		15×6JJ	15×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T125/70D15 95M	420 (4.2)		15×4T	

Nouvelle Vague

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	205/55R16 89V	210 (2.1)			16×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T125/70D15 95M	420 (4.2)		15×4T	

L - 4

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	215/65R16 98S	210 (2.1)		16×6½JJ	16×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T135/90D16 102M	420 (4.2)		16×4T	

V

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	205/65R15 94H	210 (2.1)		15×6½JJ	15×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T135/90D15 100M	420 (4.2)		15×4T	

V - 4

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	215/65R16 98S	220 (2.2)	210 (2.1)	16×6½JJ	16×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T135/90D16 102M	420 (4.2)		16×4T	

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずホンダクリオ店にご相談ください。

名称	排気量 (cm ³)	車体形状	乗車定員(人)	タイプ	
アヴァンシア	2,253	4 ドア ステーション ワゴン	5	L	2WD
				Nouvelle Vague	
	2,997			L-4	4WD
	V			2WD	
	V-4			4WD	

さくいん

ア

アームレスト	52
アクセサリソケット	230
雨の日の運転	300
アルミホイール	286
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	162
ABSのしくみ	162
警告灯	84・163
取り扱いについて	163
アンテナ	196

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	36
スイッチ	86
イルミネーションコントロール	73
インテリジェントハイウェイクルーズ	
コントロール	118
警告灯	83
作動表示灯	77

ウ

ウィンカー	
スイッチ	89
電球の交換	269・271
表示灯	76
W(ワット)数	307
ウィンドー	46
ウォッシュャー液	
スイッチ	92
タンクの容量	309
冬期の手入れ	299
補給	309
運転のしかた	96

エ

エアクリナーエレメント	309
エアコン	184
使いかた	186
吹き出し風の調節	185
ベルト	306
AM/FMラジオ一体式MDステレオ	198
AC 100V電源ソケット	228
AV外部入力端子	229
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	142
お子さまを乗せるときは	147
警告灯	84・149
作動しないとき	145
作動するとき	144
取り扱いについて	148
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	308
冬期の手入れ	298
エンジンキー(キー)	36
エンジンスイッチ	86
照明灯	220
エンジンのかけかた	96
エンジンブレーキ	20
エンジンルーム	304・305

オ

応急用スペアタイヤ	
格納場所	236
空気圧	310
サイズ	310
スペアタイヤについて	248
オーディオ	194
インデックス	197
上手な使いかた	194
リモートコントロールスイッチ	214
オートエアコン	186
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	108
オイル	309
セレクトレバー	100・104
オーバーヒートしたとき	256
オドメーター	71
温度感知装置	193

カ

カーゴフック	234
カーゴルーム収納スペース	232
外気温計	172・183
外装の手入れ	281
学童用(ジュニア)シート	17・63
カップホルダー	231
ガラスの手入れ	282
換気	15
寒冷時の取り扱い	290

キ

キー	36
キー抜き忘れ警告ブザー	87
キーレスエントリー	38
キーレスステールゲートオープナー	42
キックダウン	22

ク

曇り取り(デフロスター)	192
クラブレール	227
クリープ現象	22
車にあった部品の使用	288
グローブボックス	225

ケ

警告灯	
警告灯類	78
電球切れの点検	85
経済走行	303
けん引	
けん引されるとき	242
故障車をけん引するとき	245

コ

コインボックス	224
工具(ツール)	
格納場所	236
種類	237
後席室内灯	
使いかた	219
電球の交換	274
W(ワット)数	307
高速道路で故障したとき	238
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	271
W(ワット)数	307
後部ワイパー(リヤワイパー)	
スイッチ	92
故障したとき	238
故障の修理について	239
小物入れ	225

サ

サービスデータ 304
 サイドエアバッグシステム
 警告灯 159
 サイドエアバッグシステム
 自動停止表示灯 77・157
 サイドエアバッグシステムのしくみ .. 150
 作動しないとき 153
 作動するとき 152
 乗員姿勢検知システム 156
 取り扱いについて 158
 三点式シートベルト 61
 サングラスホルダー 224
 サンバイザー 223

シ

CDチェンジャー 215
 CDチェンジャーコントローラー
 の使いかた 210
 シート
 正しい運転姿勢 48
 フロントシート 50
 リヤシート 54
 シートベルト 58
 警告灯 82
 種類 60
 ショルダーアンカー 65
 チャイルドシート固定機構 66
 着用のしかた 64
 シートベルトプリテンショナー
 シートベルトプリテンショナー
 のしくみ 160
 警告灯 161
 取り扱いについて 161
 シガレットライター 221
 事故が起きたとき 240
 シフトロック装置 25・111
 霜取り・曇り止め
 前面・側面ガラス 192
 ジャッキの取り扱い 246
 車幅灯(ポジションランプ)
 電球の交換 270
 W(ワット)数 307
 充電警告灯 81
 樹脂塗装部品 282
 ジュニア(学童用)シート 17・63
 瞬間燃費 172・181
 純正部品 288

ス

水温計	73
スイッチの使いかた	86
スノータイヤ(冬用タイヤ)	292
SNOW(スノー)モード	
スイッチ	106
表示灯	77
スパークプラグ(点火プラグ)	306
スピードメーター	71
スペアタイヤ	
格納場所	236
空気圧	310
サイズ	310
スペアタイヤについて	248
スポットランプ	
使いかた	220
電球の交換	272
W(ワット)数	307

セ

セーフティーインジケーター	85
制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	271
W(ワット)数	307
整備	278
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	292
運転するまえ	290
駐車するとき	297
冬期の手入れ	298
セレクトレバー	
操作	100・104
ポジション表示灯	76
洗車	281
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	88
上向き表示灯	76
追越合図(パッシング)	88
スイッチ	88
電球の交換	267
ロービームについて	266
W(ワット)数	307
センターアンテナ	196
前席室内灯	
使いかた	218
電球の交換	273
W(ワット)数	307
センターテーブル	230
センターパネルポケット	225
センターロアボックス	225

ソ

速度計	71
速度範囲	103・107
その他の安全装備	165

タ

タイヤ

位置交換(ローテーション)	285
ウェアインジケーター	284
応急用スペアタイヤ	248
空気圧	310
交換	249
サイズ	310
スノータイヤ	292
チェーン	294
点検	284
タコメーター	72
正しい運転姿勢	48

チ

チェーン	294
チャイルド(幼児用)シート	17・63
チャイルドシート固定機構	66
チャイルドブルーフ	39
駐車	
坂道	27
積雪・寒冷時の取り扱い	297
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	297
操作	98
チルトステアリング	56

テ

テールゲート

解錠ができないとき	276
開閉	43
開閉警告灯	85
施錠・解錠	42
テールゲート照明灯	
使いかた	219
電球の交換	274
W(ワット)数	307
デフレンシャルオイル	309
点火プラグ	306
電気系統が異常のとき	260
電気装置が作動しないとき	262
電球(バルブ)	
交換	265
W(ワット)数	307
点検・整備について	278
電動リモコンドアミラー	57
テンションリデューサー	61

ト

ドア

開閉警告灯	85
施錠・解錠	36
積雪・寒冷時の取り扱い	291
ドア開閉灯	
電球の交換	275
W(ワット)数	307
ドアミラー	57
冬期の手入れ	298
道路で動けなくなったとき	239
時計	171
塗装の手入れ	282
トランスミッション	
オイルの容量	309
警告灯	82
トリップメーター	71

ナ

内装の手入れ	283
夏場の取り扱い	302

ニ

日常の手入れ	280
乳児用(ベビー)シート	17・63

ネ

燃料(ガソリン)

指定燃料	44・309
タンク容量	44・309
燃料計	72
燃料残量警告灯	82
補給口	44

ハ

パーキングブレーキ	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	297
操作	98
灰皿	222
ハイドロプレーニング現象	300
ハイビーム表示灯	76
ハイマウントストップランプ	165
電球の交換	273
W(ワット)数	307
ハザーランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	94
電球の交換	269・271
W(ワット)数	307
発炎筒	
格納場所	236
発炎筒について	237
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	56
バッテリー	
充電	261
冬期の手入れ	298
バッテリーあがり	260
容量/タイプ	307
発電機ベルト	306
バニティミラー(化粧鏡)	223
バニティミラー照明	
電球の交換	275
W(ワット)数	307
ハロゲンバルブについて	266
パワーウィンドー	46
パワードアロック(オートドアロック)	37
パンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	293
パンクしたとき	246
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	272
W(ワット)数	307

ヒ

PGM-FI警告灯 81
非常点滅表示灯(ハザードランプ)
スイッチ 94
電球の交換 269・271
W(ワット)数 307
尾灯
電球の交換 271
W(ワット)数 307
ヒューズ 262
表示灯 74

フ

吹き出し風の調節 185
フォグライト
スイッチ 89
電球の交換 268
W(ワット)数 307
踏切で動けなくなったとき 238
フューエルリッド 45
プラグ 306
ブレーキ
警告灯 80
積雪・寒冷時の取り扱い 297
倍力装置 20
ペダル 307
フロントシート 50

ヘ

平均燃費 172・182
ヘッドライト
上向きと下向きの切り換え 88
上向き表示灯 76
追越合図(パッシング) 88
スイッチ 88
電球の交換 267
ロービームについて 266
W(ワット)数 307
ヘッドレスト 51
ベビー(乳児用)シート 17・63
ベルトのたわみ量 306

ホ

ホーンスイッチ 95
ホイールサイズ 310
芳香剤 283
方向指示器(ウィンカー)
スイッチ 89
電球の交換 269・271
表示灯 76
W(ワット)数 307
ボンネット 40

マ

窓ガラスアンテナ	196
マルチインフォメーション ディスプレイ	168・174
外気温計	172・183
瞬間燃費	172・181
時計	171
表示について	169・176
表示の切り換え	175
平均燃費	172・182
万一のとき	235

ミ

ミラー	
ドアミラー	57
ルームミラー	56

ム

無線装置	29
------	----

メ

メーター(計器類)	70
-----------	----

ユ

油圧警告灯	80
雪道走行後の手入れ	298

ヨ

幼児用(チャイルド)シート	17・63
四輪駆動機構(4WD)	
運転するときは	164
取り扱いについて	164

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	88
ライトスイッチ	88
ライト類が点灯しないとき	262
ラジオの使いかた	202

リ

リムサイズ	310
リモートコントロールドアミラー	57
リヤアームレスト	224
リヤシート	54
リヤシートテーブル	227
リヤデフロスタースイッチ	93
リヤワイパー	92

ル

ルーフコンソールボックス	226
ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	56

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	309
冬期の手入れ	299

ワ

ワイパー	
スイッチ	91
積雪・寒冷時の取り扱い	291
ワックスかけ	282

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)
 運転のしかた 162
 ABSのしくみ 162
 警告灯 84・163
 取り扱いについて 163

A/C(エアコン)
 使いかた 186
 吹き出し風の調節 185
 ベルト 306

AM/FMラジオ一体式MDステレオ 198

AT(オートマチックトランスミッション)
 運転のしかた 108
 オイル 309
 セレクトレバー 100・104

C

CDチェンジャー 215
 CDチェンジャーコントローラー
 の使いかた 210

E

ELR付三点シートベルト 60
 ELR・ALR付三点シートベルト 60

H

HFC-134a(エアコン冷媒) 302

I

INT(間欠ワイパー) 91

L

Lモード
 スイッチ 102・106
 表示灯 77

M

MDプレイヤーの使いかた 206

P

PGM-FI警告灯 81
 PRESS(シートベルトバックル) 64

S

SNOW(スノー)モード	
スイッチ	106
表示灯	77
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	142
お子さまを乗せるときは	147
警告灯	84・149
作動しないとき	145
作動するとき	144
取り扱いについて	148

T

TRIP(トリップメーター)	71
----------------	----

W

W数(ライト類の電球のワット数)	307
------------------	-----

お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのクリオ店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル

0120-112010

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

こんなことでお困りのとき

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →86ページ

“1”から“0”に回らないとき

- ・セレクトレバーが回に入っていますか。

キーを抜くとき →86ページ

●エンジンがかからない

- ・セレクトレバーが回か回に入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →260ページ

●セレクトレバーが回から動かせない

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →111ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →25ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →87ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →88ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計が“オーバーヒート表示”になった

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください)

オーバーヒートしたとき →256ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がる

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダクリオ店で点検を行ってください。)

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
ホンダクリオ店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。